

第26回日本環境感染学会総会 プログラム・抄録集

会 長： 大久保 憲（東京医療保健大学医療情報学科 / 大学院感染制御学）

会 期： 2011年2月18日(金)～19日(土)

会 場： パシフィコ横浜
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
TEL：045-221-2155(代)

理 事 会： 2011年2月17日(木) 16:30～18:00
ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F『アトランティック』

評 議 員 会： 2011年2月18日(金) 11:10～12:00
ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F『パシフィック』

総会および学会賞授賞式：
2011年2月18日(金) 13:00～13:50
第1会場（国立大ホール）

会員懇親会： 2011年2月18日(金) 18:30～20:30
（受付開始 18:00～）
ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F『ボールルーム』



第26回日本環境感染学会総会の開催にあたって

第26回日本環境感染学会総会

会長 大久保 憲

(東京医療保健大学医療情報学科/大学院感染制御学)

第26回日本環境感染学会総会をパシフィコ横浜にて開催させていただきます。創立から四半世紀を経た当学会は、わが国における医療関連感染の制御にかかわるすべての医療関係者と研究者で構成されています。臨床における経験や研究成果を発表する伝統ある学術集会へと発展してきました。感染を制御するために必要な知識と技術を高め、臨床の場で広く展開して医療の安全を目指し、外来・入院患者および医療従事者の健康を守るために研鑽しています。

2009年の新型インフルエンザの世界的大流行は、もはやポストパンデミック期(終息期)に入ることが宣言されていますが、昨今は新しい多剤耐性菌が世界各国で話題となっています。*Klebsiella pneumoniae* producing carbapenemase (KPC)、Multi-drug resistant *Acinetobacter baumannii* (MDRAb)、New Delhi Metallo- β -Lactamase-1 (NDM-1) 遺伝子保有株などです。耐性菌を作らないような治療を心がけていくと同時に、新しい病原微生物への対応もしていかななくてはなりません。

このような感染制御のグローバル化に伴い、今回の学会総会では数多くの著名な方々を招聘することができました。WHO西太平洋地域事務局健康危機管理部部長の葛西 健先生、CDCの「手指衛生のガイドライン」の著者であるJohn Boyce先生とDidier Pittet先生、「消毒と滅菌のガイドライン」のWilliam Rutala先生、「CLA-BSIのガイドライン」のMark Rupp先生、「SSI防止ガイドライン」のWilliam Jarvis先生、APICの2011年会長のRussel Olmsted氏の皆様です。それぞれご講演をして頂くと同時に、今回のプログラムでは、米国からの5名の招聘者による「アメリカの感染対策専門家に聞く」のタイトルで、CDCガイドラインの作成過程での問題点とその対応、そしてその後の遵守状況などについて生の声をお聞きする企画をしています。

学術企画としましては、シンポジウムは26題、基調講演・特別講演・招請講演6題、教育講演10題、Meet the expert 4題、その他の特別企画7題などです。また、一般演題は856題ものご登録をいただきました。

ご参加頂きます皆様には、ぜひこの機会に医療関連感染の制御に向けた正しい対応について活発な意見交換をして、知識の共有を図って頂きたいと思います。

本学会の開催にあたり、多大なご尽力を賜りましたプログラム委員の諸先生、関係者各位ならびに協賛いただきました皆様に心から御礼を申し上げます。



プログラム委員長挨拶

第26回日本環境感染学会総会
プログラム委員長 森兼 啓太
(山形大学医学部附属病院検査部)

1年半ほど前、本総会の会長である大久保憲先生からプログラム委員長を仰せつかった際には、そのような大役を私に勤まるかどうか非常に不安でした。以後今日に至るまで、多くの方々の支援を頂きながらプログラム編成と学会の運営企画を進めてきました。

本総会は学会発足後四半世紀の節目にあたりますが、特に派手な演出や奇をてらった講演などの設定はせず、感染対策に関するディスカッションが十分に行える場とすることを主眼に据えました。プログラム全体が多少地味に見えるかもしれませんが、感染対策は本質的に地味な活動です。アウトブレイクが火事だとすれば、それをボヤで防ぐための活動が感染対策です。

多職種で構成されたプログラム委員の方々の企画力により、シンポジウムや教育講演に関しては必要な領域はすべてカバーされていると自負しています。さらに、各種教育資料を集めたDVD試聴会も企画しました。これらのセッションから会員の皆様の日常の感染対策活動のヒントになり、また疑問点の解決につながるようなことが少しでも得られれば幸いです。シンポジウムの中には会場の参加者の意見をアンサーパッドで収集する対話形式のものもありますので、皆様の積極的な参加をお待ちしております。

今回特筆すべき企画として、Meet the expert、特別シンポジウム、サテライトセミナーがあげられます。Meet the expertでは、朝早い時間帯に、教育講演にふさわしい内容を少人数の場で提供して頂き、より質問がしやすい形式のセッションとしました。早起きは三文の得です。是非お越し下さい。

特別シンポジウムでは、アメリカから来日する5名のゲストが一堂に会し、日本の演者も交えて感染対策の建前と本音を語るセッションを企画しました。

サテライトセミナーとして、メイクとスキンケアのセッションを設けました。2日目の午後に設定しましたので、学会中に勉強しすぎて疲れた方は是非お越し頂き、リラックスしてご聴講下さい。メイクのセッションは、女性皮膚科医師の研究会で私が講演した際、その前に行われたものを、メーカーさんの協力を得て本学会用にアレンジして行って頂きます。

研究発表の場としての一般演題には約850題の応募を頂き、プログラム委員による査読を経て採否を決定しました。会場の都合ですべて口演とさせて頂きました。十分な発表時間を取っていますので、各会場で存分にディスカッションして頂きたいと思います。優秀演題も4題を選定し、大きな会場での発表を行って頂きます。これも新たな取り組みと自負しております。

本学会の教育委員会や編集委員会が主催する講習会、APICと教育委員会のジョイントセッション、SSIサーベイランス研究会も昨年と同様に実施します。職業感染制御研究会は教育委員会講習会に協賛して頂きました。

ランチョンセミナーには20を超える企業の方々から協賛のお申し込みを頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。

それでは、2日間、存分に本総会を楽しんで下さい。Enjoy your stay in Yokohama!



日本環境感染学会総会記録

回	開催年	開催地	歴代会長
第1回	1986年	東京	上田 泰 (東京慈恵会医科大学 名誉教授)
第2回	1987年	東京	清水喜八郎 (東京女子医科大学 内科)
第3回	1988年	東京	小林 寛伊 (東京大学医学部 中央手術部)
第4回	1989年	大阪	三輪谷俊夫 (大阪大学 微生物病研究所)
第5回	1990年	東京	五島瑳智子 (東邦大学医学部 微生物学)
第6回	1991年	東京	出月 康夫 (東京大学医学部 第二外科)
第7回	1992年	福岡	熊澤 淨一 (九州大学医学部 泌尿器科)
第8回	1993年	東京	川名 林治 (岩手医科大学医学部 細菌学)
第9回	1994年	東京	松本 文夫 (神奈川県衛生看護専門学校付属病院)
第10回	1995年	倉敷	副島 林造 (川崎医科大学 呼吸器内科)
第11回	1996年	東京	斎藤 厚 (琉球大学医学部 第一内科)
第12回	1997年	新潟	荒川 正昭 (新潟大学医学部 第二内科)
第13回	1998年	東京	岩井 重富 (日本大学医学部 第三外科)
第14回	1999年	名古屋	品川 長夫 (名古屋市厚生院)
第15回	2000年	大分	那須 勝 (大分医科大学 第二内科)
第16回	2001年	東京	柴 孝也 (東京慈恵会医科大学 内科学)
第17回	2002年	大阪	永井 勲 (社会保険紀南総合病院)
第18回	2003年	横浜	木村 哲 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)
第19回	2004年	横浜	砂川 慶介 (北里大学医学部 感染症学)
第20回	2005年	神戸	守殿 貞夫 (神戸大学大学院 腎泌尿器科学)
第21回	2006年	東京	山口 恵三 (東邦大学医学部 微生物・感染症学)
第22回	2007年	横浜	小西 敏郎 (NTT東日本関東病院)
第23回	2008年	長崎	河野 茂 (長崎大学医歯薬総合研究科 感染免疫学)
第24回	2009年	横浜	辻 明良 (東邦大学医学部看護学科 感染制御学)
第25回	2010年	東京	小野寺昭一 (東京慈恵会医科大学 感染制御部)
第26回	2011年	横浜	大久保 憲 (東京医療保健大学大学院 感染制御学)

第26回日本環境感染学会総会 プログラム委員

プログラム委員長

森兼 啓太 山形大学病院

プログラム委員

雨宮 みち 日本看護協会
 犬塚 和久 JA愛知厚生連
 内田 美保 東京大学
 尾家 重治 山口大学
 大友 陽子 東京女子医科大学病院
 黒須 一見 荏原病院
 齋藤 祐平 東京大学附属病院
 菅原えりさ 日赤医療センター
 高野八百子 慶應義塾大学病院
 長沢 光章 東北大学病院
 針原 康 NTT東日本関東病院

堀 賢 順天堂大学
 松島 由実 鈴鹿中央病院
 松本 哲哉 東京医科大学
 満田 年宏 横浜市立大学病院
 村上 啓雄 岐阜大学病院
 森沢 雄司 自治医科大学病院
 森下 幸子 島田病院
 森屋 恭爾 東京大学
 山根 一和 国立感染症研究所
 吉田真紀子 東京都立小児総合医療センター
 吉田 正樹 東京慈恵会医科大学

(敬称略五十音順)



目 次

第26回日本環境感染学会総会の開催にあたって	02
プログラム委員長挨拶	03
日本環境感染学会総会記録／プログラム委員	04
会場案内図	06
日程表	12
海外招聘者紹介	20
学会参加者へのご案内	22
第26回日本環境感染学会総会プログラム	
基調講演	27
特別講演	27
招請講演	27
会長講演	28
教育講演	28
特別シンポジウム	30
シンポジウム	30
Meet the Expert	40
教育委員会講習会	41
JSEI教育委員会・APICジョイントプログラム	41
サテライトレクチャー	41
SSIサーベイランス研究会	42
編集委員会講習会	42
ICD講習会	43
DVD視聴会	43
ランチョンセミナー	44
一般演題	
口演1日目	49
口演2日目	81
講演抄録	105
一般演題抄録	209
司会・座長一覧	423
演者一覧	427

会場周辺案内図

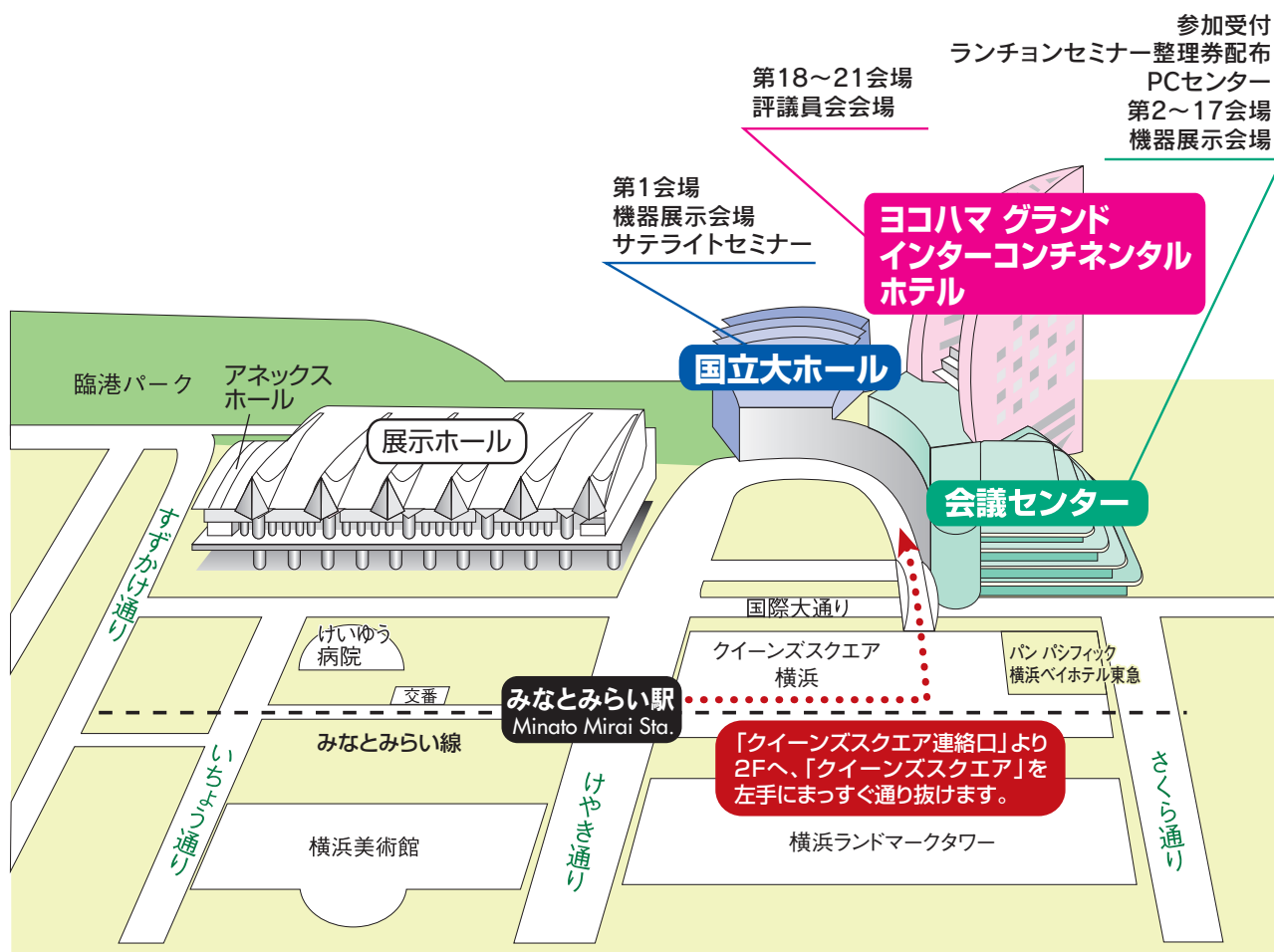


●交通のご案内

飛行機で	羽田空港	リムジンバス（パシフィック横浜行きは35分）				35分				
		リムジンバス	30分	横浜駅 YCAT （横浜ステイ・エアターミナル）						
		京浜急行	24分		タクシー	7分				
	成田空港	リムジンバス（パシフィック横浜行きは120分）	90分							
		JR成田エクスプレス	90分		みなとみらい線	3分				
電車・新幹線で	渋谷駅	東急東横線：特急→みなとみらい線 （東急東横線・みなとみらい線 直通運転）			30分	みなとみらい駅	徒歩	3分	パシフィック横浜 PACIFICO YOKOHAMA	
	東京駅	JR東海道線	25分							
	新横浜駅	JR横浜線	3分	菊名駅	東急東横線					
		JR横浜線			JR京浜東北線	3分	桜木町駅	徒歩		12分
		横浜市営地下鉄						バス		7分
								タクシー		5分



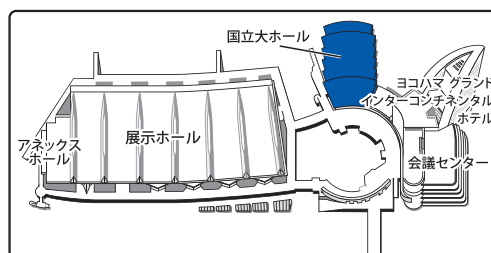
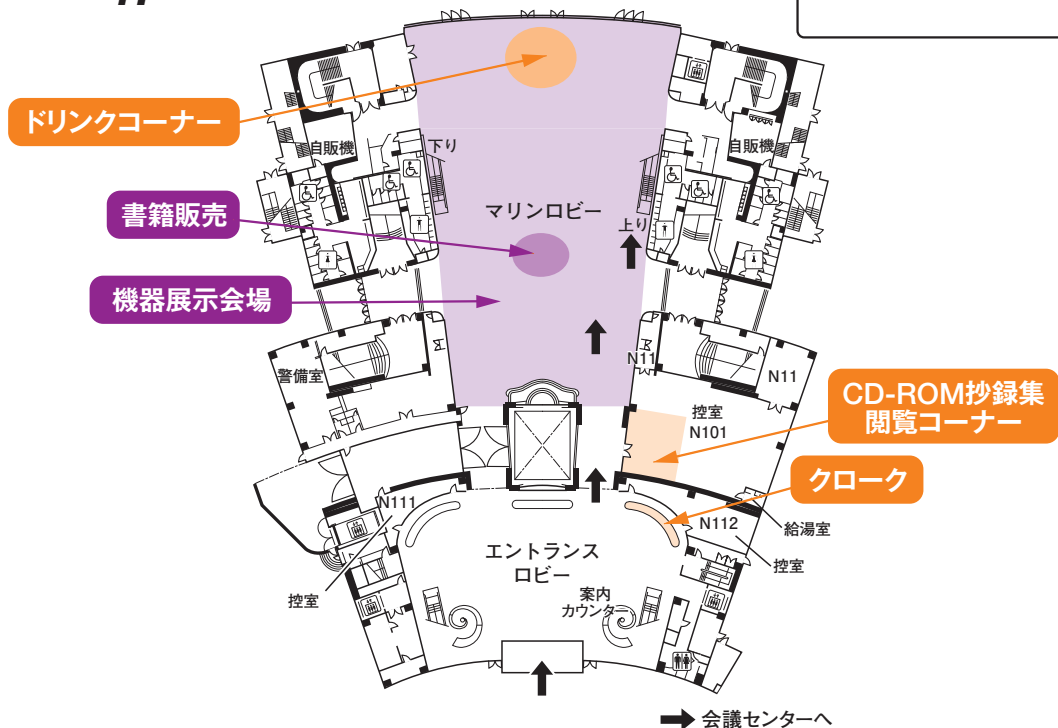
会場案内図



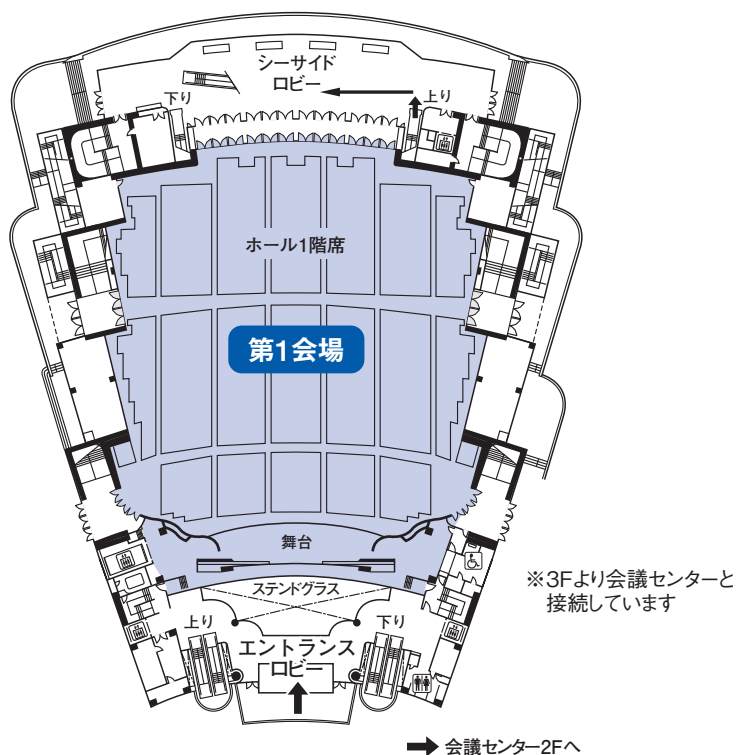


会場フロア図【国立大ホール】

1F

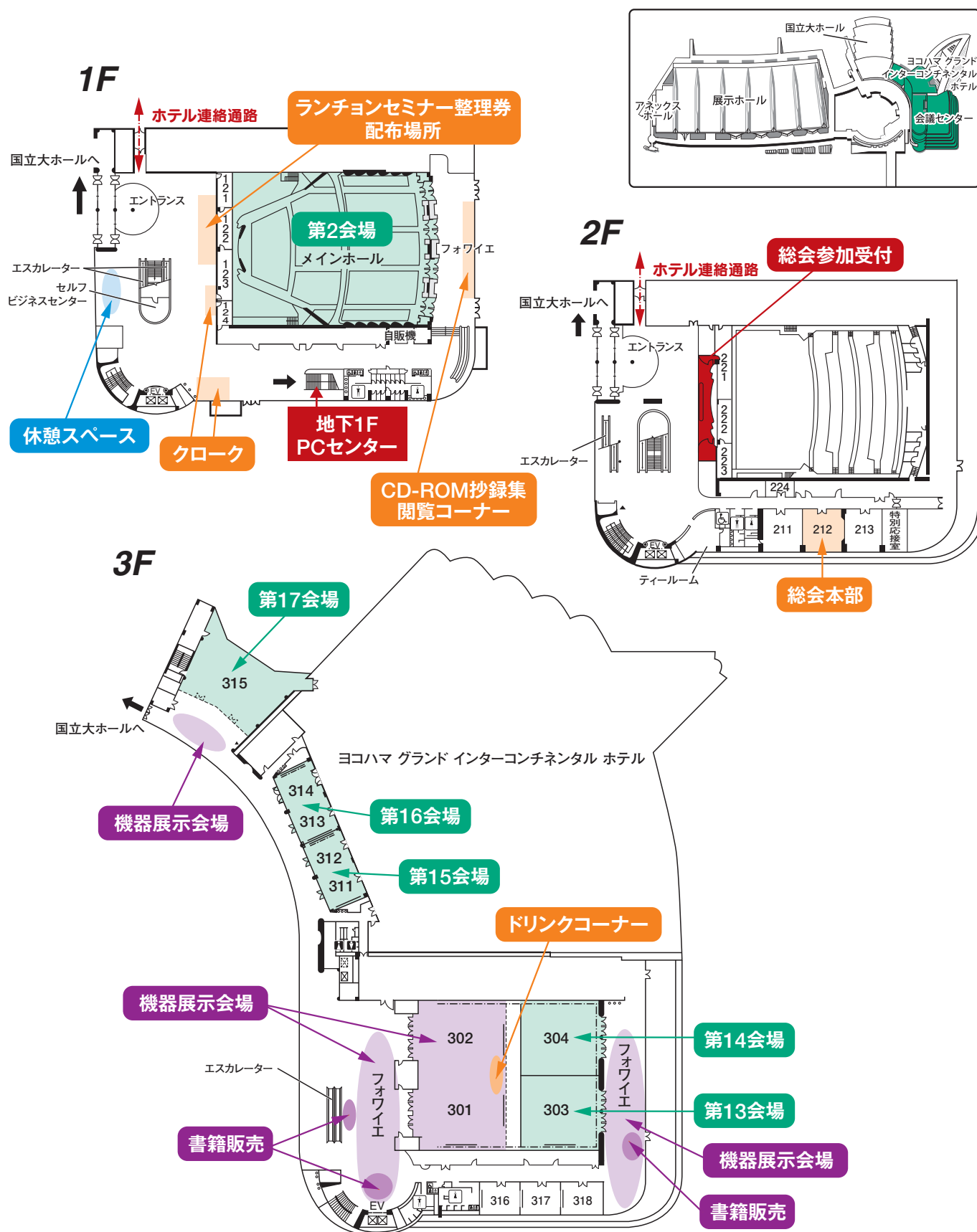


2F





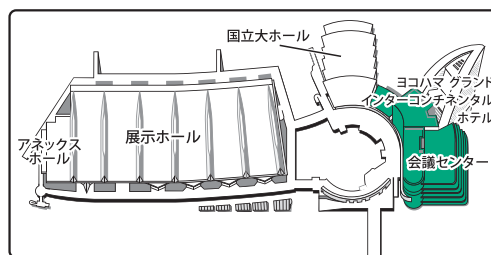
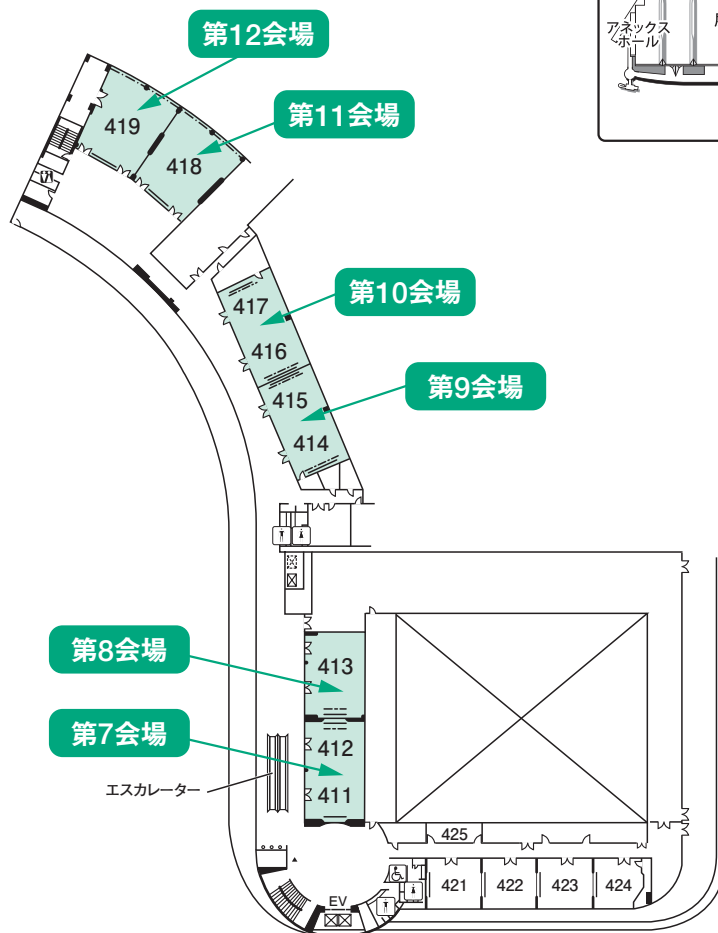
会場フロア図【会議センター】



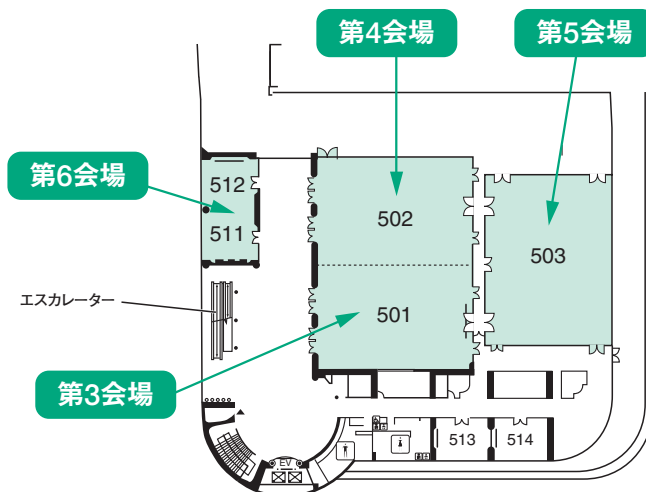


会場フロア図【会議センター】

4F



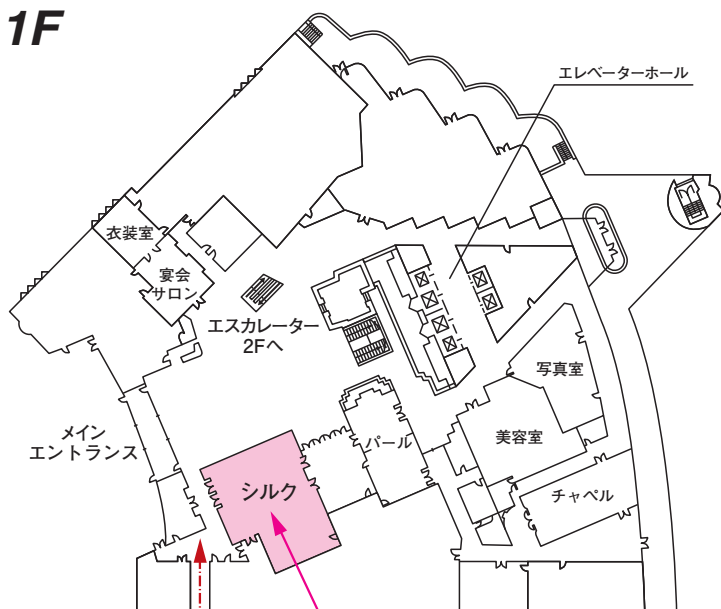
5F





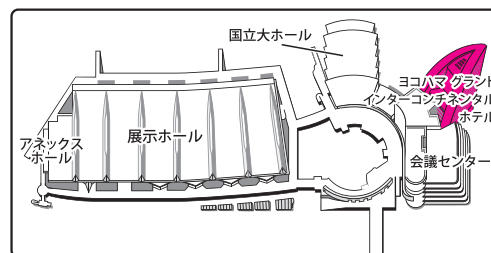
会場フロア図【ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル】

1F

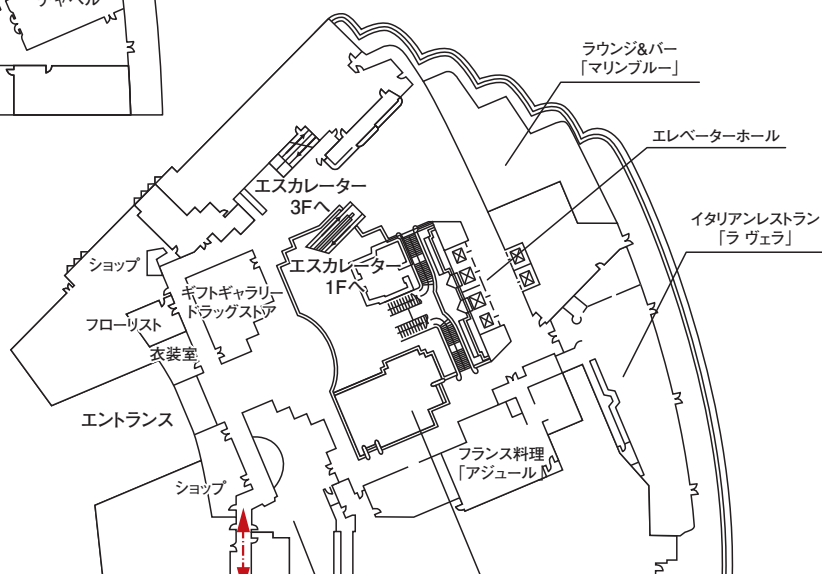


パシフィコ横浜
連絡通路

第21会場

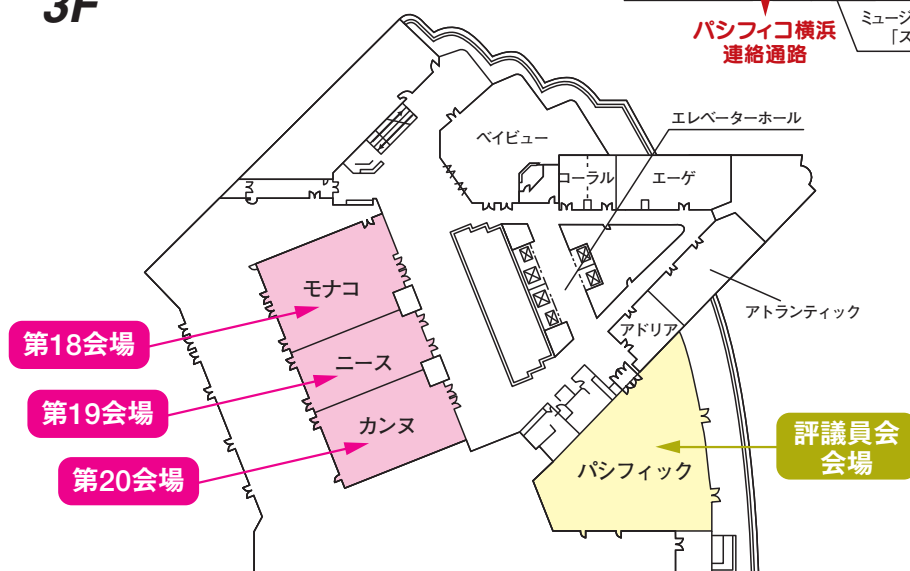


2F



パシフィコ横浜
連絡通路

3F



第18会場

第19会場

第20会場

評議員会
会場



日 程 表 [2月18日(金) 第1日目]

	国立大ホール		会議センター			
	第1会場 (国立大ホール)	展示会場 (マリンロビー)	第2会場 (メインホール)	第3会場 (501)	第4会場 (502)	第5会場 (503)
7:30			7:30 PCセンター受付開始			
8:00			7:45 参加受付開始			
9:00			開 会			
10:00	シンポジウム1 集団発生事例から 学ぶ耐性菌の克服 司会：戸塚恭一 渡邊都貴子 演者：朝野和典 高田 徹 稲垣 薫 山本 剛	機器展示	特別講演1 司会：清水喜八郎 演者：葛西 健	シンポジウム2 安全な注射処置を めぐって 司会：満田年宏 小野寺直人 演者：吉田真紀子 満田年宏 馬場征一 中山 治 兼島優子	シンポジウム5 データに基づく 効率的な感染症・ 感染管理コンサル テーション 司会：長沢光章・犬塚和久 演者：大塚喜人・八田益充 高山和郎・内山正子	招請講演2 司会：小林寛伊 演者：Didier Pittet
11:00			基調講演 司会：大久保憲 演者：William A. Rutala			10:10 シンポジウム7 永遠の課題：手指衛生 のすべてを理解する 司会：新井晴代 菅原えりさ 演者：白石 正 菅原えりさ 奥 直子 小林美奈子
12:00						
13:00	総会および学会賞、 上田Award授賞式		12:10 ランチョンセミナー1 共催：サラヤ株式会社	ランチョンセミナー2 共催：健栄製薬株式会社	ランチョンセミナー3 共催：吉田製薬株式会社	ランチョンセミナー4 共催：日本ベクトン・ ディッキンソン株式会社
14:00	編集委員会講習会 司会：宮崎修一 演者：岡本了一 佐藤淳子 吉澤定子		特別シンポジウム アメリカの感染対策 専門家に聞く 司会：大久保憲・森兼啓太 演者：John M. Boyce William R. Jarvis Russell Olmsted Mark E. Rupp William A. Rutala 満田年宏・堀 賢 矢野邦夫・向野賢治	シンポジウム3 アウトブレイクを 早く見つけるために は何をするべきか？ 司会：金光敬二 中島一敏 演者：具 芳明 國島広之 杉下由行 中島一敏 賀来満夫	教育講演1 司会：白石 正 演者：尾家重治	教育講演3 司会：遠藤英子 演者：坂本すが
15:00					15:00 教育講演2 司会：内田美保 演者：西岡みどり	招請講演3 司会：守殿貞夫 演者：中村 隆
16:00	教育委員会講習会 司会：森澤雄司 小野和代 演者：中澤 靖 吉田真紀子 森屋恭爾 田中美智男 吉川 徹 李 宗子 満田年宏 協賛：職業感染制御研究会		16:10 招請講演1 司会：炭山嘉伸 演者：William R. Jarvis	シンポジウム4 新興・再興感染症クライ シスで提起された新た な院内感染対策の視点 司会：吉倉 廣 演者：川名明彦 齋藤昭彦 荒川創一 賀来満夫 切替照雄 馬場征一	シンポジウム6 抗菌薬関連下痢症の up to date 司会：松本哲哉 佐藤吉壮 演者：吉田順一 加藤はる 大曲貴夫 向野賢治 佐藤久美 芳賀佳之	シンポジウム8 器材の洗浄・消毒・ 滅菌 司会：伏見 了 奥 直子 演者：高階雅紀 島崎 豊 森 正史 松島由実 齋藤祐平
17:00						
18:00						
19:00						
19:30						



🎧 = 同時通訳 🍽️ = お弁当付

会議センター						
第6会場 (511+512)	第7会場 (411+412)	第8会場 (413)	第9会場 (414+415)	第10会場 (416+417)	第11会場 (418)	
7:30 PCセンター受付開始						7:30
7:45 参加受付開始						8:00
						9:00
9:10						
一般演題 組織・活動1 1-O-01-1~7	一般演題 教育・啓発1 1-O-06-1~7	一般演題 MRSA(NICU) 1-O-11-1~7	一般演題 抗菌薬適正使用1 1-O-16-1~7	一般演題 その他1 1-O-21-1~7	一般演題 針刺し損傷1 1-O-26-1~7	10:00
10:30						
一般演題 組織・活動2 1-O-02-1~8	一般演題 教育・啓発2 1-O-07-1~8	一般演題 薬剤耐性菌1 1-O-12-1~8	一般演題 抗菌薬適正使用2 1-O-17-1~8	一般演題 その他2 1-O-22-1~7	一般演題 針刺し損傷2 1-O-27-1~8	11:00
						12:00
12:10						
🍽️ ランチョンセミナー5 共催：サクラ精機株式会社	🍽️ ランチョンセミナー6 中継会場	🍽️ ランチョンセミナー6 共催：明治製菓株式会社	🍽️ ランチョンセミナー7 共催：大正富山医薬品株式会社	🍽️ ランチョンセミナー7 中継会場	🍽️ ランチョンセミナー8 中継会場	13:00
						14:00
一般演題 組織・活動3 1-O-03-1~8	一般演題 教育・啓発3 1-O-08-1~8	一般演題 薬剤耐性菌2 1-O-13-1~6	一般演題 抗菌薬適正使用3 1-O-18-1~8	一般演題 <i>C. difficile</i> 1 1-O-23-1~6	一般演題 針刺し損傷3 1-O-28-1~8	15:00
15:30						
一般演題 組織・活動4 1-O-04-1~7	一般演題 教育・啓発4 1-O-09-1~7	一般演題 薬剤耐性菌3 1-O-14-1~6	一般演題 抗菌薬適正使用4 1-O-19-1~8	一般演題 <i>C. difficile</i> 2 1-O-24-1~5	一般演題 医療廃棄物 1-O-29-1~9	16:00
16:50						
一般演題 組織・活動5 1-O-05-1~7	一般演題 教育・啓発5 1-O-10-1~7	一般演題 薬剤耐性菌4 1-O-15-1~6	17:00 一般演題 アウトブレイク1 1-O-20-1~5	一般演題 歯科、口腔外科 1-O-25-1~3		17:00
						18:00
						19:00
						19:30



日 程 表 [2月18日(金) 第1日目]

会議センター						
	第12会場 (419)	展示会場 (301+302)	第13会場 (303)	第14会場 (304)	第15会場 (311+312)	第16会場 (313+314)
7:30	7:30 PCセンター受付開始					
8:00	7:45 参加受付開始					
9:00	9:10	機器展示	教育講演4 司会：荒川創一 演者：針原 康	シンポジウム10 ガイドライン策定における質的評価法とその評価を踏まえた活用法 司会：操 華子 塚本容子 演者：中山健夫 操 華子 向野賢治 川上和美	9:10	
10:00	一般演題 環境整備1 1-O-30-1~7				一般演題 インフルエンザ1 1-O-38-1~7	一般演題 ノロウイルス1 1-O-43-1~7
11:00	10:30		教育講演5 司会：一山 智 演者：毛利昌史		10:30	
12:00	一般演題 環境整備2 1-O-31-1~8				一般演題 インフルエンザ2 1-O-39-1~8	一般演題 ノロウイルス2 1-O-44-1~7
13:00	12:10		ランチョンセミナー9 中継会場	ランチョンセミナー9 共催：ファイザー株式会社	ランチョンセミナー10 共催：丸石製薬株式会社	ランチョンセミナー10 中継会場
14:00	一般演題 環境整備3 1-O-32-1~8		SSIサーベイランス研究会 開会の辞：小林寛伊 現場に役立つSSIサーベイランス 司会：草地信也・針原 康 演者：正村睦子・目次 香 栗田 香・渋谷豊克 折尾優美・熊本まゆ子	一般演題 手指衛生1 1-O-35-1~8	一般演題 インフルエンザ3 1-O-40-1~8	一般演題 医療経済 1-O-45-1~7
15:00	15:30		教育講演 司会：三嶋廣繁 演者：佐和章弘 閉会の辞：小西敏郎	15:30		15:20
16:00	一般演題 環境整備4 1-O-33-1~7		シンポジウム9 薬剤師による感染症治療戦略 司会：森田邦彦 木津純子 演者：堀 賢 松元加奈 前田雅子 小野寺直人	一般演題 手指衛生2 1-O-36-1~7	一般演題 インフルエンザ4 1-O-41-1~8	一般演題 疫学・統計1 1-O-46-1~7
17:00	16:50			16:50		16:40
18:00	一般演題 環境整備5 1-O-34-1~7			一般演題 手指衛生3 1-O-37-1~7	一般演題 インフルエンザ5 1-O-42-1~6	一般演題 症例・事例1 1-O-47-1~8
19:00						
19:30						



= お弁当付

会議センター	ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル					
第17会場 (315)	第18会場 (ボールルーム (モナコ))	第19会場 (ボールルーム (ニース))	第20会場 (ボールルーム (カンヌ))	第21会場 (シルク)	評議員会会場 (パシフィック)	
		7:30 PCセンター受付開始				7:30
		7:45 参加受付開始				8:00
						9:00
一般演題 BSI 1 1-O-48-1~7	一般演題 MRSA (サーベイランス、 その他)1 1-O-53-1~7	一般演題 組織・活動6 1-O-56-1~5	一般演題 IT 1-O-59-1~6	一般演題 サーベイランス1 1-O-62-1~7		10:00
一般演題 BSI 2 1-O-49-1~8	一般演題 MRSA (サーベイランス、 その他)2 1-O-54-1~7	一般演題 組織・活動7 1-O-57-1~5	一般演題 微生物検査1 1-O-60-1~8	一般演題 サーベイランス2 1-O-63-1~8	11:10 評議員会	11:00
						12:00
12:10			12:10			
ランチョンセミナー11 共催：シスメックス・ バイオメリュー株式会社	ランチョンセミナー12 共催：スミス・アンド・ニュー ウインド マネジメント株式会社		ランチョンセミナー12 中継会場	ランチョンセミナー13 共催：塩野義製薬株式会社		13:00
						14:00
一般演題 BSI 3 1-O-50-1~8	一般演題 MRSA (サーベイランス、 その他)3 1-O-55-1~7	一般演題 その他3 1-O-58-1~8	一般演題 微生物検査2 1-O-61-1~8	一般演題 サーベイランス3 1-O-64-1~8		15:00
15:30				15:30		
一般演題 BSI 4 1-O-51-1~7				一般演題 UTI 1-O-65-1~7		16:00
16:50				16:50		17:00
一般演題 内視鏡 1-O-52-1~4				一般演題 VAP 1-O-66-1~7		
						18:00
懇親会(無料) ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F「ボールルーム」 18:30~20:30(開場 18:00~)						19:00
						19:30



日 程 表 [2月19日(土) 第2日目]

	国立大ホール		会議センター		
	第1会場 (国立大ホール)	展示会場 (マリンロビー)	第2会場 (メインホール)	第3会場 (501)	第4会場 (502)
7:30			7:30 PCセンター受付開始		
8:00			7:45 参加受付開始		
9:00	会長講演 司会：小西敏郎 演者：大久保憲	機器展示	シンポジウム12 医療従事者のワクチン接種 司会：岩田 敏 堀 賢 演者：中澤 靖 石原 勉 吉澤定子 岩田 敏	シンポジウム14 血管内カテーテル関連感染に関わる新たな取り組みと課題 司会：粕田晴之・雨宮みち 演者：蔵並 勝・塚田真弓 森澤雄司・細川直登 谷村久美	JSEI教育委員会・APICジョイントプログラム 2009年新型インフルエンザ対策における日米の対応の比較 司会：満田年宏・森兼啓太 演者：Russell Olmsted 森兼啓太
10:00	シンポジウム11 病院設備における感染対策～病院はホテルか～ 司会：筧 淳夫 大友陽子 演者：矢野邦夫 伊藤 昭 岩田哲郎 池上美保 筧 淳夫		10:10		
11:00			特別講演2 司会：小林寛伊 演者：John M. Boyce	シンポジウム15 JANIS 検査部門のすべて：医療関連感染対策への活用から研究的解析まで 司会：鈴木里和・佐藤智明 演者：筒井敦子・山岸拓也 荻野毅史・藤本修平	
12:00	DVD視聴会 (食事付 整理券不要)		12:00		
13:00			ランチョンセミナー14 共催：スリーエムヘルスケア 株式会社	ランチョンセミナー15 共催：テルモ株式会社	ランチョンセミナー16 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
14:00			優秀一般演題 2-O-01-1~4	シンポジウム16 2009年H1N1対策～インフルエンザ対策2009年4月からの総括 司会：川名明彦 櫻井 滋 演者：高山義浩 河合直樹 岡田就将 庵原俊昭 菅谷憲夫	シンポジウム19 NICU・透析室の感染対策－さらなる質の向上を目指して－ 司会：矢野邦夫 藤田昌久 演者：北島博之 立花亜紀子 美島路恵 安藤亮一 谷口弘美 松金隆夫
15:00	サテライトレクチャー 司会：三宅寿美・松井泰子 感染対策担当者にふさわしいメークとは？ 皮膚のメカニズム、手あれの病態生理とスキンケア		招請講演4 司会：河野 茂 演者：Mark E. Rupp	15:20	
16:00			シンポジウム13 学会の社会的役割 司会：森澤雄司・北村龍彦 演者：森澤雄司・吉田理香 操 華子・大久保憲 特別発言：永井 勲	シンポジウム17 針刺し後の対処 司会：小池和彦 演者：山田典栄 四柳 宏 森屋恭爾 岡 慎一	シンポジウム20 MRSAのアクティブサーベイランスによる科学的な感染制御の展開 司会：賀来満夫・小林敦子 演者：森兼啓太・清水潤三 高橋佳子・堀 賢
17:00	17:10		閉会あいさつ		
18:00	ICD講習会 医療関連感染の制御：注目すべき微生物への対応 司会：小野寺昭一 岡田 淳 演者：加藤はる 田中智之 山根一和 松本哲哉				
19:00					
19:30					



= 同時通訳
 = アンサーパッドマーク
 = お弁当付
 = コーヒーサービス(セルフ)

会議センター					
第5会場 (503)	第6会場 (511+512)	第7会場 (411+412)	第8会場 (413)	第9会場 (414+415)	
◀ 7:30 PCセンター受付開始 ▶ ▶ 7:45 参加受付開始 ▶	Meet the Expert 1 読んでおきたい論文 top ten 司会：藤本卓司 演者：森澤雄司	Meet the Expert 2 輸入感染症の症例と治療・感染対策 司会：安岡 彰 演者：加藤康幸	Meet the Expert 3 感染対策に必要な分子疫学の基礎知識 司会：堀 誠治 演者：満田年宏	▶ 7:30 PCセンター受付開始 ▶ ▶ 7:45 参加受付開始 ▶	7:30
					8:00
シンポジウム18 感染症疫学的重要性 ーデータは語るー 司会：齋藤昭彦 吉田真紀子 演者：鈴木 陽 神谷 元 堀 成美 齋藤昭彦	一般演題 組織・活動 8 2-O-03-1~6 9:40	一般演題 ウイルス感染 1 2-O-09-1~6	一般演題 教育・啓発 9 2-O-15-1~6	一般演題 手指衛生 4 2-O-21-1~6	9:00
10:10	一般演題 組織・活動 9 2-O-04-1~6	一般演題 ウイルス感染 2 2-O-10-1~6	一般演題 教育・啓発 10 2-O-16-1~6	一般演題 手指衛生 5 2-O-22-1~6	10:00
一般演題 <i>C. difficile</i> 3 2-O-02-1~6	10:50				11:00
	一般演題 組織・活動 10 2-O-05-1~5	一般演題 ウイルス感染 3 2-O-11-1~6	一般演題 教育・啓発 11 2-O-17-1~5	一般演題 手指衛生 6 2-O-23-1~5	11:00
					12:00
ランチョンセミナー17 共催：杏林製薬株式会社	ランチョンセミナー17 中継会場	ランチョンセミナー18 中継会場	ランチョンセミナー18 共催：大日本住友製薬株式会社	ランチョンセミナー19 共催：株式会社メディコン	12:00
13:10					13:00
シンポジウム21 JHAIS 委員会医療器具 関連感染サーベイランス 報告会 司会：高野八百子・坂本史衣 演者：池田知子・西内由香里 藤田 烈・黒須一見 坂本晴世・渡邊都貴子 柴谷涼子	一般演題 組織・活動 11 2-O-06-1~7 14:30	一般演題 教育・啓発 6 2-O-12-1~7	一般演題 教育・啓発 12 2-O-18-1~7	一般演題 手指衛生 7 2-O-24-1~7	14:00
15:20	一般演題 組織・活動 12 2-O-07-1~7	一般演題 教育・啓発 7 2-O-13-1~6	一般演題 教育・啓発 13 2-O-19-1~7	一般演題 手指衛生 8 2-O-25-1~7	15:00
シンポジウム22 診療報酬改定と感染対策 ～2010年度診療報酬改定 「感染防止対策加算」 新設の与える影響 司会：村上啓雄 演者：前田彰久・富田典子 犬塚和久・丹羽 隆	15:50				16:00
	一般演題 組織・活動 13 2-O-08-1~7	一般演題 教育・啓発 8 2-O-14-1~6	一般演題 教育・啓発 14 2-O-20-1~7	一般演題 手指衛生 9 2-O-26-1~6	16:00
					17:00
					18:00
					19:00
					19:30



日 程 表 [2月19日(土) 第2日目]

会議センター				
	第10会場 (416+417)	第11会場 (418)	第12会場 (419)	展示会場 (301+302)
7:30	7:30 PCセンター受付開始			
8:00	7:45 参加受付開始			
9:00	一般演題 手指衛生 10 2-O-27-1~6	一般演題 抗菌薬適正使用 5 2-O-33-1~6	一般演題 針刺し損傷 4 2-O-39-1~6	教育講演6 司会：松本文夫 演者：多屋馨子
9:40				9:40
10:00	一般演題 手指衛生 11 2-O-28-1~6	一般演題 抗菌薬適正使用 6 2-O-34-1~6	一般演題 針刺し損傷 5 2-O-40-1~6	教育講演7 司会：辻 明良 演者：柴 孝也
10:50				10:50
11:00	一般演題 手指衛生 12 2-O-29-1~5	一般演題 抗菌薬適正使用 7 2-O-35-1~5	一般演題 針刺し損傷 6 2-O-41-1~5	教育講演8 司会：朝野和典 演者：佐藤吉壮
12:00	ランチョンセミナー19 中継会場	ランチョンセミナー20 中継会場	ランチョンセミナー20 共催：プリストル・マイヤーズ 株式会社	ランチョンセミナー21 共催：キンバリー・クラーク・ヘルスケア・インク
13:00	13:10			13:10
14:00	一般演題 アウトブレイク 2 2-O-30-1~7	一般演題 抗菌薬適正使用 8 2-O-36-1~7	一般演題 結核 1 2-O-42-1~8	教育講演9 司会：安原 洋 演者：寛 淳夫 齋藤祐平
14:30				14:20
15:00	一般演題 アウトブレイク 3 2-O-31-1~7	一般演題 抗菌薬適正使用 9 2-O-37-1~6	一般演題 結核 2 2-O-43-1~8	シンポジウム23 感染防止対策加算による 抗菌薬届出制と適正使用 司会：砂川慶介 吉田正樹 演者：堀 誠治 高橋 聡 塚田弘樹 五十嵐正博 吉澤定子
15:50		15:40		
16:00	一般演題 アウトブレイク 4 2-O-32-1~6	一般演題 疫学・統計 2 2-O-38-1~8		
17:00				
18:00				
19:00				
19:30				

機器展示



= アンサーパッドマーク
 = お弁当付
 = コーヒーサービス(セルフ)

会議センター				
第14会場 (304)	第15会場 (311+312)	第16会場 (313+314)	第17会場 (315)	
← 7:30 PCセンター受付開始 → ← 7:45 参加受付開始 →	Meet the Expert 4 口腔ケアと誤嚥性肺炎予防 司会：茂木伸夫 演者：米山武義	← 7:30 PCセンター受付開始 → ← 7:45 参加受付開始 →		7:30
				8:00
シンポジウム24 明日からできる！高齢者施設で実践する感染対策 司会：鈴木幹三 残間由美子 演者：八木哲也 政本紀世 小澤美紀 山本典孝	一般演題 環境整備、医療材料、医療機器 2-O-44-1~6	一般演題 消毒、洗浄、滅菌3 2-O-50-1~6	一般演題 SSI 1 2-O-56-1~6	9:00
	9:40			
	一般演題 抗菌薬適正使用10 2-O-45-1~6	一般演題 消毒、洗浄、滅菌4 2-O-51-1~6	一般演題 SSI 2 2-O-57-1~5	10:00
10:40				
教育講演10 司会：森屋恭爾 演者：和田耕治 黒須一見	10:50			11:00
	一般演題 抗菌薬適正使用11 2-O-46-1~5	一般演題 消毒、洗浄、滅菌5 2-O-52-1~6	一般演題 SSI 3 2-O-58-1~5	
				12:00
ランチョンセミナー22 共催：花王プロフェッショナル・サービス株式会社			ランチョンセミナー23 共催：第一三共株式会社	
13:10				13:00
シンポジウム25 耐性菌の基礎から疫学まで 司会：竹末芳生 山根一和 演者：石井良和 松井真理 山根一和 藤澤睦子 高倉俊二	一般演題 消毒、洗浄、滅菌1 2-O-47-1~8	一般演題 病院建築設備 2-O-53-1~6	一般演題 SSI 4 2-O-59-1~5	14:00
	14:40	14:20	14:40	
15:10	一般演題 消毒、洗浄、滅菌2 2-O-48-1~8	一般演題 標準予防策、経路別予防策 2-O-54-1~9	一般演題 細菌感染1 2-O-60-1~7	15:00
	16:10	16:00		16:00
シンポジウム26 エコロジーとエコノミーで感染対策を考える 司会：森下幸子 福元大介 演者：新改法子 大石 努 小山 勇 森下幸子	一般演題 症例、事例2 2-O-49-1~5	一般演題 個人用防護具 2-O-55-1~6	一般演題 細菌感染2 2-O-61-1~6	17:00
				18:00
				19:00
				19:30



海外招聘者紹介

第26回日本環境感染学会総会での海外からのゲストをご紹介します。

● John M. Boyce

(Hospital of St. Raphael, コネチカット州New Haven)



CDCの「手指衛生のガイドライン(2002年)」の著者。数々の公的・学術的仕事をこなす一方で、自施設における感染対策実務へのアドバイスもしている。5年前の環境感染学会総会(神戸)で来日したが、その際に温泉や酒蔵などの日本の伝統文化に触れて大いに感銘を受け、今回の再来日につながった。

● William R. Jarvis

(Jason and Jarvis Associates, サウスカロライナ州Hilton Head)



CDCの「SSI防止のガイドライン(1999年)」の著者の一人。CDCのDHQP(医療関連感染対策担当部門)の元副部門長。CDCガイドラインの勧告が、時にエビデンスに基づかず政治的な配慮がなされることに関して、「Show me the data!」というフレーズで公然と批判する、辛口のコメントでも知られている。

● Russel Olmsted

(St. Joseph Mercy Hospital, ミシガン州Ann Arbor)

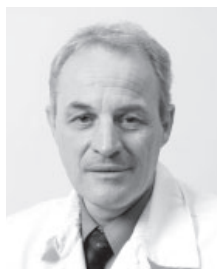


APIC(アメリカの感染対策実務担当者協会)の2011年の会長。自施設の感染対策担当者のチーフを務めている。現場に密着した豊富な感染対策の実務経験と十分な知識を背景に、幅広い分野で専門性を発揮している。特に空気予防策の分野では論文や講演が多い。



● Didier Pittet

(University of Geneva, スイス・ジュネーブ)



CDCの「手指衛生のガイドライン(2002年)」の著者。Boyce氏が手指衛生の「西の雄」であるとすれば、Pittet氏は「東の雄」。WHOが所在するジュネーブの大学に所属していることもあり、WHOの手指衛生キャンペーンはWHOの職員ではない彼とそのスタッフによって主に展開されている。

● Mark E. Rupp

(University of Nebraska Medical Center, ネブラスカ州Omaha)



CDCの「カテーテル関連血流感染防止のガイドライン(2010年公開予定)」の著者。CDCガイドラインの策定のための諮問委員会であるHICPACの委員を長年務めている。自身の施設では感染症科医として感染症の診断治療にあたるかたわら、感染対策実務の助言もしている。

● William A. Rutala

(University of North Carolina, ノースカロライナ州Chapel Hill)



CDCの「消毒と滅菌のガイドライン(2008年)」の著者。第25回総会(東京高輪)に来日した同僚のWeber氏とともに、消毒と滅菌に関する「歩く百科事典」的な存在。この領域において圧倒的な知識とデータを持った権威者。



学会参加者へのご案内

1. 参加受付

2月17日(木) 15:00～19:00

2月18日(金) 7:45～17:30

2月19日(土) 7:45～15:00

受付：パシフィコ横浜 会議センター2F

※事前参加登録いただいた方は予めお送りした参加証をご着用のうえ、ご入場ください。

受付にお立ち寄りいただく必要はございません。参加受付周辺にてストラップをご用意いたします。

2. 学会参加費

受付にて下記の要領でお支払いください。

【当日参加登録】

1) 会員および非会員：10,000円

2) 学生・大学院生・留学生：無料

(学生証あるいは留学生の証明書を当日受付にご提示ください。)

3. 会員懇親会

2月18日(金) 18:30～20:30(開場 18:00～)

場所：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル3F ボールルーム

会費：無料(参加費に含まれます。)

4. 理事会

2月17日(木) 16:30～18:00

場所：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F『アトランティック』

5. 評議員会

2月18日(金) 11:10～12:00

場所：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F『パシフィック』

6. 総会および学会賞、上田Award授賞式

2月18日(金) 13:00～13:50

場所：第1会場(国立大ホール)

第7回学会賞の受賞講演は総会に引き続き行われます。

7. 第7回教育委員会講習会 協賛：職業感染制御研究会

2月18日(金) 16:00～18:00

場所：第1会場(国立大ホール)

テーマ 「聞かなきゃ損する針刺し・体液曝露対策のすべて」

・参加証を発行いたします。

・事前登録は必要ありませんが、ICD講習会と異なり学会参加者のみに限定しております。

(お問い合わせ先) E-mail: icpeducation-office@umin.ac.jp



8. 編集委員会講習会

2月18日(金) 14:00～15:30

場所：第1会場(国立大ホール)

テーマ 「私はこのように査読するー査読者の立場からー」

9. JSEI教育委員会・APICジョイントプログラム ※同時通訳

2月19日(土) 8:30～10:00

場所：第4会場(パシフィコ横浜 5F『502』)

テーマ 「2009年新型インフルエンザ対策における日米の対応の比較」

10. 第117回ICD講習会

2月19日(土) 17:10～19:00

場所：第1会場(国立大ホール)

テーマ 「医療関連感染の制御：注目すべき微生物への対応」

講習会参加には必ず事前登録が必要です。ICD制度協議会事務局まで、FAXかE-mailにてお申し込みください。更新のための15単位が取得できます。また認定資格の一部となります。

[ICD協議会事務局]

FAX: 03-5842-5846 E-mail: icd@theia.ocn.ne.jp

11. ランチョンセミナー

・2月18日(金) 12:10～13:00

場所：パシフィコ横浜 第2会場～第21会場

・2月19日(土) 12:00～12:50

場所：パシフィコ横浜 第2会場～第14会場、第17会場

整理券の配布時間：2月18日(金) 7:30～11:00

2月19日(土) 7:30～11:00

※先着順となりますのでご了承ください。

配布場所：パシフィコ横浜 会議センター1F

2月19日のみ第1会場(国立大ホール)にてDVD視聴会を行います。(昼食つき)

ランチョンセミナーに参加されない方は昼食をご用意いたしますのでぜひご参加ください。

2月19日(土) 11:30～14:00 (12:15よりお弁当を配布いたします)

12. 日本医師会生涯教育講座単位について

本総会の参加者は日本医師会生涯教育講座の単位(1日目：5単位、2日目：5単位)を取得できます。ご希望の方は参加受付後、各日単位受付窓口(会議センター2F参加受付に隣接)へお越しください。

13. 会場内での写真・ビデオ撮影はご遠慮ください

14. CD-ROM抄録集閲覧コーナー

会期中、国立大ホール1F N101と会議センター1F メインホール前フォワイエにてCD-ROM抄録集閲覧コーナーを設けます。抄録の出力も可能ですのでご利用ください。



15. 日本環境感染学会事務局からのお知らせ

<入会に関するお願い>

新しくご入会いただく方は下記日本環境感染学会のホームページからお手続きをお願いいたします。
<http://www.kankyokansen.org/nyukai/nyukai.html>

<年会費納入に関するお願い>

第26回日本環境感染学会総会会場では年会費の納入が出来ません。
学会支援機構よりお送りいたしました「払込取扱票」にて、年会費をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。

<上記に関するお問い合わせ>

〒141-8648 品川区東五反田4-1-17 東京医療保健大学内
日本環境感染学会事務局
TEL: 03-5420-2406 FAX: 03-5420-2407 E-mail: jsei@thcu.ac.jp



演者・司会・座長の先生方へ

1. 口演演者の方へ

今回、一般演題のポスター発表はございません。全て口演発表となります。

1) 発表時間

セッションごとに講演時間、質疑応答の有無・時間、および総合討論の有無など構成が異なります。事前にお送りしておりますご案内をご参照ください。※時間厳守でお願いいたします。

	1 演題あたりの発表時間	スライド枚数
会長講演、特別講演、招請講演、教育講演、特別シンポジウム、Meet the Expert、サテライトレクチャー、教育委員会講習会、シンポジウム、JSEI教育委員会・APIC ジョイントプログラム、SSIサーベイランス研究会、編集委員会講習会、ICD 講習会	※別途ご案内しております書面にてご確認ください。	スライド枚数に制限はありませんが、発表時間内で納まる枚数で作成してください。
一般演題	講演7分＋質疑応答3分	

2) 講演データの準備・登録について

講演データの準備・登録は以下のようにお願いいたします。

講演予定の60分前までにPCセンターにてデータ受付を行っていただきますようお願いいたします。

※2月18日(金)1日目の午前中のご発表の方はなるべく前日のデータ受付をお願いいたします。

1日目午後・2日目のご発表の方は2月18日(金)午前11時以降からのデータ受付をお願いいたします。

データの持込み、ノートパソコンの持込み、いずれも可能です。

Macintoshで発表の方、動画がある場合はPCのお持込みを推奨いたします。

< PCセンター >

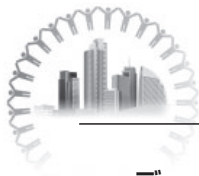
場所：パシフィコ横浜会議センター 地下1F フォワイエ

開設時間：

開 設 時 間	2月17日(木) 15:00～19:00
	2月18日(金) 7:30～19:00
	2月19日(土) 7:30～15:00

データは、次項をご参照の上、CD-R、USB フラッシュメモリに保存してください。

PCセンターでは、講演会場名、セッション名、演題番号をお申し出ください。



データ形式

本会での発表可能なデータ形式は、下記の要領で作成または、動作確認したものです。

Windows 版：PowerPoint 2003、2007、2010

上記以外のMicrosoft PowerPointを使用されている方、Macintoshで発表の方、動画がある場合はご自身のPCをお持ちください。

※フォントは次のものを推奨します。

日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝

英語：Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier New、Georgia

※動画をご使用の場合は、下記のソフトで再生可能であるものに限定します。

Windows 版：Windows Media Player

Macintosh 版：Quick time Player

※プレゼンテーションに他のデータ(静止画・動画・グラフなど)をリンクさせている場合は、必ず他データも保存し、事前に動作確認をお願いします。

※お預かりいたしましたデータは会期終了後、主催者の責任において破棄いたします。

CD-Rに書き込みの場合

CD-Rに書き込みは、ハイブリット(ISO9660)フォーマットをご利用ください。パケットライト等の特殊な機能は読み込めないことがありますのでご使用にならないでください。

PC持込みの場合

液晶モニターで外部出力の確認作業をいたします。

スクリーンセーバー、ウイルスチェック、ならびに省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。

電源ケーブルを必ず持参してください。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。

Mac持込の場合はmini D-Sub15pinへの変換コネクタを必ずご持参ください。

PC本体は、講演終了後に会場内でご返却いたします。

3)口演会場において

演者はセッション開始15分前までに会場内最前列の次演者席にお着きください。

座長の指示のもと、演台上のマウスを各自操作して発表していただきます。



mini D-Sub15pin

2. 司会・座長の先生方へ

1) 担当セッション開始時刻15分前までに、会場内最前列の次座長席にご着席ください。

2) 第1・2会場以外では各会場のアナウンスはございません。

セッション開始時刻になりましたらご登壇いただき、セッションを開始してください。

3) 各プログラムにより進行および時間が異なります。司会・座長一任のもと円滑な進行をお願いいたします。

4) 終了時間を厳守いただきますようご配慮ください。



第26回日本環境感染学会総会プログラム

基調講演

2月18日(金) 10:00~10:50 第2会場(メインホール)

司会：大久保 憲 (東京医療保健大学大学院 感染制御学 教授)

同時通訳

消毒と滅菌：最近の話題と新技術

Disinfection and sterilization: current issues and new technologies

William A. Rutala (University of North Carolina (UNC) Health Care and UNC School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA)

特別講演1

2月18日(金) 9:00~10:00 第2会場(メインホール)

司会：清水 喜八郎 (河北総合病院)

インフルエンザとその対策

インフルエンザパンデミック(2009)の経験とこれから進むべき方向

葛西 健 (世界保健機関西太平洋地域事務局 健康危機管理部 部長)

特別講演2

2月19日(土) 10:10~11:10 第2会場(メインホール)

司会：小林 寛伊 (東京医療保健大学／大学院 学長)

同時通訳

蒸気化過酸化水素の使用が環境からの病原体除去および医療関連感染率に及ぼす影響

The role of the environment in transmission of healthcare-associated pathogens and new strategies for decontaminating environmental surfaces

John M. Boyce (Hospital of Saint Raphael and Yale University School of Medicine, New Haven, CT, USA)

招請講演1

2月18日(金) 16:10~17:10 第2会場(メインホール)

司会：炭山 嘉伸 (東邦大学 理事長)

同時通訳

2010年代のカテーテル関連BSI防止

Prevention of catheter-associated BSI in the second decade of the 21st century

William Robert Jarvis (Jason and Jarvis Associates, Hilton Head, South Carolina, USA)

招請講演2

2月18日(金) 9:00~10:00 第5会場(503)

司会：小林 寛伊 (東京医療保健大学／大学院 学長)

同時通訳

手指衛生を改善するための戦略

Strategies to improve hand hygiene

Didier Pittet (Director, Infection Control Programme & WHO Collaborating Center on Patient Safety, University of Geneva Hospitals and Faculty of Medicine)



第26回日本環境感染学会総会

招請講演3

2月18日(金) 15:00~15:50 第5会場(503)

司会：守殿 貞夫（神戸赤十字病院 院長）

院内感染をめぐる医療訴訟 ～感染管理に関する記録の重要性～

中村 隆（中村・平井・田邊法律事務所 所長・弁護士）

招請講演4

2月19日(土) 14:30~15:30 第2会場(メインホール)

司会：河野 茂（長崎大学病院 病院長）

同時通訳

CDC ガイドラインと医療関連感染諮問委員会：その舞台裏は？

CDC HICPAC guideline for the prevention of intravascular catheter-related infections: behind the scene update

Mark Edmund Rupp (Professor, Department of Internal Medicine, Section of Infectious Diseases, Medical Director, Department of Healthcare Epidemiology and the Clinical Trials Office, University of Nebraska Medical Center, Omaha, Nebraska, USA)

会長講演

2月19日(土) 8:30~9:00 第1会場(国立大ホール)

司会：小西 敏郎（NTT 東日本関東病院 副院長）

学会の歩んできた道と今後

大久保 憲（東京医療保健大学大学院 感染制御学 教授）

教育講演1

2月18日(金) 14:00~14:50 第4会場(502)

司会：白石 正（山形大学医学部附属病院 薬剤部 教授）

環境整備に使用する消毒薬

尾家 重治（山口大学医学部附属病院 薬剤部 准教授）

教育講演2

2月18日(金) 15:00~15:50 第4会場(502)

司会：内田 美保（東京大学医学部附属病院 副看護部長）

医療関連感染サーベイランスの今後

西岡 みどり（国立国際医療研究センター 国立看護大学校 教授）

教育講演3

2月18日(金) 14:00~14:50 第5会場(503)

司会：遠藤 英子（東邦大学医学部 看護学科 感染制御看護分野 教授）

チーム医療と業務拡大

坂本 すが（東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 学科長）

**教育講演4**

2月18日(金) 9:00~10:00 第13会場(303)

司会：荒川 創一（神戸大学医学部附属病院 感染制御部 部長）

SSI防止対策の現状と展望

針原 康（NTT東日本関東病院 手術部長・外科 主任医長）

教育講演5

2月18日(金) 10:10~11:10 第13会場(303)

司会：一山 智（京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部 部長）

医療機関での結核感染対策と曝露後検査としてのQuantiferonの有用性

毛利 昌史（東和病院 院長）

教育講演6

2月19日(土) 8:30~9:30 第13会場(303)

司会：松本 文夫（神奈川県立汐見台病院 名誉院長）

ワクチンで予防可能ウイルス疾患の抗体検査

多屋 馨子（国立感染症研究所 感染症情報センター 室長）

教育講演7

2月19日(土) 9:40~10:40 第13会場(303)

司会：辻 明良（東邦大学 名誉教授、東邦大学医療センター佐倉病院 特任教授）

医療政策の変化が医療感染関連対策をどう変えていくか

柴 孝也（東京慈恵会医科大学 客員教授、東京医療保健大学大学院 教授）

教育講演8

2月19日(土) 10:50~11:50 第13会場(303)

司会：朝野 和典（大阪大学医学部附属病院 感染制御部 教授）

小児腸管感染症

佐藤 吉壮（富士重工業健康保険組合 総合太田病院 副院長）

教育講演9

2月19日(土) 13:10~14:10 第13会場(303)

手術室における感染制御

司会：安原 洋（東京大学医学部附属病院 手術部 教授）

1) 手術室の環境および施設整備

筧 淳夫（国立保健医療科学院 施設科学部 部長）

2) 手術室における生体消毒薬の選択と適用方法

齋藤 祐平（東京大学 医学部 附属病院 手術部 助教）



PPEの適切な使用方法と意義

司会：森屋 恭爾（東京大学医学部附属病院 感染制御部 部長）

- 1) 感染対策における呼吸用防護具の適切な使用とその意義
和田 耕治（北里大学医学部衛生学公衆衛生学 講師）
- 2) 呼吸用防護具の適切な使用について
黒須 一見（東京都 保健医療公社 荏原病院 感染管理担当看護師長）

アメリカの感染対策専門家に聞く

同時通訳

司会：大久保 憲（東京医療保健大学大学院 感染制御学）
森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部）

John M. Boyce (Hospital of St Raphael, New Haven, Connecticut, USA)

William R. Jarvis (Jason and Jarvis Associates, Hilton Head, South Carolina, USA)

Russell Olmsted (St. Joseph Mercy Hospital, Ann Arbor, Michigan, USA)

Mark E. Rupp (University of Nebraska Medical Center, Omaha, Nebraska, USA)

William A. Rutala (University of North Carolina (UNC) Health Care and UNC School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA)

満田 年宏（公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部）

堀 賢（順天堂大学大学院 感染制御科学）

矢野 邦夫（県西部浜松医療センター 感染症科）

向野 賢治（社会医療法人 大成会 福岡記念病院 感染制御部）

集団発生事例から学ぶ耐性菌の克服

司会：戸塚 恭一（東京女子医科大学 感染対策部 感染症科）
渡邊 都貴子（岡山大学病院 看護部・感染制御部）

- 1) MDRP 集団発生から学んだこと
朝野 和典（大阪大学 感染制御部）
- 2) 多剤耐性アシネトバクター集団発生から学んだこと
高田 徹（福岡大学病院 感染制御部）
- 3) VRE 集団発生から学んだこと
稲垣 薫（西尾市民病院）
- 4) KPC、NDM-1 などの新規薬剤耐性菌：集団発生の可能性はあるのか
山本 剛（西神戸医療センター 臨床検査技術部・感染防止対策室）



シンポジウム2

2月18日(金) 9:00~11:00 第3会場(501)

安全な注射処置をめぐる

司会：満田 年宏（公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部）
小野寺 直人（岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 感染症対策室）

- 1) 安全な注射処置の基本的な考え方とガイドラインを含めた各国の取り組み
吉田 眞紀子（東京都立小児総合医療センター 医療安全対策室(感染管理担当)）
- 2) 注射処置に関連した感染アウトブレイク事例に学ぶ
満田 年宏（公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部）
- 3) 医療安全の面からみた安全な注射処置と情報収集と周知
馬場 征一（厚生労働省医政局指導課）
- 4) 整形外科診療所で発生したセラチア菌アウトブレイク事例の背景と課題
中山 治（三重県津保健福祉事務所）
- 5) チーム医療で取り組む安全な注射処置の改善計画
ー沖縄県立中部病院における取り組みー
兼島 優子（沖縄県立中部病院）

シンポジウム3

2月18日(金) 14:00~16:00 第3会場(501)

アウトブレイクを早く見つけるためには何をすべきか？

司会：金光 敬二（福島県立医科大学 感染制御・臨床検査医学）
中島 一敏（国立感染症研究所 感染症情報センター）

- 1) サーベイランスを再考する
具 芳明（国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース）
- 2) 医療施設におけるサーベイランス
國島 広之（東北大学大学院 感染症診療地域連携講座）
- 3) アウトブレイク対応の実例 原因不明として探知された肺炎集団発生事例
杉下 由行（東京都 島しょ保健所 小笠原出張所）
- 4) アウトブレイクに対する備えとしてのサーベイランス
中島 一敏（国立感染症研究所 感染症情報センター）
- 5) 感染症危機管理におけるサーベイランス ーその意義と重要性ー
賀来 満夫（東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学）

シンポジウム4

2月18日(金) 16:10~18:00 第3会場(501)

新興・再興感染症クライシスで提起された新たな院内感染対策の視点

司会：吉倉 廣（国立感染症研究所）

- 1) 新型インフルエンザパンデミックを経て今後の感染対策を考える
川名 明彦（防衛医科大学校 内科学2(感染症・呼吸器)）
- 2) 小児におけるインフルエンザ感染症への対策
ー2009 A/H1N1 インフルエンザ感染症から学ぶことー
齋藤 昭彦（国立成育医療研究センター 内科系専門診療部 感染症科）



- 3) 新たに構築された神戸における感染症情報ネットワーク
荒川 創一 (神戸大学医学部附属病院 感染制御部)
- 4) 院内感染対策地域支援と感染症危機管理ネットワーク
ー新たな視点とその取り組みー
賀来 満夫 (東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学)
- 5) 院内感染地域支援ネットワーク構築の試み (平成16～18年度)
切替 照雄 (国立国際医療研究センター研究所 感染症制御研究部)
- 6) 感染対策に関する政策の現状
馬場 征一 (厚生労働省医政局指導課)

シンポジウム5

2月18日(金) 9:00～10:30 第4会場(502)

データに基づく効率的な感染症・感染管理コンサルテーション

司会：長沢 光章 (東北大学病院 診療技術部)
犬塚 和久 (JA愛知厚生連 医療事業部 医務課)

- 1) 臨床検査データ (Lab-based active consultation) ～MTの行動目標は何か～
大塚 喜人 (亀田総合病院 臨床検査部)
- 2) 東北大学病院における感染症コンサルテーション
八田 益充 (東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野)
- 3) 薬剤師の立場から ー薬剤師がなすべきことはー
高山 和郎 (東京大学医学部附属病院 薬剤部)
- 4) 看護師の立場から ーデータの有効利用ー
内山 正子 (新潟大学医歯学総合病院 感染管理部)

シンポジウム6

2月18日(金) 16:00～18:00 第4会場(502)

抗菌薬関連下痢症のup to date

司会：松本 哲哉 (東京医科大学病院 感染制御部)
佐藤 吉壮 (富士重工業健康保険組合 総合太田病院 小児科)

- 1) 抗菌薬関連下痢症の現状：当院の疫学も含めて
吉田 順一 (下関市立中央病院 感染管理委員会)
- 2) *Clostridium difficile*感染症の細菌学的検査法と国内外における分子疫学
加藤 はる (国立感染症研究所 細菌第二部)
- 3) 抗菌薬関連下痢症の診療の実際
大曲 貴夫 (静岡がんセンター 感染症内科)
- 4) *C. difficile*の感染者・保菌者の取り扱い
向野 賢治 (社会医療法人 大成会 福岡記念病院)
- 5) 医療スタッフの感染制御面の効果的教育法
佐藤 久美 (東京医科大学病院 感染制御部)
- 6) 当院における *C. difficile* 感染者のアウトブレイク事例
芳賀 佳之 (さいたま市立病院 救急科)



シンポジウム7

2月18日(金) 10:10~11:40 第5会場(503)

永遠の課題：手指衛生のすべてを理解する

司会：新井 晴代（総合母子保健センター愛育病院）

菅原 えりさ（日本赤十字社医療センター 感染対策室）

- 1) 手指衛生に使用する製品・製剤を理解する
白石 正（山形大学 医学部附属病院 薬剤部）
- 2) 臨床現場のアルコールラビングにどのくらい時間をかけている？
菅原 えりさ（日本赤十字社医療センター 感染対策室）
- 3) 遵守率のモニタリングとフィードバック
奥 直子（北海道大学病院 看護部）
- 4) 手術時手指衛生
小林 美奈子（三重大学 先端的外科技術開発学）

シンポジウム8

2月18日(金) 16:00~18:00 第5会場(503)

器材の洗浄・消毒・滅菌

司会：伏見 了（大阪大学医学部附属病院 材料部）

奥 直子（北海道大学病院 看護部）

- 1) わが国における「滅菌保証のガイドライン2010」と国際的なトレンド
高階 雅紀（大阪大学 医学部 附属病院 材料部）
- 2) 洗浄・滅菌における最新情報と日本の現状
島崎 豊（愛知県厚生連 海南病院 医療安全管理部 感染対策室）
- 3) 器材の洗浄・滅菌の実際
森 正史（北見赤十字病院 物品管理部）
- 4) 器材の洗浄・消毒・滅菌管理へのかかわり
松島 由実（鈴鹿中央総合病院）
- 5) プリオン病対策と器材の洗浄・消毒・滅菌
齋藤 祐平（東京大学 医学部 附属病院 手術部）

シンポジウム9

2月18日(金) 16:20~18:00 第13会場(303)

薬剤師による感染症治療戦略

司会：森田 邦彦（同志社女子大学 薬学部 臨床薬剤学）

木津 純子（慶應義塾大学 薬学部実務薬学）

- 1) Antimicrobial stewardshipsとは？
堀 賢（順天堂大学大学院 感染制御科学）
- 2) TDM対象外の感染症治療薬の投与設計にどう関わるか？
松元 加奈（同志社女子大学 薬学部 臨床薬剤学）
- 3) 診療所における抗菌薬適正使用への薬剤師の介入
～グラム染色の活用による治療効果の改善と医療費の抑制～
前田 雅子（まえだ耳鼻咽喉科クリニック）
- 4) ICT活動における薬剤師の役割ー総合的な観点から実践する抗菌薬の適正使用ー
小野寺 直人（岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 感染症対策室）



シンポジウム 10

2月18日(金) 9:00~11:00 第14会場(304)

ガイドライン策定における質的評価法とその評価を踏まえた活用法

司会：操 華子（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科）
塚本 容子（北海道医療大学 看護福祉学部 臨床看護学講座）

- 1) クリニカル・プラクティス・ガイドラインの変遷と今後の動向
中山 健夫（京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野）
- 2) ガイドラインの質的評価方法：AGREEによる評価の実際
操 華子（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科）
- 3) 新しいCDC 血管内カテーテル感染防止ガイドライン：
その変更点、日本の医療現場への適合性について
向野 賢治（社会医療法人 大成会 福岡記念病院）
- 4) ジョンス・ホプキンス大学病院看護部のEBCPステップを活用したガイドライン適用
の取り組みの実際
川上 和美（公立福生病院 医療安全管理室）

シンポジウム 11

2月19日(土) 9:10~11:10 第1会場(国立大ホール)

病院設備における感染対策～病院はホテルか～

司会：筧 淳夫（国立保健医療科学院 施設科学部）
大友 陽子（東京女子医科大学病院 感染対策部）

- 1) CDCガイドラインにみる病院設備・管理に関する考え方
矢野 邦夫（県西部浜松医療センター 感染症科）
- 2) 設備設計エンジニアの考える病院設備と管理(空調)
伊藤 昭（株式会社 日建設計 設備設計部門）
- 3) ファシリティマネージャーの考える病院設備と管理(清掃)
岩田 哲郎（シーアンドエス株式会社）
- 4) ICTが担う病院設備・管理のあり方
池上 美保（社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院）
- 5) 建築計画の専門家が考える病院計画と管理
筧 淳夫（国立保健医療科学院 施設科学部）

シンポジウム 12

2月19日(土) 8:30~10:00 第2会場(メインホール)

医療従事者のワクチン接種

司会：岩田 敏（慶應義塾大学医学部 感染制御センター）
堀 賢（順天堂大学大学院 感染制御科学）

- 1) 医療従事者のワクチン接種の現状
中澤 靖（東京慈恵会医科大学 感染制御科）
- 2) 委託業者のワクチン接種の現状
石原 勉（石原アメニテック株式会社）
- 3) 当院における医療従事者に対するワクチン接種への取り組み
吉澤 定子（東邦大学医療センター大森病院 感染管理部）



4) このままでいいのかワクチン接種

岩田 敏 (慶應義塾大学医学部 感染制御センター)

シンポジウム 13

2月19日(土) 15:50~17:00 第2会場(メインホール)

学会の社会的役割

司会：森澤 雄司 (自治医科大学附属病院 感染制御部)

北村 龍彦 (近森病院)

- 1) 感染対策に関する様々な資格制度に学会が果たす役割：これまでとこれから
森澤 雄司 (自治医科大学附属病院 感染制御部)
- 2) 感染防止対策加算の根拠に対して学会が果たした役割
吉田 理香 (近畿大学医学部附属病院 安全管理部 感染対策室)
- 3) 医療材料公定価格改定における学会の位置づけ
操 華子 (国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科)
- 4) 診療報酬点数改定と感染対策の現状
大久保 憲 (東京医療保健大学大学院 感染制御学)

特別発言

永井 勲 (玉置病院、東京医療保健大学、社会保険紀南病院)

シンポジウム 14

2月19日(土) 8:30~10:00 第3会場(501)

血管内カテーテル関連感染に関わる新たな取り組みと課題

司会：粕田 晴之 (栃木県立がんセンター 緩和医療部麻酔科)

雨宮 みち (日本看護協会 看護研修学校認定看護師教育課程)

- 1) 埋め込み型CVポートの適応と管理
蔵並 勝 (北里大学病院 化学療法センター部)
- 2) 末梢静脈カテーテルの管理ー末梢静脈カテーテルの交換時期とBSIおよび静脈炎の発生頻度の検討ー
塚田 真弓 (東邦大学医療センター大森病院 感染管理部)
- 3) 末梢挿入型中心静脈カテーテル使用の現状と課題
森澤 雄司 (自治医科大学附属病院 感染制御部)
- 4) 血液培養検査実施における現状と課題 (望ましい血液培養実施のタイミングと方法)
細川 直登 (亀田メディカルセンター 総合診療・感染症科)
- 5) BSI防止のためのカテーテル挿入部消毒
谷村 久美 (NTT東日本関東病院 看護部)

シンポジウム 15

2月19日(土) 10:10~11:40 第3会場(501)

JANIS 検査部門のすべて：医療関連感染対策への活用から研究的解析まで

司会：鈴木 里和 (国立感染症研究所 細菌第二部)

佐藤 智明 (山形大学医学部附属病院 検査部)

- 1) 検査部門の概要と還元情報の活用について
筒井 敦子 (国立感染症研究所 細菌第二部)



- 2) 検査部門の長所と短所、および今後の改善点
山岸 拓也 (国立感染症研究所 細菌第二部)
- 3) JANIS 検査部門を利用した院内感染対策
荻野 毅史 (済生会川口総合病院 臨床検査科)
- 4) サーベイランスデータ還元の新時代；2DCM-webの基礎と活用
藤本 修平 (東海大学 医学部 基礎医学系 生体防御学)

シンポジウム 16

2月19日(土) 13:10~15:10 第3会場(501)

2009年H1N1対策～インフルエンザ対策2009年4月からの総括

司会：川名 明彦 (防衛医科大学校 内科学2 (感染症・呼吸器))
櫻井 滋 (岩手医科大学 医療安全管理部 感染症対策室)

- 1) 新型インフルエンザ発生と政府の取り組みを振り返る
高山 義浩 (沖縄県立中部病院 感染症内科)
- 2) ITを活用したインフルエンザ調査研究
ー岐阜県リアルタイムサーベイランスと日本臨床内科医会インフルエンザ研究ー
河合 直樹 (岐阜県医師会・日本臨床内科医会インフルエンザ研究班)
- 3) 地域における新型インフルエンザ(H1N1pdm)対策
ー行政と関係機関との情報共有、方針共有など協働の重要性ー
岡田 就将 (岐阜県 健康福祉部 保健医療課)
- 4) インフルエンザA(H1N1)2009pdm ウイルスワクチンの開発戦略と接種戦略
庵原 俊昭 (国立病院機構三重病院 小児科)
- 5) 2009年新型インフルエンザA(H1N1)の臨床
菅谷 憲夫 (神奈川県警友会 けいゆう病院 小児科)

シンポジウム 17

2月19日(土) 15:20~16:50 第3会場(501)

針刺し後の対処

司会：小池 和彦 (東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

- 1) 医療施設内におけるHAV感染予防対策
山田 典栄 (清川病院 肝臓病研究センター)
- 2) B型肝炎ウイルスの感染予防の効果的な対策
四柳 宏 (東京大学 医学部 感染症内科)
- 3) HCVの曝露後対応
森屋 恭爾 (東京大学 医学部附属病院 感染制御部)
- 4) 医療現場におけるHIV暴露後予防の進歩
岡 慎一 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)



シンポジウム 18

2月19日(土) 8:30~10:00 第5会場(503)

感染症疫学的重要性ーデータは語るー

司会：齋藤 昭彦（国立成育医療研究センター 内科系専門診療部 感染症科）
吉田 眞紀子（東京都立小児総合医療センター 医療安全対策室(感染管理担当)）

- 1) ウイルスの基礎研究が公衆衛生対応・感染症治療にどのように結び付いているか
鈴木 陽（東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野）
- 2) ワクチンにまつわるデータの意味するところ
神谷 元（国立感染症研究所 感染症情報センター）
- 3) 性感染症のデータはいったい何を意味しているのか
堀 成美（聖路加看護大学）
- 4) 病院における疫学の意義と実際の活用
ー病院関連感染症サーベイランスと抗菌薬管理プログラムの重要性ー
齋藤 昭彦（国立成育医療研究センター 内科系専門診療部 感染症科）

シンポジウム 19

2月19日(土) 13:10~15:10 第4会場(502)

NICU・透析室の感染対策ーさらなる質の向上を目指してー

司会：矢野 邦夫（県西部浜松医療センター 感染症科）
藤田 昌久（日本医科大学付属病院 医療安全管理部感染制御室）

- 1) NICU 病院感染予防のためのガイドラインの紹介と感染対策
北島 博之（大阪府立母子保健総合医療センター 新生児科）
- 2) NICU の日常業務における感染対策
立花 亜紀子（埼玉県立小児医療センター 医療安全管理室）
- 3) NICU 医療関連感染サーベイランスの実際と課題
美島 路恵（東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 感染対策室）
- 4) 透析医療における感染予防ー安全で標準的な透析操作と感染予防ー
安藤 亮一（武蔵野赤十字病院 腎臓内科）
- 5) 透析室における医療関連感染サーベイランスの実際と課題
谷口 弘美（東葛クリニック病院）
- 6) 透析室における感染防止対策の現状と課題
松金 隆夫（東葛クリニック病院 臨床工学部）

シンポジウム 20

2月19日(土) 15:20~16:50 第4会場(502)

MRSAのアクティブサーベイランスによる科学的な感染制御の展開

司会：賀来 満夫（東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学）
小林 敦子（宝塚市立病院 臨床検査室）

- 1) MRSAのアクティブサーベイランスに関する世界的潮流
森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部）
- 2) リアルタイムPCRを用いたICU入室患者に対するMRSAアクティブサーベイランス導入の効果
清水 潤三（市立豊中病院 ICT）



- 3) MRSA術後感染症予防への取り組みーPCRによるMRSA迅速検査の活用ー
高橋 佳子（兵庫医科大学病院 感染制御部）
- 4) リアルタイム感染制御への取り組み
堀 賢（順天堂大学大学院 感染制御科学）

シンポジウム21

2月19日(土) 13:10~15:10 第5会場(503)

JHAIS委員会医療器具関連感染サーベイランス報告会

司会：高野 八百子（慶應義塾大学病院 感染制御センター）
坂本 史衣（聖路加国際病院 医療安全管理室）

- 1) ICUにおける医療器具関連サーベイランスとそのフィードバック
ーNHSN/JHAISデータの活用ー
池田 知子（埼玉医科大学総合医療センター）
- 2) 参加施設からの報告2
西内 由香里（公立大学法人 京都府立医科大学附属病院）
- 3) 全体の結果報告
藤田 烈（東京大学大学院医学系研究科）
- 4) JHAIS定義説明
黒須 一見（東京都 保健医療公社 荏原病院）
- 5) 今後の課題・展望
坂木 晴世（独立行政法人 国立病院機構西埼玉中央病院 医療安全管理室）
- 6) 応用事例の検討
渡邊 都貴子（岡山大学病院 看護部・感染制御部）
- 7) 応用事例の検討
柴谷 涼子（大阪厚生年金病院 看護ケア推進室）

シンポジウム22

2月19日(土) 15:20~16:50 第5会場(503)

診療報酬改定と感染対策～2010年度診療報酬改定「感染防止対策加算」新設の与える影響

司会：村上 啓雄（岐阜大学 医学部附属病院 生体支援センター）

- 1) 平成22年度診療報酬改定と平成24年度の診療報酬改定に向けての中央社会保険医療協議会(中医協)における議論について
前田 彰久（厚労省保険局医療課）
- 2) 「感染防止対策加算」は感染制御チームに与えられた目標である
富田 典子（秋田大学医学部附属病院 感染制御部）
- 3) 臨床検査技師の役割
犬塚 和久（JA愛知厚生連 医療事業部 医務課）
- 4) 抗菌薬適正使用推進と薬剤師の役割
丹羽 隆（岐阜大学 医学部 附属病院 薬剤部）



シンポジウム23

2月19日(土) 14:20~16:20 第13会場(303)

感染防止対策加算による抗菌薬届出制と適正使用

司会：砂川 慶介（北里大学 北里生命科学研究所）

吉田 正樹（東京慈恵会医科大学 感染制御部）

- 1) 院内感染防止対策加算により抗菌薬使用をめぐる状況は変わったのか？
堀 誠治（東京慈恵会医科大学 感染制御部）
- 2) 抗菌薬届出制と適正使用
高橋 聡（札幌医科大学 医学部 泌尿器科）
- 3) 市中病院における抗菌薬届出制と適正使用
塚田 弘樹（新潟市民病院 呼吸器 / 感染症内科）
- 4) 抗菌薬届出制とTDMの適正実施を含めた適正使用
五十嵐 正博（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院）
- 5) 薬剤耐性菌と抗菌薬適正使用 ～当院における取組について～
吉澤 定子（東邦大学医療センター大森病院 感染管理部）

シンポジウム24

2月19日(土) 8:30~10:30 第14会場(304)

明日からできる！高齢者施設で実践する感染対策

司会：鈴木 幹三（名古屋市緑保健所）

残間 由美子（(財)宮城厚生協会 坂総合病院）

- 1) 高齢者に多い感染症と施設における診療のポイント
八木 哲也（名古屋大学 医学部附属病院 中央感染制御部）
- 2) 高齢者施設における平常時の感染対策～スタンダードプリコーション
政本 紀世（社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院 医療安全管理室）
- 3) 高齢者施設における感染症発生時の対策～長期療養病床・老人保健施設・特別養護老人ホームでの疥癬アウトブレイクからの学び～
小澤 美紀（医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院）
- 4) 感染対策を遵守するための実践トレーニング
山本 典孝（医療法人 永広会 島田病院 看護部）

シンポジウム25

2月19日(土) 13:10~15:00 第14会場(304)

耐性菌の基礎から疫学まで

司会：竹末 芳生（兵庫医科大学 感染制御学）

山根 一和（国立感染症研究所 細菌第二部）

- 1) 細菌の抗菌薬耐性獲得の妙技
石井 良和（東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座）
- 2) アシネトバクター属と緑膿菌の薬剤耐性機構
松井 真理（国立感染症研究所 細菌第二部）
- 3) 我が国における薬剤耐性菌の疫学
山根 一和（国立感染症研究所 細菌第二部）



- 4) 多剤耐性菌に対する病院内の対応
藤澤 睦子 (富士市立中央病院)
- 5) 耐性菌による感染症の治療法とその難しさ
高倉 俊二 (京都大学医学部附属病院 感染制御部)

シンポジウム26

2月19日(土) 15:10~17:00 第14会場(304)

エコロジーとエコノミーで感染対策を考える

司会：森下 幸子 (医療法人 永広会 法人事務局)
福元 大介 (独立行政法人 国立病院機構東京医療センター)

- 1) 手術室におけるリユーザブルリネン使用の効果
新改 法子 (神戸市立医療センター中央市民病院 看護部 ICT)
- 2) 施設内処理による感染性廃棄物削減効果
大石 努 (関西医科大学附属枚方病院 感染症管理部)
- 3) 手術室における医療材料のリユース化の試み
小山 勇 (埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター)
- 4) 当施設が取り組む感染対策のエコ
森下 幸子 (医療法人 永広会 法人事務局)

Meet the Expert 1

2月19日(土) 7:30~8:20 第6会場(511+512)

司会：藤本 卓司 (市立堺病院 総合内科)

読んでおきたい論文top ten

森澤 雄司 (自治医科大学附属病院 感染制御部)

Meet the Expert 2

2月19日(土) 7:30~8:20 第7会場(411+412)

司会：安岡 彰 (長崎大学病院)

輸入感染症の症例と治療・感染対策

加藤 康幸 (国立国際医療研究センター 国際疾病センター)

Meet the Expert 3

2月19日(土) 7:30~8:20 第8会場(413)

司会：堀 誠治 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染制御部)

感染対策に必要な分子疫学の基礎知識

満田 年宏 (公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部)

Meet the Expert 4

2月19日(土) 7:30~8:20 第15会場(311+312)

司会：茂木 伸夫 (都立駒込病院 歯科口腔外科)

口腔ケアと誤嚥性肺炎予防

米山 武義 (米山歯科クリニック)



教育委員会講習会

2月18日(金) 16:00~18:00 第1会場(国立大ホール)

聞かなきゃ損する針刺し・体液曝露対策のすべて

司会：森澤 雄司（自治医科大学附属病院 感染制御部）
小野 和代（東京医科歯科大学医学部附属病院 感染対策室）

- 1) 針刺し時の臨床的対応の実際
中澤 靖（東京慈恵会医科大学病院 感染制御科）
- 2) HIVの内服治療に関する薬理学的な最新知見
吉田 眞紀子（東京都立小児総合医療センター 医療安全対策室(感染管理担当)）
- 3) 肝炎ウイルス対策における最近の知見
森屋 恭爾（東京大学医学部附属病院 感染制御部）
- 4) 肝炎ウイルスと抗体価検査
田中 美智男（京都大学医学部附属病院 検査部）
- 5) 職業感染制御研究会から；最近の動向と対策
吉川 徹（(財)労働科学研究所国際協力部センター）
- 6) 針刺し予防のための教育・指導について
李 宗子（神戸大学医学部附属病院 看護部）
- 7) 総括発言
満田 年宏（公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部）

協賛：職業感染制御研究会

JSEI教育委員会・APIC ジョイントプログラム

2月19日(土) 8:30~10:00 第4会場(502)

2009年新型インフルエンザ対策における日米の対応の比較

同時通訳

司会：満田 年宏（公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部）
森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部）

- 1) 2009年新型インフルエンザ対策：アメリカでの対応
Russell Olmsted（St. Joseph Mercy Hospital, Ann Arbor, Michigan, USA）
- 2) 2009年新型インフルエンザ対策：日本での対応
森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部）

サテライトレクチャー

2月19日(土) 14:30~16:00 第1会場(国立大ホール)

司会：三宅 寿美（東京医療保健大学大学院）
松井 泰子（県西部浜松医療センター 衛生管理室）

- 1) 感染対策担当者にふさわしいメークとは？
久野 千晴（ポーラファルマ）
- 2) 皮膚のメカニズム，手あれの病態生理とスキンケア
河合 修三（皮膚科シュウゾー）



開会の辞

小林 寛伊 (東京医療保健大学/大学院)

現場に役立つSSIサーベイランス

司会：草地 信也 (東邦大学医療センター大橋病院 外科)

針原 康 (NTT東日本関東病院 手術部・外科)

- 1) 全病院的手術部位感染サーベイランスシステムづくりへの取り組み
正村 睦子 (長野市民病院 感染対策室)
- 2) SSIサーベイランスデータ入力 of IT化に伴う、サーベイランス方法の変更
目次 香 (山陰労災病院 医療安全部)
- 3) 当院における外科SSIサーベイランスの効果
栗田 香 (鶴岡市立荘内病院)
- 4) ウォーターレス法導入前後における手術部位感染の検証
渋谷 豊克 (市立豊中病院)
- 5) 整形外科領域の手術部位感染減少に向けた対策
折尾 優美 (名古屋第二赤十字病院)
- 6) 消化器外科大腸手術をうけた患者のSSIリスク要因分析ー腹腔鏡手術に着目してー
熊木 まゆ子 (西神戸医療センター)

教育講演

司会：三嶋 廣繁 (愛知医科大学病院 感染制御部)

NISDM-SSIシステムを用いたSSIサーベイランスの概要とSSI発生リスク因子の分析について

佐和 章弘 (広島国際大学 薬学部 薬学科)

閉会の辞

小西 敏郎 (NTT東日本関東病院)

私はこのように査読するー査読者の立場からー

司会：宮崎 修一 (日本環境感染学会誌 編集委員長)

岡本 了一 (北里大学医学部 微生物学)

佐藤 淳子 (医薬品医療機器総合機構)

吉澤 定子 (東邦大学医療センター大森病院 感染管理部)



ICD講習会

2月19日(土) 17:10~19:00 第1会場(国立大ホール)

医療関連感染の制御：注目すべき微生物への対応

司会：小野寺 昭一（富士市立中央病院）

岡田 淳（大東文化大学 スポーツ・健康科学部健康科学科）

- 1) *Clostridium difficile* 感染症
加藤 はる（国立感染症研究所 細菌第二部）
- 2) ノロウイルス感染症
田中 智之（堺市衛生研究所）
- 3) *Acinetobacter baumannii*
山根 一和（国立感染症研究所 細菌第二部）
- 4) 多剤耐性緑膿菌(MDRP)
松本 哲哉（東京医科大学病院 感染制御部）

DVD 視聴会

2月19日(土) 11:30~14:00 第1会場(国立大ホール)

- 1) 日本環境感染学会教育ツール(DVD)
OUTBREAK : *Clostridium difficile*
- 2) 日本環境感染学会教育ツール(DVD)
OUTBREAK : 麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎
- 3) 日本環境感染学会教育ツール(DVD)
器材の洗浄・消毒の基本確認と施設内感染拡大への対応
- 4) 日本環境感染学会教育ツール(DVD)
針刺し切創血液体液曝露
- 5) 東京医療保健大学大学院(DVD)
中小病院における効果的感染制御策
- 6) HAICS研究会
訪問看護における感染予防 - PPEの着脱法を中心に -
他

食事付



第26回日本環境感染学会総会

ランチョンセミナー1

2月18日(金) 12:10～13:00 第2会場(メインホール)

司会：堀井 俊伸（鳥取大学医学部附属病院 感染制御部）

Hand hygiene promotion: A worldwide priority for the World Health Organization (手指衛生の促進：WHOの世界的優先事項)

Didier Pittet（ジュネーブ大学附属病院・医学部／
WHO First Global Patient Safety Challenge）

共催：サラヤ株式会社

ランチョンセミナー2

2月18日(金) 12:10～13:00 第3会場(501)

司会：岡部 信彦（国立感染症研究所 感染症情報センター）

インフルエンザ対策のエビデンス：わかっていること わかっていないこと

押谷 仁（東北大学大学院 医学系研究科 微生物学分野）

共催：健栄製薬株式会社

ランチョンセミナー3

2月18日(金) 12:10～13:00 第4会場(502)

司会：小林 寛伊（東京医療保健大学／大学院）

血液培養のup to date

松本 哲哉（東京医科大学 微生物学講座／東京医科大学病院 感染制御部）

共催：吉田製薬株式会社

ランチョンセミナー4

2月18日(金) 12:10～13:00 第5会場(503)

司会：森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部）

血管内留置カテーテル関連感染予防のためのCDCガイドライン(2010改訂予定) ～スプリットセプトラムを推奨する勧告がなぜ追加されたのか？～

William R. Jarvis（Jason and Jarvis Associates, LLC）

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー5

2月18日(金) 12:10～13:00 第6会場(511+512)

司会：上寺 祐之（東京大学医学部附属病院 医療環境管理学／手術部）

「新たに広まりつつある滅菌の世界」ー過酸化水素低温ガス滅菌法ー

東 竜一郎（サクラIPT&STソリューション株式会社）

共催：サクラ精機株式会社



ランチョンセミナー6 2月18日(金) 12:10～13:00 第8会場(413)/中継：第7会場(411+412)

司会：針原 康 (NTT東日本関東病院 手術部・外科)

医療関連感染対策の経験と実践 (ICD, ICN, ICMTの関わり)

矢野 邦夫 (県西部浜松医療センター 感染症科)

共催：明治製菓株式会社

ランチョンセミナー7 2月18日(金) 12:10～13:00 第9会場(414+415)/中継：第10会場(416+417)

司会：小林 芳夫 (慶應義塾大学医学部 臨床検査医学)

「ICMTからみた耐性菌対策」～日常検査からICTラウンド～

大塚 喜人 (亀田総合病院 臨床検査部)

共催：大正富山医薬品株式会社

ランチョンセミナー8 2月18日(金) 12:10～13:00 第12会場(419)/中継：第11会場(418)

司会：三嶋 廣繁 (愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学)

**クロストリディウム関連下痢症 up to date
ープロバイオティクスを含めてー**

國島 広之 (東北大学大学院内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー9 2月18日(金) 12:10～13:00 第14会場(304)/中継：第13会場(303)

司会：舘田 一博 (東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

院内感染アウトブレイクのマネジメント

朝野 和典 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー10 2月18日(金) 12:10～13:00 第15会場(311+312)/中継：第16会場(313+314)

司会：森澤 雄司 (自治医科大学付属病院 感染制御部)

**最新の感染対策を実践するための情報 up-to-date:
～ガイドライン, 手指衛生・環境整備, 新興多剤耐性菌等～**

満田 年宏 (公立大学法人 横浜市立大学附属病院 感染制御部)

共催：丸石製薬株式会社

ランチョンセミナー11 2月18日(金) 12:10～13:00 第17会場(315)

司会：森屋 恭爾 (東京大学大学院 医学系研究科 病因病理学専攻 感染制御学)

市中病院における多剤耐性菌対策：ICTとしての挑戦

荒岡 秀樹 (虎の門病院 臨床感染症部・臨床感染症科)

共催：シスメックス・バイオメリュー株式会社



第26回日本環境感染学会総会

ランチョンセミナー 12 2月18日(金) 12:10～13:00 第18会場(ボールルーム・モナコ)/中継：第20会場(ボールルーム・カンヌ)

司会：草地 信也（東邦大学医療センター大橋病院 外科）

末梢静脈カテーテルサーベイランスを実践する！～安全なカテーテル管理のポイント～

大谷 圭一（名寄市立総合病院 看護部）

外科医が求める術後創傷管理とは？～ドレッシング材の選択～

園田 幸生（福岡山王病院 消化器外科）

共催：スミス・アンド・ネフュー ウンド マネジメント株式会社

ランチョンセミナー 13 2月18日(金) 12:10～13:00 第21会場(シルク)

司会：賀来 満夫（東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野）

戦略的耐性菌対策 ～抗菌薬適正使用を中心に～

濁川 博子（東京都保健医療公社 豊島病院 感染症内科）

共催：塩野義製薬株式会社

ランチョンセミナー 14 2月19日(土) 12:00～12:50 第2会場(メインホール)

司会：大曲 貴夫（静岡県立静岡がんセンター 感染症内科）

Current trends in CLABSI: from Prevention to Intervention

CLABSIにおける最新動向：予防から治療まで

Mark Edmund Rupp (University of Nebraska Medical Center)

共催：スリーエム ヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー 15 2月19日(土) 12:00～12:50 第3会場(501)

司会：満田 年宏（横浜市立大学附属病院 感染制御部）

アメリカCDCの感染対策ガイドラインをどう活かす？

森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部 感染制御部）

共催：テルモ株式会社

ランチョンセミナー 16 2月19日(土) 12:00～12:50 第4会場(502)

司会：小林 寛伊（東京医療保健大学／大学院）

Future of Infection Control in the 21st Century

William A. Rutala (University of North Carolina (UNC) Health Care and UNC School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA)

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社


ランチョンセミナー17 2月19日(土) 12:00～12:50 第5会場(503)/中継：第6会場(511+512)

司会：渡邊 都貴子（岡山大学病院 看護部・感染制御部）

***Clostridium difficile* 感染症のアウトブレイクを経験し見えてきたこと
ー看護ケアのピットフォールー**

田中 富士美（さいたま市立病院 感染管理室）

共催：杏林製薬株式会社

ランチョンセミナー18 2月19日(土) 12:00～12:50 第8会場(413)/中継：第7会場(411+412)

司会：二木 芳人（昭和大学医学部 臨床感染症学）

病院機能評価から学んだこと

加藤 由紀子（愛知医科大学病院 感染制御部・感染予防対策室）

Data-based Infection Control

三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学）

共催：大日本住友製薬株式会社

ランチョンセミナー19 2月19日(土) 12:00～12:50 第9会場(414+415)/中継：第10会場(416+417)

司会：矢野 邦夫（県西部浜松医療センター）

**VAP 予防策と口腔マネジメントの新しい取り組み
～口腔ケアを介して急性期医療にどこまで貢献できるか～**

望月 亮（望月歯科医院）／有坂 博史（神奈川歯科大学）

共催：株式会社メディコン

ランチョンセミナー20 2月19日(土) 12:00～12:50 第12会場(419)/中継：第11会場(418)

司会：青木 眞（サクラ精機株式会社）

**知らないではすまされない
ICT 必須のHIV 情報：2011**

今村 顕史（がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科）

共催：ブリストル・マイヤーズ株式会社

ランチョンセミナー21 2月19日(土) 12:00～12:50 第13会場(303)

司会：品川 長夫（東京医療保健大学）

もし感染管理担当者が 'The Essential Drucker' を読んだら

森澤 雄司（自治医科大学附属病院 感染制御部・感染症科）

共催：キンバリー・クラーク・ヘルスケア・インク



第26回日本環境感染学会総会

ランチョンセミナー 22

2月19日(土) 12:00～12:50 第14会場(304)

司会：賀来 満夫（東北大学大学院 感染制御・検査診断学）

“う～ん なるほどなあ”と唸らせる欧米の感染対策エトセトラ

土井 英史（特定非営利活動法人日本感染管理支援協会）

共催：花王プロフェッショナル・サービス株式会社

ランチョンセミナー 23

2月19日(土) 12:00～12:50 第17会場(315)

司会：小林 美奈子（三重大学大学院医学系研究科 先端的外科技術開発学）

全病院的な予防抗菌薬適正使用の推進

高橋 佳子（兵庫医科大学病院 感染制御部）

薬剤耐性菌による術後感染症の管理 ～ ESBL 産生菌による感染症を中心に～

山岸 由佳（愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学）

共催：第一三共株式会社

一 般 演 題

1 日 目

口 演

〈1-O-01-1～1-O-66-7〉

演題番号の見方

〈1-O-01-1～1-O-66-7〉

↑ ↑ ↑
発表日 口演発表 演題番号



第1日目 2月18日(金) 第6会場(511+512)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
組織.活動1 9:10~10:20	有瀬 和美 (高知大学医学部 附属病院) 高橋 佳子 (兵庫医科大学病院 感染制御部)	1-O-01-1	TQM活動による消毒薬採用品目の見直し効果－経済効果と感染率の検討－	三重県立総合医療センター ICT	森 尚義
		1-O-01-2	職業感染にかかわるデータの一元管理について	医療法人 長門莫記念会 長門記念病院 検査科	加納査恵子
		1-O-01-3	当センターにおけるICTラウンドに対する現場評価と課題	埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室	吉原みき子
		1-O-01-4	当院における感染管理システムの評価とマネジメント	福井県済生会病院 ICT	藤澤 克憲
		1-O-01-5	当院における感染対策チーム活動の他者評価－全職員を対象としたアンケート調査から－	奈良県立三室病院 医療安全推進室	木野田利枝
		1-O-01-6	函館稜北病院におけるICT(チームもやしもん)活動のまとめ 第2報	道南勤医協 函館稜北病院	吉田 清司
		1-O-01-7	当院におけるICT活動～症例ラウンドへの取り組み～	長野県立須坂病院 薬剤科	飛澤 知佳
組織.活動2 10:30~11:50	本田 順一 (聖マリア病院 医療安全管理本部)	1-O-02-1	アウトブレイク防止を目的とした届出用紙の導入と効果	上都賀総合病院 ICT	山形 文子
		1-O-02-2	ICTによる微生物ラウンドの効果と今後の課題	彩都友誼会病院 ICT	岡森 景子
		1-O-02-3	「HIT 結成」汗と涙の奮闘記	洛和会音羽病院 看護部	井上 通人
		1-O-02-4	病院全体で取組むMDRP対策と成果	釧路赤十字病院	原 理加
		1-O-02-5	血液汚染アルコール綿廃棄の適正化活動	自治医科大学 感染免疫学	林 俊治
		1-O-02-6	感染対策リンク委員による院内ラウンド活動報告	北九州市立医療センター 感染対策リンク会	城戸田しのぶ
		1-O-02-7	院内感染対策ラウンドチェックにおける自己評価と他者評価の違い	神戸大学 医学部 附属病院 看護部	勝田 玲子
		1-O-02-8	当院におけるICTラウンドの現況とその成果	神戸赤十字病院 検査部	松井 隆
組織.活動3 14:00~15:20	戸塚 恭一 (東京女子医科大学 感染対策部感染症科)	1-O-03-1	新生児集中治療部門(NICU)とICTとの連携によるMRSA感染防止対策の効果	名古屋第一赤十字病院	高坂久美子
		1-O-03-2	栃木地域感染制御コンソーシアム(TRICK)による医療施設間の情報共有活動	栃木地域感染制御コンソーシアム	齋藤由利子
		1-O-03-3	市立青葉病院におけるICT活動の変革	千葉市立青葉病院 ICT	鈴木 美保
		1-O-03-4	医療安全共同行動におけるICTとワーキンググループの取り組み	社会保険滋賀病院 ICT	長谷川亜紀
		1-O-03-5	感染リンクナース立ち上げから5年間の変遷および今後の課題	大阪府済生会中津病院 医療安全対策室	堀越 敦子
		1-O-03-6	中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス体制の整備と効果	岩手県立宮古病院	吉川百合江
		1-O-03-7	SQC手法を用いた看護師の手指衛生の実態分析と今後の課題	トヨタ記念病院	石井 幸枝
		1-O-03-8	職業感染防止管理システムの構築に向けた取り組み	国立病院機構 善通寺病院 院内感染対策専門部会(ICT)	森 敏子



第1日目 2月18日(金) 第6会場(511+512)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
組織・活動4 15:30~16:40	高橋 陽一 (社会医療法人生長会 府中病院感染管理室) 四宮 聡 (箕面市立病院 チーム医療推進部)	1-O-04-1	ICTラウンドによる安全な注射調剤・処置の改善活動	公立大学法人横浜市立大学附属病院 感染制御部	高阪日奈子
		1-O-04-2	手指衛生遵守率向上の為の活動評価と今後の課題	埼玉社会保険病院	島崎 友里
		1-O-04-3	効果的なICTラウンドへの取り組み	医療法人育和会 育和会記念病院 医療安全管理室	佐々木富子
		1-O-04-4	ESBL産生菌の検出数減少を目指して～尿処理手順の見直し～	国立病院機構 熊本医療センター	吉田真由美
		1-O-04-5	小規模病院における感染防止対策加算の意義	安芸市民病院	佐々木真理
		1-O-04-6	各部署にリンクスタッフを配置した感染対策への取り組み	公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	梅村 裕子
		1-O-04-7	ICTラウンドから問題点が明確になったラウンドチェックシートの改訂	前橋赤十字病院 感染管理室	小菅 瑠子
組織・活動5 16:50~18:00	矢野 久子 (名古屋市立大学看護学部) 広瀬 崇興 (北海道社会保険病院)	1-O-05-1	感染制御チームにおける「特定看護師(仮称)」を想定した医療行為に関する調査	国立国際医療研究センター 国立看護大学校	西岡みどり
		1-O-05-2	院内MRSA感染の低減に向けた取り組み～医療安全全国共同行動に参加して～	宇和島社会保険病院 ICT(感染対策チーム)	宮本 美幸
		1-O-05-3	秋田感染制御情報ネットワークAkita-ReNICSの課題と今後 一地域医療圏における細菌検査情報共有化元年を振り返るー	秋田大学 医学部 附属病院 感染制御部	萱場 広之
		1-O-05-4	ICTによる集中ラウンドと確認ラウンドを取り入れた感染対策	市立長浜病院 ICT	藤木 智美
		1-O-05-5	疥癬の職員集団発生事例から得られた感染制御室の課題	NTT東日本東北病院 感染制御室	神田 雅子
		1-O-05-6	血液培養におけるコンタミネーション例の検討	神戸市立医療センター 中央市民病院 看護部感染対策委員会	横山 優子
		1-O-05-7	感染管理マップによる情報共有の試み	福井厚生病院 ICT	高柳 淳子



第1日目 2月18日(金) 第7会場(411+412)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
教育・啓発1 9:10～10:20	西條 美恵 (日本赤十字社 石巻赤十字病院) 赤峰 みすず (大分大学医学部附 属病院看護部感染 制御部)	1-O-06-1	当院職員を対象とした麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の感染予防に関する取り組み	奈良厚生会病院 感染制御室	善本英一郎
		1-O-06-2	保険薬局における感染対策の取り組み 職員へのアンケート調査から	株式会社 えちごメディカル	大久保耕嗣
		1-O-06-3	HCU・CCU病棟の標準予防策の遵守率の向上を試みて	大阪市立総合医療センター すみれ12病棟	原 幸子
		1-O-06-4	ケア場面の交差感染リスクを知り自部署の対策を立案する	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	出崎 奈美
		1-O-06-5	分析シートを用いた感染予知訓練(KYK)	東京都保健医療公社 荏原病院	久原 嘉子
		1-O-06-6	中山間地域の中核病院におけるICTの役割	神石高原町立病院 ICT	小林みさき
		1-O-06-7	輸液調製マニュアル作成への取り組み	市立泉佐野病院 看護部	長尾今日子
教育・啓発2 10:30～11:50	若松 由紀子 (鶴岡市立荘内病院 集中治療センター) 古谷 直子 (亀田総合病院感染 管理室)	1-O-07-1	小学校児童に対する手洗い教室	岡山旭東病院 ICT	奥山 淳子
		1-O-07-2	長期療養施設の職員と連携した感染対策の成果～環境改善への取り組み～	NTT東日本伊豆病院 感染制御室	河野 幸恵
		1-O-07-3	当院における感染管理教育への一試み～院内認定感染管理士制度を発足して～	尾道市立市民病院 ICT	内海 友美
		1-O-07-4	感染予防対策マニュアルを活用するための取り組み	都立多摩総合医療 センター	村上いそ子
		1-O-07-5	防護用具を適切に使用するための取り組み	都立多摩総合医療 センター	飯塚由紀恵
		1-O-07-6	市立豊中病院における流行性ウイルス抗体価測定について	市立豊中病院 ICT	徳永 康行
		1-O-07-7	磐田市立総合病院における血管内留置カテーテル関連血流感染サーベイランスについて	磐田市立総合病院 感染対策室・ICT	田中 恵
		1-O-07-8	今年度の事務・パラの感染対策教育	洛和会丸太町病院 臨床検査部	佐藤 晴久



第1日目 2月18日(金) 第7会場(411+412)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
教育・啓発3 14:00～15:20	立花 亜紀子 (埼玉県立小児医療センター医療安全管理室) 菅野 みゆき (東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理部感染対策室)	1-0-08-1	消化器外科病棟におけるMRSA新規検出患者数減少への取り組みと今後の課題(第2報)	大阪市立大学医学部付属病院	野々瀬由佳
		1-0-08-2	医療安全対策とのコラボによるCVC挿入時の感染防止対策遵守率アップの取り組み	結核予防会 複十字病院安全管理室	佐藤 厚子
		1-0-08-3	リンクナースによる研修医に対しての感染予防策指導	埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター ICU	新山 和也
		1-0-08-4	臨地実習における看護学生への手指消毒剤個人携帯を導入して	活水女子大学 看護学部	土橋ルミ子
		1-0-08-5	看護師の手袋着用・向上に向けた関わり～手袋着脱のタイミング～	芳賀赤十字病院 看護部	福田百合子
		1-0-08-6	手指衛生に関する意識向上への関わり	筑波メディカルセンター病院 診療技術部 リハビリテーション療法科	滑川 容子
		1-0-08-7	感染リンクナースの活動意識向上への取り組み～3年間の関わりから～	国立病院機構埼玉病院 ICT	福本 由紀
		1-0-08-8	看護補助員の感染防止に対する意識向上を目指して～感染防止教育の取り組み～	宮崎県立日南病院	中倉 輝子
教育・啓発4 15:30～16:40	小西 直子 (東京厚生年金病院感染対策室) 藤田 烈 (東京大学大学院医学系研究科)	1-0-09-1	感染対策に関する中堅看護師を対象とした教育の取り組みと今後の課題	宮崎市郡医師会病院 看護科	岩切 智子
		1-0-09-2	リンクナースとしての継続活動を行うために5分間講習からみえたこと～部署でのやりかた～	岸和田徳洲会病院 院内感染対策委員会 看護部会	原 彬子
		1-0-09-3	感染管理認定看護師への相談内容から感染教育の実態と今後を考える	砂川市立病院	長島 明美
		1-0-09-4	感染予防対策に対する意識向上への取り組みと評価	総合病院 土浦協同病院 腎臓内科病棟	小橋 直美
		1-0-09-5	N95マスク装着における具体的な指導方法の検討(第1報)	大阪府立中河内救命救急センター	阪井香予子
		1-0-09-6	HIV/AIDS中核拠点病院の外来看護師の不安～実態調査と今後の課題～	川崎医科大学附属病院 看護部	渡邊三恵子
		1-0-09-7	患者・施設利用者や地域住民を対象に行った看護の日の手指衛生教育の取り組み	医療法人 永広会 看護部	大西 泰世
教育・啓発5 16:50～18:00	大野 公一 (広島市立安佐市民病院医療支援センター) 監物 ヒロ子 (神奈川県立汐見台病院)	1-0-10-1	災害時における防災担当者の感染予防意識と対応	順天堂大学 医療看護学部	工藤 綾子
		1-0-10-2	医療廃棄物分別の取り組み～分別間違いゼロを目指して～	富山県済生会富山病院	山本 晶子
		1-0-10-3	電子カルテを利用したICTラウンド結果揭示が職員に与える影響の検討	福山市民病院 リンクナース会	郷丸 亜希
		1-0-10-4	A病院における結核対策N95マスク管理の一例～保管ケースを導入して～	独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター 看護部	佐野 睦美
		1-0-10-5	地域医療関係者参加型の感染対策講習会の実施評価と今後の課題	京都市立病院 ICT	村田 龍宣
		1-0-10-6	手術部位感染対策の取り組み～感染対策が統一されるまで～	社会保険滋賀病院 ICT	新城多佳美
		1-0-10-7	血液培養の適正な実施に向けた取り組みとその効果 第2報	市立豊中病院 ICT	清水 潤三



第1日目 2月18日(金) 第8会場 (413)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
MRSA (NICU) 9:10~10:20	松原 啓太 (国立病院機構東京医療センター小児科) 塚田 真弓 (東邦大学医療センター大森病院感染管理部)	1-O-11-1	NICU病棟におけるMRSA水平伝播制御の取り組み	山梨県立中央病院 NICU病棟	雨宮 寿自
		1-O-11-2	NICUにおけるMRSA定着に影響を及ぼす要因について	市立泉佐野病院	川西 史子
		1-O-11-3	NICU(新生児集中治療室)におけるMRSA検出に影響する因子	滋賀医科大学医学部附属病院 感染制御部	竹村 美和
		1-O-11-4	NICU・新生児病棟のMRSA新規検出率減少への取り組みにおけるICT介入効果の検討	大阪赤十字病院 ICT	西 好美
		1-O-11-5	NICUのMRSAサーベイランスにおける目的菌以外の同定感受性検査の制限によるコスト削減効果	東京都立小児総合医療センター 感染症科	堀越 裕歩
		1-O-11-6	NICU/GCUにおけるMRSAアウトブレイクから収束まで	国立病院機構弘前病院	佐藤 直美
		1-O-11-7	未熟児室におけるMRSA感染対策への取り組み	福井大学 医学部附属病院 看護部	岸 歩
薬剤耐性菌 1 10:30~11:50	柳原 克紀 (長崎大学病院検査部)	1-O-12-1	<i>Acinetobacter baumannii</i> 臨床分離株の各種抗菌薬に対する感受性	三菱化学メディエンス化学療法研究室	天野 綾子
		1-O-12-2	当院における過去5年間の緑膿菌の検出状況と薬剤耐性化状況の調査について	北九州市立医療センター 感染対策委員会	村上 由花
		1-O-12-3	メタロβラクタマーゼ産生肺炎桿菌によるアウトブレイク事例に対するICTの取り組み	熊本大学医学部附属病院 感染対策室	藤本 陽子
		1-O-12-4	神経内科病棟におけるESBL産生菌感染の発生動向の把握に基づくICT介入による感染対策	名古屋医療センター 感染制御対策室	鈴木奈緒子
		1-O-12-5	医療従事者における表在性常在細菌の薬剤耐性獲得の動向	山口県立大学 看護栄養学部 微生物学	山本 倫也
		1-O-12-6	バンコマイシン耐性腸球菌 (VanB型 <i>Enterococcus faecium</i> : VRE) 対策とその効果	健和会大手町病院 臨床検査部	永原 千絵
		1-O-12-7	ESBL産生グラム陰性桿菌検出増加についての検討	兵庫医科大学 臨床検査部	北村 典子
		1-O-12-8	バンコマイシン中等度耐性 <i>Staphylococcus aureus</i> の細菌学的・形態学的解析	近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部	戸田 宏文



第1日目 2月18日(金) 第8会場(413)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
薬剤耐性菌2 14:00~15:00	館田 一博 (東邦大学医学部 微生物学教室)	1-O-13-1	当院で分離された大腸菌、肺炎桿菌の 薬剤感受性試験と抗菌薬選択の検討	社会保険小倉記念病院 感染管理部	宮崎 博章
		1-O-13-2	当院由来 Methicillin-Resistant <i>Staphylococcus aureus</i> における Vancomycin MIC 値の推移	公立能登総合病院 臨床 検査部	小林 治
		1-O-13-3	北九州地域で増加しているバンコマイ シンの MIC 値が低い VRE について	北九州市立八幡病院	伊藤 重彦
		1-O-13-4	日本における多剤耐性緑膿菌および 多剤耐性アシネトバクター属の分離 状況(平成19~21年度)	国立看護大学校	森 那美子
		1-O-13-5	新規ESBL産生疑い菌検出患者にお ける外来・入院別の検討とその対応	京都第一赤十字病院 ICT	森 麻巳
		1-O-13-6	当院におけるカルバペネム系抗菌剤 の適正使用にむけての取り組み	豊田会 刈谷豊田総合病 院 薬剤科	柴田 大地
薬剤耐性菌3 15:30~16:30	菊池 賢 (順天堂大学医学部 感染制御学)	1-O-14-1	当院過去4年間におけるESBLs産生 菌の検出状況	兵庫県立総合リハビリ テーションセンター中 央病院 ICT	小倉 桂
		1-O-14-2	介護老人保健施設入所者における ESBL産生菌の検出	大阪大学 大学院 医学 系研究科 保健学専攻	仁木真理恵
		1-O-14-3	医療関連感染制御においては外国か ら持ち込まれる耐性菌への対応も重 要である	愛知医科大学病院感染 制御部	山岸 由佳
		1-O-14-4	当院における緑膿菌の耐性化について	松江生協病院 ICT	高橋久美子
		1-O-14-5	高用量LVFXの院外処方量増加が院 内における緑膿菌のキノロン感受性 におよぼす影響	山本第三病院 ICT	行本 拓史
		1-O-14-6	基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生 菌(ESBLs)の検出傾向と対策の見直し	京都市立病院 ICT	村上あおい
薬剤耐性菌4 16:50~17:50	斧 康雄 (帝京大学医学部 微生物学講座)	1-O-15-1	耐性菌対策としての菌株の保存の有 用性について ~多剤耐性アシネトバクター菌の例~	JA愛知厚生連 安城更生 病院 ICT	原 徹
		1-O-15-2	産業医科大学病院における <i>K. pneumoniae</i> の薬剤感受性の動向	産業医科大学 医学部 泌尿器科学教室	庄 武彦
		1-O-15-3	ESBL産生菌早期診断のための分子 生物学的手法	広島大学病院 感染症科	大毛 宏喜
		1-O-15-4	当院における基質特異性拡張型β-ラ クタマーゼ産生菌の分離状況	大館市立総合病院 院内 感染対策チーム	佐藤謙太郎
		1-O-15-5	北部九州・山口地区で分離された VanBタイプ <i>E. faecium</i> について	株式会社キューリン	小林とも子
		1-O-15-6	メタロβ-lactamase産生腸内細菌科 の分離状況	株式会社キューリン 検 査部	村谷 哲郎



第1日目 2月18日(金) 第9会場(414+415)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用 1 9:10~10:20	飯沼 由嗣 (金沢医科大学臨床 感染症学講座) 伊藤 章 (千住桜木病院)	1-O-16-1	長岡赤十字病院におけるリネゾリドの 使用後の血小板数、ヘモグロビン量 の変化及び腎機能、肝機能への影響	長岡赤十字病院薬剤部	小林 謙一
		1-O-16-2	バンコマイシン解析ソフトの比較検討 (第2報)	東京都立広尾病院薬剤科	木村 賢治
		1-O-16-3	Ccr 50mL/min以上の患者に対する Meropenem 8時間毎投与における有 用性の検討	和泉市立病院	石坂 敏彦
		1-O-16-4	抗菌薬の適正使用に対する当院での 取り組み	呉医療センター ICT	富永 春海
		1-O-16-5	特定抗菌薬使用許可制8年間の経過	大阪厚生年金病院 内科	藤田 芳正
		1-O-16-6	血液内科病棟運用開始による抗菌薬 使用量の変化と薬剤感受性への影響	JA愛知厚生連 豊田厚生 病院	成瀬 国男
		1-O-16-7	外科手術における予防的抗菌薬の使 用状況について	社会保険神戸中央病院 薬剤部	甲斐 崇文
抗菌薬適正使用 2 10:30~11:50	佐伯 康弘 (日本赤十字社医療 センター薬剤部)	1-O-17-1	東北地区の労災病院における注射用 抗菌薬使用量推移とその感受性率	労働者健康福祉機構 青 森労災病院 薬剤部	中居 肇
		1-O-17-2	Clostridium difficile関連下痢症に対 するICTの取り組み-メトロニダゾー ルの適正使用推進を目指して-	岡崎市民病院 ICT	村井 宏通
		1-O-17-3	抗菌薬を後発品に変更した場合の使用 量及び緑膿菌耐性率の変化について	鹿児島市医師会病院 薬 剤部	野間口 寛
		1-O-17-4	届け出制、許可制によらない抗菌薬 適正使用推進の取り組み	東京都立広尾病院イン フュージョンコントロ ールチーム	渋谷 泰寛
		1-O-17-5	注射抗菌薬採用品目の見直しによる、 抗菌薬使用動向と感受性変化の検討 について	横浜労災病院 感染対策 委員	親松 隆浩
		1-O-17-6	当院におけるカルバペネム系抗菌薬 の投与方法の現状と問題点	刈谷豊田総合病院 薬剤科	亀島 大輔
		1-O-17-7	段階的カルバペネム系抗菌薬ラウン ドの成果	豊島病院 薬剤科	保坂 麻里
		1-O-17-8	横浜旭中央総合病院における特定抗 菌薬使用届出制度導入前後の薬剤使 用状況の比較検討	横浜旭中央総合病院 薬 剤部	松丸 剛史



第1日目 2月18日(金) 第9会場(414+415)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用 3 14:00~15:20	菅野 治重 (高根病院内科)	1-O-18-1	当院におけるモニター抗菌薬投与症例への介入の検討--ゾシン採用後何が変わったか。	京都民医連中央病院 ICT	山田 豊
		1-O-18-2	抗菌薬使用量の標準化とカルバペネム系抗菌薬の適正使用を目的とした使用届出制の効果	聖隷浜松病院 薬剤部	谷中里依子
		1-O-18-3	旭川厚生病院におけるバンコマイシン投与症例の調査	旭川厚生病院 薬剤部	河合 武尊
		1-O-18-4	特定抗菌薬届出制の再導入による抗菌薬使用量の変化と耐性率の動向	東京労災病院 ICT	坂本 拓也
		1-O-18-5	MRSAサーベイランスからみたMRSA感染症発生状況と抗MRSA薬使用状況	市立千歳市民病院 ICT	林 昌広
		1-O-18-6	TAZ/PIPC(ゾシン)は医療経済的に病院に貢献するか?	徳島赤十字病院 ICT	石倉 久嗣
		1-O-18-7	感染症治療に活かせる血液培養のフィードバックに関する検討	JA愛知厚生連 安城更生病院 ICT	兵道美由紀
		1-O-18-8	抗菌薬届出制およびDPC導入が抗菌薬使用率(AUD)などに与える影響~2007年度から2009年度、3年間の検討~	JA尾道総合病院 ICT	安原 昌子
抗菌薬適正使用 4 15:30~16:50	二木 芳人 (昭和大学医学部 臨床感染症学)	1-O-19-1	周術期予防的抗菌薬2倍量投与の副作用の調査	医療法人社団 紺整会 船橋整形外科病院	佐藤 慶一
		1-O-19-2	院内MRSA肺炎の診断基準(ガイドライン)作成後の当院におけるMRSA検出患者(略痰)への抗MRSA薬使用の推移と実態	田主丸中央病院 薬剤科	風斗 麻希
		1-O-19-3	静注抗菌薬削減と広域抗菌薬使用届出制開始の効果	武蔵野赤十字病院 ICT	相原 史子
		1-O-19-4	新潟県立病院14施設におけるメロペネムの使用状況と緑膿菌の感受性	新潟県立妙高病院 薬剤部	天井 誠
		1-O-19-5	塩酸バンコマイシン注適正使用にむけての取り組み	社会医療法人 敬愛会 中頭病院 薬剤科	浦崎 清美
		1-O-19-6	当院における抗MRSA薬・カルバペネム系抗生物質届出制の見直しによる効果について	順天堂大学医学部附属 浦安病院 薬剤科	成田 久美
		1-O-19-7	「抗菌薬使用グラフ」を利用した診療科別使用状況の比較	市立豊中病院 ICT	小野 祐志
		1-O-19-8	グラム染色による抗菌薬処方支援体制の確立と今後の課題	中村記念南病院薬剤部	山田 和範
アウトブレイク 1 17:00~17:50	國島 広之 (東北大学大学院 感染症診療地域連 携講座)	1-O-20-1	VREアウトブレイクにおけるアクティブサーベイランス	苫小牧市立病院 医療技術部 臨床検査科	岩井中里香
		1-O-20-2	パチラス菌のアウトブレイクより病院タオルを考える!!	兵庫県災害医療センター	秋篠 範子
		1-O-20-3	多剤耐性緑膿菌(MDRP)のアウトブレイクを経験して	東京労災病院 感染対策チーム	戸島 洋一
		1-O-20-4	ノロウイルスによる感染性腸炎のアウトブレイクへのICTの対応	大分県済生会日田病院 院内感染対策委員会	衛藤 里美
		1-O-20-5	プロングを介したNICUにおけるS.marcescensのアウトブレイクと感染対策	福岡大学病院 感染制御部	澤田喜代子



第1日目 2月18日(金) 第10会場 (416+417)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
その他 1 9:10~10:20	荒木 弥生 (東邦大学大森医療 センター 感染管理部) 山中 義雄 (京都保健衛生専門 学校臨床検査科)	1-O-21-1	清拭タオルの細菌汚染	山口労災病院 院内感染 制御チーム	山崎 博史
		1-O-21-2	骨髄移植病室への持ち込み物品の条 件及び殺菌方法についての検討	産業医科大学病院 膠原 病リウマチ内科・化学 療法センター	立石 純子
		1-O-21-3	肺炎患者におけるアセスメントシート を用いた口腔内評価と口腔ケアの効果	熊本労災病院 看護部	龍宮 真理
		1-O-21-4	公共空間における感染予防のための 体温スクリーニング手法の検討	テルモ株式会社 マーケ ティング室	鈴木 達彦
		1-O-21-5	NICUにおける、強酸性水による口腔 内ケアと気管内保菌の関係性につい ての検討	兵庫県立こども病院	福田 理香
		1-O-21-6	タクシー乗務員の呼吸器感染症予防 の現状とその対策について	琉球大学医学部附属病院	仲宗根由美
		1-O-21-7	空気清浄機による環境清浄化の試み	公立富岡総合病院 技術 部 検査科	竹内 哲也
その他 2 10:30~11:40	吉村 平 (三重県立志摩病院 内科) 金澤 美弥子 (日本赤十字社長崎 原爆病院看護部)	1-O-22-1	足浴後における皮膚の細菌数と保湿 度の経時的変化の検討	兵庫県立大学 看護学部	森本美智子
		1-O-22-2	P-mSHELLモデルを用いた精神科に おける感染対策の特殊性についての 検討	広島国際大学 看護学部 看護学科	糠信 憲明
		1-O-22-3	当院眼科における点眼・洗眼用の生 理食塩水プレフィルドシリンジ導入 について	尾道市立市民病院 薬局	岡田麻衣子
		1-O-22-4	当社製品群の抗菌抗黴性樹脂として の可能性について	日本合成化学	堀 真理子
		1-O-22-5	認定看護師教育課程研修生のモチ ベーションの維持に与える組織支援 についての考察	東京大学医学部附属病院	内田 美保
		1-O-22-6	外国の病院に学ぶ院内感染予防対策 米国の1病院に見る感染予防対策の 実際に関する考察	(医)ヘブロン会大宮中 央総合病院 特定健診科	村山 郁子
		1-O-22-7	外国の病院に学ぶ正しい手洗いとコ ンプライアンス向上への試みについて	静岡徳洲会病院 内科	山之上弘樹
<i>C. difficile</i> 1 14:00~15:00	加藤 はる (国立感染症研究所 細菌第二部)	1-O-23-1	<i>Clostridium difficile</i> 感染対策への取 り組み	東京都健康長寿医療セ ンター 看護部 感染対 策委員会	最上由紀子
		1-O-23-2	<i>Clostridium difficile</i> 関連疾患サー ベイランスの導入とその効果	特定医療法人 健康会 総合病院 京都南病院	野路加奈子
		1-O-23-3	<i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症患者 増加の要因分析	国立病院機構栃木病院 薬剤科	福田 哲也
		1-O-23-4	<i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症患者 へのICTの取り組み	桐生厚生総合病院 ICT	大森 優子
		1-O-23-5	当院における <i>C. difficile</i> 感染症の起 因と考えられる抗生物質の使用状況 と今後の対策を検討する。	堀ノ内病院 ICT	渋谷 正人
		1-O-23-6	<i>Clostridium difficile</i> 検出事例にお けるICT・リンクナースによる病棟 ラウンド効果	東濃厚生病院 ICT チーム リンクナース	安井 美穂



第1日目 2月18日(金) 第10会場 (416+417)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
<i>C. difficile</i> 2 15:30~16:20	堀井 俊伸 (鳥取大学医学部附 属病院感染制御部)	1-O-24-1	<i>Clostridium difficile</i> 培養菌株からの 毒素検出の有用性に関する検討	三菱化学メディエンス 感染症検査部 臨床微生物グループ	西山 沙織
		1-O-24-2	当院における <i>C.difficile</i> への対応と状況調査報告	順天堂大学浦安病院 感染対策室	長富美恵子
		1-O-24-3	<i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症のアウトブレイク対策の検証～マネキンによる排泄ケアの比較実験を通して～	公立松任石川中央病院 看護部	鍛冶 愛
		1-O-24-4	バンコマイシン内用液調製(1日0.5g/分4処方)開始による当院での <i>C.difficile</i> 関連下痢症およびMRSA腸炎の治療日数の変化について	福山市民病院 薬剤科	藤井 秀一
		1-O-24-5	当院における <i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症の現状調査と感染対策の検討	福岡記念病院 ICT	杉町富貴子
歯科・口腔外科 16:50~17:20	岡森 景子 (医療法人友絃会 彩都友絃会病院看護部)	1-O-25-1	水道水の基準をクリアした歯科用ユニットの開発	東北大学病院 クリーン 歯科治療部	玉澤 佳純
		1-O-25-2	口腔外サクシヨンの飛沫動態の解析	がん感染症センター都立 駒込病院歯科口腔外科	千葉 緑
		1-O-25-3	フローシステムの導入によるがん患者に対する口腔ケアの効果	がん・感染症センター 都立駒込病院歯科口腔 外科	池上由美子



第1日目 2月18日(金) 第11会場(418)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
針刺し損傷1 9:10~10:20	田口 正博 (愛生歯科医院) 黒須 一見 (東京都 保健医療 公社 荏原病院)	1-O-26-1	安全装置付き針の導入についての取 り組みと評価	東大和病院 医療安全管 理室	河瀬 員子
		1-O-26-2	針刺し事故後フォローアップ受診向 上の取り組み	川崎市立多摩病院 医療 安全管理対策室	中谷 佳子
		1-O-26-3	針刺し・切創事故防止にむけての取 り組み 第二報	名古屋市立大学病院 看 護部感染対策委員会	田上由紀子
		1-O-26-4	横浜市立大学附属病院における臨床研 修医の血液曝露・針刺し損傷の現状	横浜市立大学附属病院 臨床研修センター	青木 昭子
		1-O-26-5	抗HIV抗体術前スクリーニング検査 に対する福島医科大学病院各診療科 の認識	福島医科大学病院 感染 制御部	森 浩子
		1-O-26-6	針刺しゼロを目指して ～原因器材から見た針刺し防止対策～	北光記念病院 感染制御室	村田 弘美
		1-O-26-7	HBワクチン加速接種法による抗体獲 得状況の報告	鹿児島生協病院 感染対 策委員会	堀之内ルミ
針刺し損傷2 10:30~11:50	吉川 徹 ((財)労働科学研究 所国際協力部セン ター) 駒場 瑠美子 (川崎市立川崎病院 感染対策担当)	1-O-27-1	当院における針刺し事故防止への取 り組みと安全器材の効果	小牧市民病院 針刺し事 故防止委員会	上田 知仁
		1-O-27-2	過去15年間の職業感染対策における 安全器材導入の効果と問題点	愛知県厚生連 海南病院 ICT	田中久美子
		1-O-27-3	根本原因分析を用いた針刺し報告事 例の分析と対策	札幌社会保険総合病院	西 朝江
		1-O-27-4	採血・注射時の手袋装着行動と意識 変化	金沢医科大学氷見市民 病院 医療安全対策部	谷畑 祐子
		1-O-27-5	総合病院清掃における落下注射針の 管理について	日本医科大学 千葉北総病 院 病院感染対策委員会	日野 光紀
		1-O-27-6	県西部浜松医療センターにおける職業 感染予防破傷風ワクチン接種について	県西部浜松医療センター 衛生管理室	葛原 健太
		1-O-27-7	手術室経験年数3年未満の看護師の 針刺し事故報告書の集積と分析	久留米大学病院 中央手 術部	三重野智志
		1-O-27-8	職業感染予防 ー手袋装着の実態調査よりー	富山県高志リハビリテ ーション病院	吉岡 智子
針刺し損傷3 14:00~15:20	木戸内 清 (名古屋市南保健所) 李 宗子 (神戸大学医学部 附属病院看護部)	1-O-28-1	手術室外回り看護師における粘膜曝 露防止への介入と効果	京都大学医学部附属病 院 看護部	長友 美緒
		1-O-28-2	針刺し・切創等事故対策を目的にし た手術室新人教育	愛知医科大学病院 中央 手術室	片岡久美子
		1-O-28-3	血液曝露予防に関する活動の評価と 今後の課題	埼玉社会保険病院	柳 美雪
		1-O-28-4	患者の嘔みつき行為による体液曝露 事例の実態と背景分析	刈谷豊田総合病院 ICT	夏目美恵子
		1-O-28-5	電子カルテを用いた針刺し切創報告 システム導入後の影響について	横浜市立大学附属病院 感染制御部	武田 理恵
		1-O-28-6	巡回健診における針刺し対策への取 り組み	財団法人 仙台循環器病 センター 看護部	佐藤 智子
		1-O-28-7	当院看護職員の点滴・注射・採血時 における手袋使用状況調査	大分県立病院 看護部	佐藤 泉
		1-O-28-8	Health Belief Modelを用いた手術室 看護師の血液媒介感染症予防行動の 自覚と変容	佐賀大学医学部附属病 院 看護部	松尾 由樹



第1日目 2月18日(金) 第11会場(418)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
医療廃棄物 15:30～17:00	高岡 みどり (京都府立医科大学 附属病院感染対策部) 美島 路恵 (東京慈恵会医科大学 附属病院 医療安全 管理部 感染対策室)	1-O-29-1	感染性廃棄物の適正分別に向けた取り組みの効果	聖マリア病院 6-5病棟	古賀由紀美
		1-O-29-2	医療廃棄物処理装置導入による経済効果	特定医療法人北楡会 札幌北楡病院 看護部	倉本 朗
		1-O-29-3	感染性廃棄物適正処理への取り組み	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 感染対策チーム	樋口ひとみ
		1-O-29-4	注射針使用状況調査を実施して	国立病院機構函館病院	生駒 弘子
		1-O-29-5	感染性廃棄物の処理方法についての調査	川崎医科大学附属病院 看護部	和泉 清子
		1-O-29-6	リンクナース小チームによる病棟ラウンドを介した感染性廃棄物適正処理の徹底-目覚めよ!リンクナース-	京都市立病院 看護科 ICTリンクナース	森脇有希代
		1-O-29-7	適正な廃棄物分別に向けての取り組み	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院	大石 絵未
		1-O-29-8	感染性廃棄物の減量化、経費節減への取り組み	市立加西病院 看護部	北村 和恵
		1-O-29-9	在宅で使用された医療廃棄物の適正廃棄に向けた取り組み	総合病院 国保旭中央病院 感染対策室	五十嵐礼子



第1日目 2月18日(金) 第12会場(419)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
環境整備1 9:10~10:20	立川 美香 (東京通信病院管理課感染予防対策室) 中野 聖子 (東京女子医科大学東医療センター感染対策室)	1-O-30-1	当院における透析液清浄化への取り組み～生菌数測定の意義～	財)甲南加古川病院 中央検査部	秋篠 達也
		1-O-30-2	療養環境整備の充実に向けたリンクナースの取り組み	都立広尾病院 看護部 感染リンクナース委員会	平 直美
		1-O-30-3	院内ラウンドによる環境感染対策の取り組み	高知高須病院	中西 栄
		1-O-30-4	オシボリタオルの衛生管理と感染対策ーBacillus cereus汚染によるアウトブレイクよりー	秦野赤十字病院 看護部	石川 敦之
		1-O-30-5	環境表面の清浄化を目指した内科病棟での取り組み	筑波メディカルセンター病院 看護部	關口麻奈美
		1-O-30-6	清拭タオルから検出されたセレウス菌とその管理の検討	大崎市民病院 中央病床感染管理部	大石 貴幸
		1-O-30-7	看護師の院内PHSストラップの細菌汚染調査と衛生管理の検討	島根県立中央病院 ICT	妹尾千賀子
環境整備2 10:30~11:50	水内 豊 (長野赤十字病院医療安全推進室) 木下 輝美 (藤田保健衛生大学病院医療安全部)	1-O-31-1	ベッドサイド清掃定着に向けての検討～清掃に対する意識調査より～	久留米大学病院 看護部	吉山 愛美
		1-O-31-2	輸液製剤を準備する調整台と水周りの病棟環境調査	相山女学園大学 看護学部	佐藤 晶子
		1-O-31-3	当院の環境整備の現状～ATP測定器を用いて考える～	大田市立病院 看護部	牧野 貴之
		1-O-31-4	感染パトロールの効果～環境チェックを実施して～	新城市民病院 感染防止委員会	山本久美子
		1-O-31-5	環境ラウンドへの取り組み～チェックシート作成と運用～	市立島田市民病院	原田千穂子
		1-O-31-6	心臓血管外科病棟で使用している回診車の細菌検出状況と水平伝播予防策	石心会 狭山病院	吉田 綾香
		1-O-31-7	接触予防策下における高度接触表面の清拭について	医療法人母恋 天使病院	鎌田 明
		1-O-31-8	各部署内のチェックシートによるコンプライアンス評価の調査	仙台厚生病院 ICT	岩渕 見和



第1日目 2月18日(金) 第12会場(419)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
環境整備3 14:00~15:20	柴田 栄 (東京都保健医療 公社東部地域病院) 細田 清美 (福井県済生会病院)	1-O-32-1	病棟看護師の注射調製時の清潔操作に関する意識調査	トヨタ記念病院 薬剤科	荒川 裕貴
		1-O-32-2	感染管理者と委託業者のトイレ清掃管理協働対策～マニュアル作成・教育・ATPを用いた清掃評価を実施して～	旭川赤十字病院 感染管理室	平岡 康子
		1-O-32-3	精神科閉鎖病棟で長期間メンテナンスされなかった空気清浄機が環境に与える影響に関する検討	愛知医科大学病院感染制御部	山田 敦子
		1-O-32-4	当院における超音波式ネブライザ管理方法の見直し	大阪府 済生会 茨木病院 ICT	坂井 瞳
		1-O-32-5	日常使用している清拭タオルの細菌汚染に関する研究	東京医科大学八王子医療センター 看護部	山田加奈子
		1-O-32-6	ルミテスターによるATP検査を利用した病院内の環境汚染調査	大樹会総合病院回生病院 ICT	香川 彰子
		1-O-32-7	業者搬入される清拭タオルの汚染の実態～安全な清拭タオル提供への試み 第1報～	群馬県済生会前橋病院	細渕 節子
		1-O-32-8	ICT関与による吸入治療環境汚染の実態調査とその対策	宇部興産中央病院 薬局	吉田 哲也
環境整備4 15:30~16:40	川上 和美 (公立福生病院 医療安全管理室) 中島 百合 (独立行政法人国立 病院機構 久里浜 アルコール症セン ター)	1-O-33-1	手術室内の環境整備～ゾーニングを取り入れた環境整備～	広島市立広島市民病院 看護部	竹下 美咲
		1-O-33-2	在宅血液透析患者の透析室環境に関する研究	埼玉医科大学病院 看護部	鶴飼 浩子
		1-O-33-3	詰め替え式液体石鹸の細菌汚染と電子カルテ、職員の手指の細菌環境調査	霧島市立医師会医療センター 感染対策チーム	長ヶ原琢磨
		1-O-33-4	環境除菌用ウエットクロスとアルコールの蛋白質及び微生物除去力の比較	大阪大学医学部附属病院 材料部	宮下 義弘
		1-O-33-5	1日2回の環境整備実施に向けての取り組み	社会医療法人 聖マリア病院	古賀さとみ
		1-O-33-6	蒸気化過酸化水素vaporized hydrogen peroxide (VHP) による病室等の室内消毒	東京医療保健大学大学院	吉田 理香
		1-O-33-7	清拭タオルのB.cereus汚染発覚後の対応	彦根市立病院 ICT	谷 久弥
環境整備5 16:50~18:00	平岡 康子 (旭川赤十字病院) 田中 富士美 (さいたま市立病院 感染管理室)	1-O-34-1	傾斜配点方式の「巡回チェックリスト」の活用	山形県立中央病院 病院感染対策委員会	森谷 和則
		1-O-34-2	ルミテスターと付着細菌拭き取り検査による院内環境調査	徳島大学大学院 薬科学教育部	渡邊 美穂
		1-O-34-3	湿潤環境の細菌汚染対策の実践的評価	誠仁会 大久保病院 ICT	都留 寛和
		1-O-34-4	適切な療養環境への取り組み	東京大学医学部附属病院 看護部	間平 珠美
		1-O-34-5	社会福祉施設の機械浴槽環境におけるレジオネラ属菌の検出状況	横浜市衛生研究所 検査研究課	荒井 桂子
		1-O-34-6	医療廃棄物分別の取り組みーICTとリンクナース会から病棟への連携ー	富山県済生会富山病院	千田 昌代
		1-O-34-7	UVフラッシュランプを用いた殺菌効果の検証	東海大学 高度救命救急センター 看護部	岩間 潤



第1日目 2月18日(金) 第14会場(304)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生1 14:00~15:20	小林 美奈子 (三重大学 先端的外科技術開発学) 印田 宏子 (国立病院機構 福山医療センター)	1-O-35-1	擦式手指消毒剤の使用を前提とした手洗い石鹸の無菌性の意義	セントラル病院 ICT	恵谷 和郎
		1-O-35-2	手洗い遵守率の向上をめざして～看護実践場面を想定したDVDによるKYT学習の効果～	大分県立病院看護部	申請千恵子
		1-O-35-3	自然爪の長さが手指消毒効果と手指細菌叢に及ぼす影響	兵庫県立大学 看護学部 看護生体機能学	岡山 加奈
		1-O-35-4	ICU・救命救急病棟看護師への定期的学習介入と携帯アルコール配布による手指衛生行動変化と院内感染率への影響の前後比較研究	浜松市国保佐久間病院	田島 靖久
		1-O-35-5	手指衛生ならびにMRSAサーベイランスデータの現場へのフィードバック効果	大阪府済生会吹田病院 感染対策室	藤本 憲明
		1-O-35-6	擦式消毒用アルコール製剤の除菌効果に影響を与える因子の検討	兵庫県立大学 看護学部	東 知宏
		1-O-35-7	擦式アルコール製剤使用後と手洗い後の細菌数の比較検討	八尾徳洲会総合病院 看護部	山根 宣子
		1-O-35-8	手指消毒の評価を目指した健常な手指表面の免疫能力の測定	大分大学 医学部 看護学科	荒川 満枝
手指衛生2 15:30~16:40	黒木 利恵 (神奈川県立保健福祉大学実践教育センター) 池崎 陽子 (船橋市立医療センター感染制御室・看護部)	1-O-36-1	島根県立中央病院におけるウォーターレス法導入後の評価	島根県立中央病院 手術室	木鷲 佳子
		1-O-36-2	手指衛生実施向上への取り組みの有益性—さまざまな取り組みを通して得られたこと—	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 看護部 感染対策委員会	本島 安純
		1-O-36-3	リキッド状速乾性手指消毒剤の適正使用量に関する検討	長崎大学病院 薬剤部	中川 博雄
		1-O-36-4	手指培養を用いた手指衛生への介入	獨協医科大学越谷病院 感染防止対策室	飯草 正実
		1-O-36-5	手指消毒剤遵守率向上のための介入方法—看護場面に焦点をあてたロールプレイングを行って—	東海大学 医学部 附属病院 看護部	伊東 美香
		1-O-36-6	A県下における看護師の手荒れと手荒れ予防行動の実態	慶應義塾大学 看護医療学部	三谷智香子
		1-O-36-7	ATPおよびパームスタンプを使用した手指衛生評価	旭川赤十字病院 感染管理室	市川ゆかり



第1日目 2月18日(金) 第14会場(304)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生3 16:50～18:00	小林 建司 (松波総合病院外科) 芳尾 邦子 (滋賀医科大学医学部附属病院看護部)	1-O-37-1	院内感染対策プロジェクトモデル実施における MRSA 伝播防止の効果	取手北相馬保健医療センター医師会病院 感染対策委員会	内田 充恵
		1-O-37-2	独自の手荒れ評価スケールを利用した看護師の手荒れ状況の把握と手荒れ防止対策	射水市民病院 薬剤科	脇田 真之
		1-O-37-3	カルボキシビニルポリマー含有ラビング剤併用によるクロルヘキシジングルコン酸塩含有スクラブ剤の消毒持続効果への影響	北海道医療大学 薬学部	中西 尚大
		1-O-37-4	親水性ウイルス用手指消毒剤の活用についての検討～皮膚への影響に関する調査～	神戸大学 医学部 附属病院 感染制御部	八幡真理子
		1-O-37-5	手指衛生遵守向上のための取り組み	財団法人 仙台循環器病センター 看護部	高橋 弥生
		1-O-37-6	ICTチームによるグリッターバグの手洗いの見直しの検討	東濃厚生病院 ICT チーム リンクナース	三ツ井知美
		1-O-37-7	精神科病棟での手指衛生改善の取り組み	愛知医科大学病院 ICT	佐藤 輔



第1日目 2月18日(金) 第15会場 (311+312)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
インフルエンザ 1 9:10~10:20	加地 正英 (大分県済生会 日田病院内科)	1-O-38-1	石川県立中央病院における2009/2010シーズンにおける新型インフルエンザ診療と今後の課題	石川県立中央病院 呼吸器内科	西 耕一
		1-O-38-2	新型インフルエンザ対策における学校保健との連携 ー感染制御医師として地域を守るー	財団法人創精会 松山記念病院 院内感染対策委員会	山内 勇人
		1-O-38-3	精神科急性期病棟での新型インフルエンザアウトブレイク対応からの教訓ー病棟単位での治療量オセルタミビル投与の経験ー	松山記念病院 院内感染対策委員会	佐伯 真穂
		1-O-38-4	当院におけるインフルエンザA (H1N1) サーベイランス結果報告	舞鶴赤十字病院	橋村 抄子
		1-O-38-5	新型インフルエンザに対するタミフルの予防・早期治療内服の検討	道後温泉病院 感染対策委員会	長尾さおり
		1-O-38-6	新型インフルエンザ (A/H1N1pdm) のオセルタミビル薬剤耐性株迅速検出法に関する検討	三重県保健環境研究所	矢野 拓弥
		1-O-38-7	新型インフルエンザ (A/H1N1pdm) 患者背景の検討 ー発熱から来院までの時間を中心にー	岩手県立磐井病院 ICT	高橋 幹夫
インフルエンザ 2 10:30~11:50	大野 聖子 (京都第一赤十字 病院感染制御部)	1-O-39-1	新型インフルエンザワクチンの効果	佐久市立国保浅間総合病院	箕輪 隆
		1-O-39-2	A/H1N1 pdmによるパンデミックが他の感染症に及ぼす影響	神鋼加古川病院 薬剤室	長谷川浩司
		1-O-39-3	新生児医療センターで発症した2例の新型インフルエンザアウトブレイクの調査報告	豊橋市民病院 新生児医療センター	伊藤賀代子
		1-O-39-4	職員健康管理を重視したパンデミック (H1N1) 2009対策	熊本機能病院 院内感染管理室	山本 美紀
		1-O-39-5	当院職員の新型インフルエンザ (A/H1N1) ワクチン接種前後の抗体保有に関する検討	網走厚生病院 感染対策委員会	立花 幸晃
		1-O-39-6	新型インフルエンザのアウトブレイク時の看護師用BCP作成	聖マリアンナ医科大学 東横病院 看護部	竹村 美歩
		1-O-39-7	インフルエンザパンデミック (H1N1) 2009への対応に関する省察	名古屋市立大学病院 感染制御室	中村 敦
		1-O-39-8	新型インフルエンザに対する「フェーズ」を用いた感染対策ー精神科単科病院での季節性対策からの応用ー	大分県・医療法人仁恵会 佐伯保養院 院内感染対策委員会	山内 勇人



第1日目 2月18日(金) 第15会場 (311+312)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
インフルエンザ 3 14:00～15:20	小林 真喆 (東邦大学医学部 看護学科感染制御学)	1-O-40-1	抗インフルエンザ薬の医療職員への 予防投与について	恵寿総合病院ICT	真智 俊彦
		1-O-40-2	当院小児科におけるパンデミックインフ ルエンザA(H1N1) 2009入院症例の検討	徳島赤十字病院 小児科	七條 光市
		1-O-40-3	急性期市中病院での新型インフルエ ンザの臨床経験	KKR 高松病院 診療部 検査科	森 規子
		1-O-40-4	秋田県大館市 2009年新型インフルエ ンザ流行における地域対策(1) ー休日・夜間診療体制の検討ー	大館市立総合病院 院内 感染対策チーム	高橋 義博
		1-O-40-5	当院における新型インフルエンザ対 策について	芳賀赤十字病院ICT	野澤寿美子
		1-O-40-6	医療従事者における新型インフルエ ンザワクチン接種後の副反応発現に 関する調査	医療法人社団 更生会 草津病院 ICT	別所 千枝
		1-O-40-7	情報提供の一面から見た新型インフ ルエンザ対策	医療法人育和会 育和会記 念病院 医療安全管理室	佐々木富子
		1-O-40-8	新型インフルエンザ (A/H1N1) に対 する予防投与	愛知県青い鳥医療福祉 センター	鈴木 昌代
インフルエンザ 4 15:30～16:50	坂田 宏 (旭川厚生病院 小児科)	1-O-41-1	秋田県大館市 2009年新型インフルエ ンザ流行における地域対策(2) ー学校閉鎖対策を中心にー	大館市立総合病院 院内 感染対策委チーム	高橋 義博
		1-O-41-2	小児におけるオセルタミビルリン酸塩(タ ミフル)脱カプセル製剤の服薬状況調査	JA 長野厚生連北信総合 病院 薬剤部	久保田 健
		1-O-41-3	当院における新型インフルエンザ対策 と今後の課題ー (A/H1N1) パンデミック を受けて外来看護科の役割を考えるー	神奈川リハビリテーション 病院	白井 浩
		1-O-41-4	当院におけるインフルエンザ流行時 の入院・外来医療を振り返る ー過去5シーズンの検討からー	社会保険群馬中央総合 病院 感染対策室	安野 朝子
		1-O-41-5	パンデミック (H1N1) 2009流行期間 中の施設内感染対策に関する調査	防衛医科大学校 内科学2 感染症・呼吸器科	藤倉 雄二
		1-O-41-6	銅および銅合金によるインフルエン ザウイルス不活化効果の検討	(財)神奈川科学技術アカデミー 重点研究室光触媒グループ	中野 竜一
		1-O-41-7	インフルエンザワクチンを皮内接種 した場合	愛媛生協病院 院内感染 防止対策委員会	原 穂高
		1-O-41-8	私立中高一貫教育校におけるインフ ルエンザ流行拡大の背景	慶應義塾大学 保健管理 センター	藤井 香



第1日目 2月18日(金) 第15会場 (311+312)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
インフルエンザ 5 17:00~18:00	大石 智洋 (新潟県立新発田病院小児科)	1-O-42-1	北九州市のA幼稚園における新型インフルエンザ流行 ～園児の欠席状況と休園措置の効果～	西南女学院大学 短期大学部 保育科	藤田 稔子
		1-O-42-2	小中学校保護者における新型インフルエンザの情報伝達と感染予防・医療行動	千葉大学大学院 看護学研究科	岡田 忍
		1-O-42-3	マスク着用数によるインフルエンザ流行期把握の取り組み	チクバ外科胃腸科肛門科病院 看護部	三澤 薫
		1-O-42-4	救急センターにおける発熱患者の受診者数増加に伴う交差感染リスク低減に向けたリンクナースの活動報告	長野市民病院 看護部	西脇 伸也
		1-O-42-5	S県下の感染管理認定看護師所属施設におけるインフルエンザワクチン接種および罹患状況に関する調査	埼玉県立小児医療センター 医療安全管理室	立花亜紀子
		1-O-42-6	当院におけるインフルエンザ対策－職員サーベイランスの結果と考察－	大阪鉄道病院 院内感染防止委員会	坂本 麗花



第1日目 2月18日(金) 第16会場 (313+314)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
ノロウイルス1 9:10~10:20	稲松 孝思 (東京都老人医療 センター感染症科) 吉川 晃司 (東京慈恵会医科大 学内科・感染制御部)	1-O-43-1	精神科急性期病棟でのノロウイルス 感染症アウトブレイクからの教訓	松山記念病院 院内感染 対策委員会	大西 宏
		1-O-43-2	ノロウイルス流行期以外に院内発生 を経験した事例と対策	独立行政法人 国立精神・ 神経医療研究センター 病院	平井久美子
		1-O-43-3	ノロウイルス不活化効力試験にマウ スノロウイルスを代替とすることの 有用性について	大阪府立公衆衛生研究 所 感染症部	山崎 謙治
		1-O-43-4	新生児室におけるノロウイルスpseudo- outbreak: イムノクロマト法による便 中ノロウイルス抗原偽陽性について	越谷市立病院 小児科	新妻 隆広
		1-O-43-5	リウマチセンターにおけるノロウィル ス判定表を用いたトリーアージの検討	道後温泉病院 感染対策 委員会	笹岡 佳代
		1-O-43-6	多病棟にわたるノロウイルス胃腸炎 のアウトブレイク	NTT西日本大阪病院	小原 直子
		1-O-43-7	ノロウイルスによる院内感染を2 シーズン経験して	尾道市立市民病院 ICT	森 三郎
ノロウイルス2 10:30~11:40	林 泉 (財)佐々木研究所 附属 杏雲堂病院呼 吸器科)	1-O-44-1	感染性胃腸炎の院内集団発生を回避 するために必要な対策に関する研究	北海道大学病院 感染制 御部	山下ひろ子
		1-O-44-2	ノロウイルス感染の早期対応に向けて -アウトブレイクから学んだこと-	市立長浜病院	中村 寛子
		1-O-44-3	イムノクロマト法を用いたノロウィル ス迅速診断キットの新生児糞便検 体における特異度の低下	福山医療センター 小児科	高橋 伸方
		1-O-44-4	病院施設内保育園におけるノロウィ ルス感染管理システム	旭川赤十字病院 感染管 理室	平岡 康子
		1-O-44-5	ノロウイルスアウトブレイクにおけ る ICT とリンクナースの対応	社会福祉法人 新潟市社 会事業協会 信楽園病院	長谷川恵子
		1-O-44-6	2009-2010年冬期の2施設での小児 科病棟における感染性胃腸炎の疫学	大阪市立大学大学院 看 護学研究科	秋原 志穂
		1-O-44-7	ノロウイルスアウトブレイクの再調査 アウトブレイク察知の難しさ	神戸市立医療センター 西市民病院	藤井 宏
医療経済 14:00~15:10	西村 チエ子 (信州大学医学部附 属病院手術部) 久田 友治 (琉球大学医学部附 属病院手術部・感染 対策室)	1-O-45-1	医療関連感染による追加的医療費の 統計解析手法	医療経済研究機構	福田 治久
		1-O-45-2	医療材料の品質管理活動による経済 効果の検討	特定医療法人北楡会 札 幌北楡病院 看護部	長倉 竜也
		1-O-45-3	吸引カテーテルの院内標準化による 吸引手順の統一と経済的効果	岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 感染症 対策室 VAPチーム	植木 葉子
		1-O-45-4	イソジンスワブスティック導入によ る効果	久留米大学病院	加納 昭子
		1-O-45-5	当院のリンクナース委員会の活動に ついて	共立蒲原総合病院 看護 部 透析センター	太田まゆみ
		1-O-45-6	虫垂手術での、創縁ドレープ使用に よる医療経済効果の検討	藤沢市民病院	柴原美也子
		1-O-45-7	小児科病棟における院内曝露に関す る対策費の検討	久留米大学病院	升永 憲治



第1日目 2月18日(金) 第16会場 (313+314)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
疫学・統計1 15:20~16:30	牧本 清子 (大阪大学医学部 保健学科成人・老人 看護学講座) 内海 桃絵 (京都大学医学部人 間健康科学科生体 防御看護学)	1-O-46-1	当院における過去5年間の注射用抗菌薬使用状況と緑膿菌の薬剤感受性成績について	長崎市立病院成人病センター 院内感染防止対策小委員会	木下 和久
		1-O-46-2	MRSA 検出数に対する手指衛生の効果の検討	国際親善総合病院 感染対策チーム	島崎 信夫
		1-O-46-3	<i>Acinetobacter baumannii</i> の検出状況と各種抗菌薬に対する感受性の検討	高知医療センター 細菌検査室	伊藤 隆光
		1-O-46-4	当院の2009年度入院市中肺炎症例の解析	福井厚生病院 薬剤課	吉田 明弘
		1-O-46-5	緑膿菌の抗菌薬感性率と抗菌薬使用量の推移 ー全診療科合計と診療科単位の比較ー	聖マリア病院 中央臨床検査センター 微生物検査室	石橋 和重
		1-O-46-6	耐性菌の出現を見逃さない抗菌薬耐性率解析法	群馬中央総合病院	柴崎真由美
		1-O-46-7	当院におけるグラム陰性桿菌3菌種の薬剤感受性について	明徳会 佐藤第一病院 臨床検査科	木戸 直徳
症例・事例1 16:40~18:00	吉澤 定子 (東邦大学医療センター大森病院 感染管理部) 加藤 好江 (特定医療法人財団 健和会 みさと健和病院)	1-O-47-1	VCM MIC=2 μ g/mLを示すMRSA感染症をVCMで治療した一症例	名古屋掖済会病院 薬剤部	和泉 邦彦
		1-O-47-2	MDRPに対するICTの介入	新潟県立中央病院 ICT	相田 清子
		1-O-47-3	疥癬に対するイベルメクチンの有効性と安全性の検討	NTT 東日本伊豆病院 皮膚科	勝俣 道夫
		1-O-47-4	新生児病棟における接合菌症複数例の調査報告	長野県立こども病院 感染制御室	石井 絹子
		1-O-47-5	産科における硬膜外麻酔後の髄膜炎、硬膜外膿瘍を予防するために	沖縄県立中部病院 看護部	兼島 優子
		1-O-47-6	白血病患者における肛門周囲膿瘍の治療中に <i>Enterococcus faecium</i> がLinezolid耐性化した1例	大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部	中家 清隆
		1-O-47-7	vanA型VREが検出された患者の感染対策の実際	愛知医科大学病院 ICT	岡前 朋子
		1-O-47-8	血液培養から <i>Rhizobium (Agrobacterium) radiobacter</i> を繰り返し分離した1症例	慈恵大学第三病院 中央検査部 微生物検査室	石井 裕子



第1日目 2月18日(金) 第17会場(315)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
BSI 1 9:10~10:20	笠原 敬 (奈良県立医科大学 附属病院感染症 センター) 山岸 由佳 (愛知医科大学病院 感染制御部)	1-O-48-1	血液内科病棟における中心静脈カテーテル管理の検討 ー中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの分析よりー	大分県立病院 看護部	橋本 富子
		1-O-48-2	PICC 導入とその効果	旭川赤十字病院 感染管理室	平岡 康子
		1-O-48-3	輸液ルート内部死腔と中心静脈カテーテル関連血流感染 (CLABSI) の関連	PL病院 感染制御室	蚊野 純代
		1-O-48-4	閉鎖式動脈圧測定回路による動脈ライン汚染軽減効果の検討	徳島大学病院 救急集中治療部	大藤 純
		1-O-48-5	血液培養(2セット)で判定する中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの実施	東京都保健医療公社 東部地域病院	野木 有里
		1-O-48-6	中心ライン関連血流感染サーベイランス導入による CLABSI 対策評価	久留米大学病院	川野佐由里
		1-O-48-7	末梢静脈カテーテル関連感染サーベイランス報告	東京都立墨東病院 看護部	原 美穂子
BSI 2 10:30~11:50	三笠 桂一 (奈良県立医科大学 感染症センター)	1-O-49-1	当院における CV カテーテル関連血流感染症の起炎微生物について	愛知厚生連海南病院 総合内科 ICT	今泉 貴広
		1-O-49-2	中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスによるアウトブレイク要因の検討	国立長寿医療研究センター	前川 裕子
		1-O-49-3	<i>Bacillus</i> 属の血液培養分離状況及び血流感染症例の共通点と血管内留置カテーテル管理への示唆	宮城県立がんセンター 医療安全管理室	菊地 義弘
		1-O-49-4	中心静脈カテーテル由来血流感染防止への取り組み ー5年の経過を経て、次への課題ー	協和会病院 感染対策委員会	日下部久乃
		1-O-49-5	当院における中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス結果と今後の課題	長野県立須坂病院	中島恵利子
		1-O-49-6	血液内科病棟における中心ライン関連血流感染サーベイランス結果の示すもの	信州大学 医学部附属病院 感染制御室	丸山貴美子
		1-O-49-7	中心静脈カテーテル関連血流感染防止の手技に対する意識調査 ー2人で刺入部固定交換を試みてー	公立松任石川中央病院 看護部	永見こず恵
		1-O-49-8	救命救急センターにおける中心静脈カテーテル挿入時のマキシマルバリアプリコーション実施率向上への取り組み	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	加藤 千景



第1日目 2月18日(金) 第17会場(315)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
BSI 3 14:00~15:20	渋谷 泰寛 (東京都立広尾病院 感染制御科) 谷村 久美 (NTT東日本関東 病院看護部)	1-O-50-1	外科病棟におけるスタッフ教育と継続的介入による中心静脈カテーテル関連血流感染率低減の評価	香川労災病院 ICT	西紋 佳奈
		1-O-50-2	当院におけるCVポート使用の実態	原町赤十字病院 ICT	嶋村 洋子
		1-O-50-3	末梢静脈カテーテル関連BSIサーベイランスによるBSI前駆症状の把握と課題	彦根市立病院 ICT	多湖ゆかり
		1-O-50-4	NICUにおいてPICC挿入時に高度無菌遮断予防策は必要か?	群馬大学 周産母子センター NICU	大木 康史
		1-O-50-5	内科系ICUで実施した中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス	兵庫県立尼崎病院 ICT 部会	大迫ひとみ
		1-O-50-6	CLABSIを減らすには、決められた事を確実に実践することである	亀田総合病院	荒井奈津子
		1-O-50-7	CLA-BSIサーベイランスの結果からみる院内感染対策の組織的な取り組みの成果	先端医療センター病院 ICT	大東 芳子
		1-O-50-8	ATPを用いた血流感染発生要因の検討と対策	自治医科大学附属さいたま医療センター看護部	水上由美子
BSI 4 15:30~16:40	高田 徹 (福岡大学病院感染 制御部) 八木 哲也 (名古屋大学医学部 附属病院中央感染 制御部)	1-O-51-1	国内で市販されている閉鎖式輸液システムの比較検討	福山市民病院 外科	久保慎一郎
		1-O-51-2	慢性腎不全患者における血液透析用中心静脈カテーテルの血流感染予防策の検討	東邦大学 医学部 看護 学科	安岡 砂織
		1-O-51-3	クリティカル領域における継続的中心静脈カテーテル由来血流感染サーベイランスによる感染率低減と感染要因の検討	昭和大学藤が丘病院 感 染管理室	川野留美子
		1-O-51-4	中心静脈カテーテル関連血流感染の実態調査ー中心静脈カテーテル輸液セットの交換頻度による比較ー	国立がん研究センター 中央病院	和田 典子
		1-O-51-5	ニードルレス・クローズドシステムデバイス表面汚染に関する実態調査	富山大学 医学薬学研究 部(医)	澤田 陽子
		1-O-51-6	カテーテル関連血流感染予防への取り組み	社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院 看護部	宮城 美那
		1-O-51-7	サーベイランスによる末梢ライン関連血流感染の現状把握	末梢ライン関連BSIサー ベイランス研究グループ	森兼 啓太
内視鏡 16:50~17:30	藤田 賢一 (帝京大学医学部 附属溝口病院内視 鏡室)	1-O-52-1	過酢酸製剤を用いた自動洗浄消毒装置における清浄化管理の標準化を目指して	神戸大学病院 光学医療 診療部	吉村 兼
		1-O-52-2	内視鏡洗浄履歴管理システムを使用して～システムの問題点と対策～	独立行政法人国立病院 機構北海道がんセンタ ー 外来内視鏡室	片山かおり
		1-O-52-3	内視鏡洗浄用スポンジブラシの開発と量産対応品性能評価	京都大学医学部附属病 院 医療器材部	樋口 浩和
		1-O-52-4	OPA蛋白変性物除去用洗浄剤の開発と性能評価	京都大学医学部附属病 院 医療器材部	新田 孝幸



第1日目 2月18日(金) 第18会場(ボールルーム モナコ)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
MRSA(サーベイランス、その他)1 9:10~10:20	平井 義一 (自治医科大学感染・免疫学細菌部門)	1-0-53-1	積極的監視培養(ASC)と接触予防策の検出前適応の効果について	京都民医連中央病院 ICT	松原 為人
		1-0-53-2	当院における院内感染MRSAと持ち込みMRSA症例についての考察	独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター	大岡 均至
		1-0-53-3	当院における 院内感染MRSA症例についての検討	独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター	大岡 均至
		1-0-53-4	整形外科患者から検出されたSCCmec IV型MRSAの検討	鹿児島大学 医学部 整形外科	川村 英樹
		1-0-53-5	アクティブサーベイランスにおけるスクリーニング培地法とBD GeneOhm MRSAを用いたPCR法の有効性の比較	慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学	墨谷 祐子
		1-0-53-6	血液透析施設におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の保菌状況	順天堂大学 医学部 感染制御科学	上原 由紀
		1-0-53-7	転入患者に対するMRSAスクリーニング検査実施状況 ~ MRSAスクリーニング検査実施による現状~	高知県立幡多けんみん病院	今西 亮
MRSA(サーベイランス、その他)2 10:30~11:40	吉岡 範 (大阪大学医学部附属病院感染制御部) 岡本 了一 (北里大学医学部微生物学)	1-0-54-1	MRSAの積極的監視培養の効果	山形大学医学部附属病院	森兼 啓太
		1-0-54-2	過去5年間のMRSAサーベイランスに基づいた感染対策とその評価	鹿児島県立北薩病院 ICT	山之内聡子
		1-0-54-3	資材に付着したMRSAの湿度の異なる環境での生存性	日本赤十字豊田看護大学 看護学部	東野 督子
		1-0-54-4	歯科衛生士学校生における市中感染型メチシリン耐性ブドウ球菌の保菌調査-感染予防対策教育に向けて-	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科	渡辺 朱理
		1-0-54-5	当院におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)菌血症の臨床的検討	健和会大手町病院 総合診療科・感染症内科	大城 雄亮
		1-0-54-6	市中MRSAにおけるSCCmecの推移	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室	中南 秀将
		1-0-54-7	スコア表を用いた新たなMRSA感染・保菌鑑別法	大阪大学 医学部 附属病院 感染制御部	吉岡 範
MRSA(サーベイランス、その他)3 14:00~15:10	竹田 宏 (東京慈恵会医科大学附属第三病院感染制御部)	1-0-55-1	当院でのMRSA検出状況と院内感染対策について	明徳会 佐藤第一病院 臨床検査科	木戸 直徳
		1-0-55-2	電子カルテ導入直後に救急病棟におけるMRSA新規検出数の増加を経験して~ MRSA環境調査の実施と感染対策の検討~	国立病院機構九州医療センター ICT	小田原美樹
		1-0-55-3	POT法キットによるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の感染管理	愛知県衛生研究所 細菌	鈴木 匡弘
		1-0-55-4	集中治療領域におけるMRSA伝播経路とその対策	広島大学病院 看護部	近藤 美穂
		1-0-55-5	鹿児島ICTネットワークによるMRSA検出患者数の多施設調査	鹿児島大学病院感染制御部門	西 順一郎
		1-0-55-6	病棟内MRSAの環境伝播の解析	北里大学 医学部 皮膚科学	新山奈々子
		1-0-55-7	長崎大学病院におけるMRSA感受性パターンの分布についての検討	長崎大学病院感染制御教育センター	塚本 美鈴



第1日目 2月18日(金) 第19会場(ボールルーム ニース)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
組織・活動6 9:10～10:00	坂本 眞美 (福岡大学病院)	1-O-56-1	リンクナース会での監査の取り組み－3年間の結果と考察－	長岡赤十字病院 看護部	塩入久美子
		1-O-56-2	広島厚生連感染管理ネットワークの取り組み	JA 吉田総合病院	只佐 宣子
		1-O-56-3	MRSA検出時における拡散防止策の統一的実施に向けた取り組み	大阪府立成人病センター 看護部	副島 明美
		1-O-56-4	当院におけるICT同行の外科回診ラウンドの効果	芳賀赤十字病院ICT	野澤寿美子
		1-O-56-5	長期療養病床における院内ラウンドのまとめ	医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院	小澤 美紀
組織・活動7 10:30～11:20	新里 敬 (中頭病院感染症内科)	1-O-57-1	当院の感染管理認定看護師(ICN)誕生の効果	小牧市民病院 臨床検査科	宮木 祐輝
		1-O-57-2	院内感染対策チーム(ICT)による能動的菌血症回診の試み:データベース(ACHIDASS)作成の報告も兼ねて(第1報)	赤穂中央病院	矢部 博樹
		1-O-57-3	地域医療施設による合同ICTラウンドの有用性に係る検討～長野県北信地域の取り組みから～	長野県立須坂病院 薬剤科	鹿角 昌平
		1-O-57-4	TRICK(栃木地域感染制御コンソーシアム)で実施した施設ラウンドの効果	栃木地域感染制御コンソーシアム	野澤寿美子
		1-O-57-5	当院における血液培養2セット採取の取り組みとその効果	財団法人 東京都保健医療公社 東部地域病院	関口 暁子
その他3 14:00～15:20	高橋 孝 (北里大学大学院感染制御科学府感染症学研究室) 川上 小夜子 (帝京大学附属病院中央検査部細菌室)	1-O-58-1	外来での医療関連感染予防のための問診票の評価	名古屋市立大学 看護学部	山本 洋行
		1-O-58-2	入院後水痘発症事例からの暴露を防ぐための取り組みについての一考察	独立行政法人 成育医療研究センター	菅原 美絵
		1-O-58-3	医療施設等での訪問理美容における感染予防対策について～日本の現状と今後の改善について～	静岡徳洲会病院 内科	山之上弘樹
		1-O-58-4	患者に清潔で安全な清拭タオルを提供する～清拭タオルの清潔の検証～	中国電力(株)中電病院	藤原菜穂子
		1-O-58-5	前立腺生検退院基準の検証－重症感染症予防に向けての取り組み－	兵庫県立尼崎病院 看護部	中嶋 美和
		1-O-58-6	開業助産所における感染対策の現状	東邦大学 大学院 医学研究科	中村 麻子
		1-O-58-7	バイオフィルム形成阻害剤のスクリーニングに有用な新規マイクロデバイスの開発	岡山大学 泌尿器科	狩山 玲子
		1-O-58-8	医療・福祉施設の感染制御手法の研究(第2報)診察行為の動作解析	早稲田大学 建築学科	田辺 新一



第1日目 2月18日(金) 第20会場(ボールルーム カヌ)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
IT 9:10~10:10	佐和 章弘 (広島国際大学 薬学部 薬学科)	1-O-59-1	手術時クリニカルパス内の予防抗菌薬バリエーション調査方法の開発	相澤病院 薬剤管理情報センター	上條 泰弘
		1-O-59-2	2次元カラーコードキャリアマップweb(2DCM)を用いた感染経路の探索	公立置賜総合病院 内科	稲毛 稔
		1-O-59-3	感染管理支援システムでの職員ウイルス抗体価およびワクチン接種歴管理機能の構築	静岡市立清水病院 検査技術科	池ヶ谷佳寿子
		1-O-59-4	「感染管理ツール」システムを活用した院内感染管理の取り組み	JA愛知厚生連 安城更生病院 ICT	稲富 里絵
		1-O-59-5	ICT活動における感染制御支援情報システム導入の効果	手稲溪仁会病院	佐藤由美子
		1-O-59-6	専用アプリケーションを利用したICT回診の実際と課題	箕面市立病院 ICT	四宮 聡
微生物検査1 10:30~11:50	奥住 捷子 (獨協医科大学病院 安全管理部感染防止 対策課) 佐藤 智明 (山形大学医学部附 属病院検査部)	1-O-60-1	当院の血培キャンペーンについて	泉大津市立病院 ICT	別所 俊哉
		1-O-60-2	当院の血液培養施行状況ー6年間を振り返ってー	岩手県立胆沢病院ICT	中島 佳子
		1-O-60-3	多剤耐性アシネトバクターなどを標的とした効果的検出法についての考察	藤田保健衛生大学病院 臨床検査部	濱岸真奈美
		1-O-60-4	当院における血液培養陽性時の時間外対応について	日本赤十字社長崎原爆病院 医療技術部 第一検査課	脇川富美子
		1-O-60-5	積極的監視培養を用いた耐性菌制御対策	日本医科大学多摩永山病院 外科	丸山 弘
		1-O-60-6	看護師主導による血液培養実施の問題点と対策	広島大学病院 看護部	石川 恵子
		1-O-60-7	院内アウトブレイクにおける2次元キャリアマップ(2DCM)有用性の検証	JA愛知厚生連 安城更生病院 ICT	山田 貴子
		1-O-60-8	北大阪地区における血液培養検査の現状と今後	済生会吹田病院 外科	恒松 一郎
微生物検査2 14:00~15:20	春木 宏介 (獨協医科大学越谷 病院臨床検査部) 岩澤 篤郎 (昭和大学藤が丘 病院)	1-O-61-1	百日咳集団感染対策におけるLAMP法の活用	市立札幌病院 感染管理推進室	土佐理恵子
		1-O-61-2	分子疫学解析POTキットを利用した当院での感染管理の現状	JA広島総合病院 臨床研究検査科	池部 晃司
		1-O-61-3	輸液容器と輸液ラインの連結針の細菌汚染について	徳島大学病院 救急集中治療部	中瀧恵実子
		1-O-61-4	血液培養における直接感受性迅速報告の効果と課題	千葉県がんセンター 臨床検査部 ICT	里村 秀行
		1-O-61-5	当院にて検出されたMRSAにおける抗MRSA薬低濃度域MIC値について	JA北海道厚生連 札幌厚生病院 医療技術部臨床検査技術科	木田 秀幸
		1-O-61-6	当院における肺炎球菌尿中抗原迅速検出キットと喀痰培養検査との比較検討	NTT東日本伊豆病院 臨床検査室	奥田 英裕
		1-O-61-7	当院における入院患者便細菌検査の状況	高知医療センター 消化器外科	福井 康雄
		1-O-61-8	老健等の浴室シャワーチェアから検出される真菌の残存性について	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子標的治療学	中川 善之



第1日目 2月18日(金) 第21会場(シルク)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
サーベイランス (カテゴリー内に 対象がないもの) 1 9:10~10:20	西岡 みどり (国立国際医療研究 センター 国立看護 大学校)	1-O-62-1	2009年における日本のGoogle Flu Trendsの妥当性の検証	北里大学医学部衛生学 公衆衛生学	和田 耕治
		1-O-62-2	透析関連感染サーベイランスシステムの構築	福井県済生会病院	細田 清美
		1-O-62-3	ICTラウンドの効率化を目指したサーベイランスシステムの構築	大野記念病院 ICT	浦田 元樹
		1-O-62-4	札幌薬剤師感染制御研究会における抗菌薬使用量と緑膿菌の抗菌薬感受性についての検討	札幌医科大学附属病院 薬剤部	藤居 賢
		1-O-62-5	急性期脳卒中患者の誤嚥性肺炎発症予防の取り組み	財団法人操風会岡山旭 東病院看護部	菅田 節子
		1-O-62-6	長期尿路カテーテル留置患者における歯垢および吸引痰からの日和見病原菌の検出状況	岡山大学泌尿器科	山本満寿美
		1-O-62-7	ICNがいない急性期病院においてサーベイランスを実施する看護師の意識調査	千葉市立青葉病院 ICT	鈴木 美保
サーベイランス (カテゴリー内に 対象がないもの) 2 10:30~11:50	加藤 由紀子 (愛知医科大学病院) 湯原 里美 (土浦協同病院)	1-O-63-1	那覇市立病院における新規検出患者数サーベイランスの効果	那覇市立病院 医療支援 部検査室	大城 健哉
		1-O-63-2	中心静脈カテーテル関連血流感染 (CLABSI) サーベイランスの診断と臨床診断が異なる要因に関する検討	愛知医科大学病院 感染 制御部	村松 有紀
		1-O-63-3	下部消化管手術における術後感染要因の検討	島根大学 医学部 附属 病院 薬剤部	石原 慎之
		1-O-63-4	老人福祉施設での症候サーベイランスー記録・とりまとめ方法の検討と2009年インフルエンザシーズンのまとめー	社会福祉法人健生会「花 の苑」	関根美百合
		1-O-63-5	筑波大学附属病院集中治療室におけるデバイス関連感染症のサーベイランス	筑波大学 附属病院 感 染管理室	堤 徳正
		1-O-63-6	当院における血液培養陽性患者の感染症サーベイランス報告	香川労災病院 ICT	塚田由美子
		1-O-63-7	当院における透析関連感染サーベイランスの取り組みと今後の課題	彦根市立病院 ICT	奥居ルミ子
		1-O-63-8	尿路感染防止対策の評価～サーベイランスを正しく実施するために～	中国電力(株)中電病院	藤井 ゆり



第1日目 2月18日(金) 第21会場(シルク)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
サーベイランス (カテゴリー内に 対象がないもの) 3 14:00~15:20	渋谷 智恵 (社団法人日本看護 協会看護研修学校認 定看護師教育専門課 程感染管理学科) 萬井 美貴子 (愛媛大学法文学部 法文学研究科)	1-O-64-1	国立国際医療研究センター病院における抗MRSA薬の使用動向調査	国立国際医療研究センター病院 感染対策チーム	高橋真菜美
		1-O-64-2	南大阪地域の抗菌薬感受性情報ネットワーク構築による耐性菌情報の交換(5年目)	近畿大学 医学部 附属病院 安全管理部 感染対策室	宮良 高維
		1-O-64-3	南大阪地域の抗菌薬感受性情報ネットワーク構築による薬剤感受性サーベイランス(5年目)	近畿大学 医学部 附属病院 安全管理部 感染対策室	宮良 高維
		1-O-64-4	当院における障害者病棟の薬剤感受性の推移	静岡徳洲会病院 検査科	黒田 浩記
		1-O-64-5	エビネット日本版Bによる皮膚・粘膜を介した血液・体液曝露に関する全国サーベイランス結果	財団法人労働科学研究所 研究部	吉川 徹
		1-O-64-6	耐性菌サーベイランスの実践～開院後約8年間の耐性菌検出状況とアウトブレイク事例～	国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部	鈴木 高弘
		1-O-64-7	医療関連感染サーベイランスの効果的な実践への影響要因に関する質問紙の開発	済生会熊本病院	家入 裕子
		1-O-64-8	CDCガイドラインに基づく耐性菌対策はMRSAの分離率を減少させる	亀田総合病院	古谷 直子
UTI 15:30~16:40	網中 眞由美 (順天堂大学医療看護学部) 諏訪 美栄子 (愛知医科大学看護学部 看護実践研究センター)	1-O-65-1	尿路感染サーベイランス集計から見えてきたもの	岡村記念病院 看護部 ICU	天野 嘉則
		1-O-65-2	在宅におけるCICカテーテルの使用・保存状態と細菌汚染について	日本医科大学付属病院 看護部	熊谷 民
		1-O-65-3	膀胱留置カテーテル関連感染防止への2年間の活動と効果の検証	刈谷豊田総合病院 ICT	加藤 典子
		1-O-65-4	カテーテル関連尿路感染サーベイランスを通じた現場への介入	埼玉医科大学総合医療センター	池田 知子
		1-O-65-5	間歇導尿を実施する基準に尿量を用いるとCAUTIが減少する可能性がある	亀田総合病院 B2病棟	浦邊可奈子
		1-O-65-6	院内尿路感染症治療における最適治療のための薬剤師による尿グラム染色の実施の有効性の検討	北海道薬科大学	原田 瑞記
		1-O-65-7	カテーテル関連尿路感染症(CAUTI)の減少をめざしてー手術室内での取り組みー	永仁会病院	中鉢有希子



第1日目 2月18日(金) 第21会場(シルク)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
VAP 16:50~18:00	長谷川 直樹 (慶應義塾大学病院) 柴谷 涼子 (大阪厚生年金病院 看護ケア推進室)	1-O-66-1	ICUにおけるVAP予防看護の教育プログラムを実施して	東大和病院	本間美知恵
		1-O-66-2	人工呼吸器関連肺炎のリスク要因に関する検討	大津市民病院 医療の質・安全管理室	横谷 恵
		1-O-66-3	ICUにおける人工呼吸器関連肺炎サーベイランによる効果	大分大学	佐藤 由香
		1-O-66-4	ICUにおけるサーベイランス実施と人工呼吸器関連肺炎(VAP)発生率低下への取り組み	徳島赤十字病院 看護部	角谷美千代
		1-O-66-5	人工呼吸器関連肺炎(VAP)予防チームの活動を開始して	静岡県立総合病院 集中治療病棟	松丸万理子
		1-O-66-6	気管内チューブのカフ圧管理の検証ーパイロットバルーンの手感覚による管理をカフ圧計で調査ー	市立旭川病院 感染対策室	桐 則行
		1-O-66-7	集中ケア認定看護師による呼吸ケアチーム活動と課題	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 集中ケア学科	中田 諭

一 般 演 題

2 日 目

口 演

〈2-0-01-1～2-0-61-6〉

演題番号の見方

〈2-0-01-1～2-0-61-6〉

↑ ↑ ↑
発表日 口演発表 演題番号



第2日目 2月19日(土) 第2会場(メインホール)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
優秀一般演題 13:10~14:10	吉永 正夫 (国立病院機構鹿児島医療センター 小児科) 石川 周 (刈谷豊田総合病院 高浜分院外科)	2-O-01-1	NICUにおける手指衛生遵守率の向上にむけて～手指衛生の適切なタイミングの遵守の評価	富山大学附属病院 周産母子センター NICU	青木 雅子
		2-O-01-2	新型インフルエンザワクチンの効果と副作用 医療従事者での解析	千葉大学 医学部 附属病院 感染症管理治療部	猪狩 英俊
		2-O-01-3	多角的介入によるメタロβラクタマーゼ産生多剤耐性緑膿菌の制御	京都大学医学部附属病院 検査部 感染制御部	長尾 美紀
		2-O-01-4	麻疹、風疹、ムンプス、水痘(4種ウイルス感染症)の血清抗体に関する検査法の比較検討	神戸大学医学部附属病院 感染制御部	阿部 泰尚



第2日目 2月19日(土) 第5会場 (503)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
<i>C. difficile</i> 3 10:10～11:10	草野 展周 (岡山大学病院中央 検査部)	2-O-02-1	CD toxin 陽性者の検討	健和会大手町病院 感染 症内科	八坂謙一郎
		2-O-02-2	抗菌薬関連下痢症治療薬の適正使用	社会医療法人生長会 府 中病院 薬剤部	小泉 祐一
		2-O-02-3	<i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症アウト ブレイクへの取り組みと要因分析	鶴岡市立荘内病院	若松由紀子
		2-O-02-4	小児神経・筋病棟、重心病棟におけ る <i>Clostridium difficile</i> 保菌状況	国立精神・神経医療研 究センター病院 ICT	榎園 崇
		2-O-02-5	バンコマイシン塩酸塩散使用期間と 投与量による <i>Clostridium difficile</i> 関 連下痢症再発率の調査及び検討	福山市民病院 薬剤科	岡部 隆直
		2-O-02-6	当院における CD トキシン検出患者の 背景	東京女子医科大学東医 療センター 感染対策室	中野 聖子



第2日目 2月19日(土) 第6会場(511+512)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
組織・活動8 8:30～9:30	村山 郁子 (医)ヘブロン会 大宮中央総合病院 特定健診科)	2-0-03-1	手指衛生改善へ向けた取り組みと実施状況の推移	長崎大学病院 感染制御教育センター	高見 陽子
		2-0-03-2	手指衛生遵守率向上の為の取り組みー手指衛生キャンペーンを行ってー	前橋赤十字病院 感染管理室	稲村 麻希
		2-0-03-3	看護部における手指衛生啓蒙活動の取り組み	大阪警察病院看護部	古田 和恵
		2-0-03-4	当院における基本的な感染対策費用について	仙台厚生病院 ICT(感染対策チーム)	目黒 美保
		2-0-03-5	全県下における院内感染予防対策アンケートを実施してー5年間の比較ー	鹿児島ICTネットワーク	吉永 正夫
		2-0-03-6	チェックリスト改訂後のICTラウンドの実際	安芸市民病院	安藤 幸子
組織・活動9 9:40～10:40	渋谷 豊克 (市立豊中病院 手術部)	2-0-04-1	ラウンドによる効果的な感染対策推進への取り組みーラウンドチェック表を変更してー	親仁会 米の山病院	小柳 美紗
		2-0-04-2	なぜ外科医は尿量測定が好きなのか	広島大学病院 感染管理室	多尾 佳子
		2-0-04-3	感染対策に対する意識の変化ーみんなで取り組む感染対策ー	医療法人 親仁会 米の山病院	北野 歩
		2-0-04-4	平成22年度診療報酬改定が感染管理認定看護師の業務体制に与えた影響と問題点	愛媛大学 法文学部 研究科	萬井美貴子
		2-0-04-5	感染経路別ゾーニングカードを利用した院内感染防止対策の取り組みについて	新潟県立坂町病院 薬剤部	高沢 純子
		2-0-04-6	ウォーターレス法導入に向けた取り組み	滋賀県立小児保健医療センター 手術室	織田 麻希
組織・活動10 10:50～11:40	石郷 潮美 (大垣市民病院感染 管理室)	2-0-05-1	福井県感染管理マネージャーネットワークの活動	福井赤十字病院	田中真理子
		2-0-05-2	小規模病院に適した感染教育方法	東近江敬愛病院	荻田 千歌
		2-0-05-3	MRSAサーベイランス報告ーICT週報とチェックリストを活用した病棟ラウンドー	那覇市立病院 感染防止対策室	又吉 慶
		2-0-05-4	抗生剤適正使用を目的としたICTラウンドの効果	市立豊中病院	赤瀬 望
		2-0-05-5	当院におけるICTの取り組みー感染防止対策加算に関連する活動の変化ー	群馬県立心臓血管センター ICT	小野 雄一



第2日目 2月19日(土) 第6会場(511+512)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
組織・活動 11 13:10~14:20	大湾 知子 (琉球大学医学部保健学科成人看護学1) 一木 薫 (兵庫医科大学病院感染制御部)	2-O-06-1	感染制御システムを用いた院内感染対策の取り組み	独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター	下高 美和
		2-O-06-2	当院における感染症チームの活動とその効果 第一報	熊本赤十字病院ICT	東 陽子
		2-O-06-3	当該部署で行う病棟ラウンドの効果ー2年間の病棟ラウンドチェック表の評価点比較から見えてくるものー	富士重工業健康保険組合総合太田病院	小島 宏美
		2-O-06-4	地域における感染対策の現状と今後の課題ー地域施設へのアンケート結果よりー	淀川キリスト教病院	吉村 真弓
		2-O-06-5	ICUにおける感染対策組織の構築	独立行政法人国立成育医療研究センター 看護部	矢野 千秋
		2-O-06-6	北海道の一般病院における感染対策実施状況	北海道医療大学 看護福祉学部 臨床看護学講座	塚本 容子
		2-O-06-7	チェックシートを用いたICTラウンドの取り組みーリンクナースの感染対策のレベルアップを目指してー	芳賀赤十字病院	金澤 靖子
組織・活動 12 14:30~15:40	青木 洋介 (佐賀大学医学部附属病院感染制御部)	2-O-07-1	ICUにおける感染対策の見直しー耐性緑膿菌発生に対する早期対応の必要性ー	国立病院機構 別府医療センター	村武 明子
		2-O-07-2	リンクナースの育成に向けて院内ラウンドを取り入れた成果	済生会兵庫県病院	小川麻由美
		2-O-07-3	尿道留置カテーテル関連尿路感染(CAUTI)サーベイランス導入に際しての当院における取り組みと課題	金沢市立病院 教育開発室	中西 容子
		2-O-07-4	当院における院内環境ラウンドの検討	日野病院組合 日野病院	磯江 光代
		2-O-07-5	リンクナースラウンドによる一般病棟でのゾーニングの取り組みについて	国立病院機構 三重中央医療センター ICT	雲井 直美
		2-O-07-6	感染対策への主体的取り組みを期待したリンクナースで行うICTラウンド	社団法人京都保健会 京都民医連中央病院ICT	曾根 孝子
		2-O-07-7	当院における感染対策委員の意識調査	道後温泉病院 感染対策委員会	長尾さおり
組織・活動 13 15:50~17:00	渡會 睦子 (東京医療保健大学)	2-O-08-1	抗菌薬適正使用への薬剤管理指導支援システムの活用	市立泉佐野病院	泉原 里絵
		2-O-08-2	ICTによる環境ラウンドとその効果に関する考察	北里大学東病院 看護部 4階東病棟	深堀 信子
		2-O-08-3	地域における感染制御活動の利点と問題点	NPO法人 KRICT(北九州地域感染制御チーム)	池野 貴子
		2-O-08-4	ICTによる手指衛生遵主への取り組みーATP測定器を用いた効果的なICTラウンドー	足利赤十字病院	小林由美江
		2-O-08-5	ICTが目指す病棟での輸液調製手順の統一ー輸液汚染を経験してー	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	近藤奈津子
		2-O-08-6	手洗いイベントが感染予防効果に及ぼす影響について	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 ICT	牧野恵津子
		2-O-08-7	感染症指導医と病棟薬剤師の連携による効果的なコンサルテーション体制の確立	上尾中央総合病院 薬剤部	小林 理栄



第2日目 2月19日(土) 第7会場 (411+412)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
ウイルス感染1 8:30~9:30	四柳 宏 (東京大学 医学部 感染症内科)	2-O-09-1	当院職員のワクチンプログラム構築 に向けての取り組み	大分県立病院 ICT	大津佐知江
		2-O-09-2	無形成クリーゼを起こしたヒトパル ボウイルスB19感染患者からの院内 感染事例	滋賀県立小児保健医療 センター 小児科	熊田 知浩
		2-O-09-3	東北6県におけるHIV術前スクリー ニング検査の現状	岩手県立中央病院	福田 祐子
		2-O-09-4	塩酸パラシクロビル投与で水痘発症 を予防した乳児例の検討	国立病院機構栃木病院 感染アレルギー科 臨床 研究部	山口 慎夫
		2-O-09-5	麻疹・水痘・風疹・ムンプスに対す る職業感染対策の検討	金沢医科大学病院 医療 安全部 感染制御部門	不動 政代
		2-O-09-6	外来職員の免疫獲得の現状と感染予 防に関する認識と知識	名古屋市立大学病院	福留 元美
ウイルス感染2 9:40~10:40	春田 恒和 (神戸市立医療セン ター中央市民病院 小児科・感染症科)	2-O-10-1	重症心身障害者施設における集団感 染したヒトパルボウイルスB19感染 症発生事例の検討	千葉大学 看護学研究科	松林 美子
		2-O-10-2	当院における麻疹・風疹・流行性耳 下腺炎・水痘に対する職業感染対策	越谷市立病院ICT	松尾 歩
		2-O-10-3	ロタウイルスによる院内感染予防対 策への取り組み	JA神奈川県厚生連相模 原協同病院 小児科病棟	清水江里子
		2-O-10-4	当センターにおける小児ウイルス性疾 患に対する職業感染対策	大阪府立母子保健総合 医療センター	飯野江利子
		2-O-10-5	塩素系消毒薬のウイルス不活化作用 ならびに細胞障害作用ー亜塩素酸水 と他の消毒薬との比較ー	和歌山県立医大・院・ ウイルス	池田 敬子
		2-O-10-6	界面活性作用のあるアミノ酸誘導体の ウイルス不活化作用についての解析	和歌山県立医大・院医・ ウイルス	辻本 和子
ウイルス感染3 10:50~11:50	寺田 喜平 (川崎医科大学 小児科)	2-O-11-1	院内保育園のロタウイルス集団発生 と対策	医療法人社団 新日鉄八幡 記念病院 医療安全管理室	川原しのぶ
		2-O-11-2	当院における流行性ウイルス疾患(麻 疹、風疹、水痘、ムンプス)に対する ワクチン接種の現状	三重大学病院 医療安 全・感染管理部	田辺 正樹
		2-O-11-3	病院職員における麻疹・水痘・風疹・ ムンプス抗体測定結果の報告	星ヶ丘厚生年金病院 感 染対策チーム	小野恵実子
		2-O-11-4	当院における職業感染防止対策への取 り組みー麻疹・水痘・ムンプス・風疹 抗体価結果とワクチン接種状況ー	JA山口厚生連 長門総合 病院 医療安全管理室	藤永 聡
		2-O-11-5	麻疹40症例における入院管理と外来 管理の比較検討	横浜市立みなと赤十字 病院 ICT	佐藤 守彦
		2-O-11-6	当院における新基準での麻疹・風疹の抗 体価検査とワクチンプログラムの検討	市立堺病院	上山崎みちる



第2日目 2月19日(土) 第7会場(411+412)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
教育・啓発6 13:10～14:20	土井 まつ子 (愛知医科大学看護学部)	2-O-12-1	e-ラーニングを用いた感染教育システムの検討	大阪府立急性期・総合医療センター	扇田 千代
		2-O-12-2	手指衛生教育の構築過程～見直してみませんか？その認識と習慣～	カレスサップロ 北光記念病院 感染管理部会	鈴木さつき
		2-O-12-3	全職員対象の感染教育の取り組み～イントラネットを利用して～	福井厚生病院 ICT	津田知恵美
		2-O-12-4	感染管理ベストプラクティスを活用したオムツ交換の取り組み～ノロウイルスアウトブレイクを経験して～	愛染橋病院 医療安全管理室	津田育久子
		2-O-12-5	看護師を対象にした感染管理教育体制の構築～感染管理教育をキャリア開発ラダーにのせて～	中国電力(株)中電病院	畠山 文香
		2-O-12-6	看護師全体を巻き込んだ感染対策の機会教育	公立松任石川中央病院 総合医療対策室	嶋田由美子
		2-O-12-7	蛍光塗料を用いた適切な個人防護具着用の教育	埼玉医科大学病院 看護部	五十嵐禎幸
教育・啓発7 14:30～15:30	後藤 俱子 (伊東歯科口腔病院 麻酔科)	2-O-13-1	手洗いの遵守率向上を目指して～ブラックライトを用いた環境チェックによる院内研修～	社会医療法人 大道会 森之宮病院	吉田ひろみ
		2-O-13-2	蛍光塗料を用いたアウトブレイク時の接触伝播のイメージ作り	琉球大学医学部附属病院 感染対策室	武加竹咲子
		2-O-13-3	感染性廃棄物分別徹底への取り組み～掲示型研修を通して～	東京都健康長寿医療センター 看護部	平田佐由美
		2-O-13-4	院内eラーニングシステムを用いた研修医に対する感染症教育の評価	箕面市立病院 ICT	山口 充洋
		2-O-13-5	感染リンクナースの活動～感染予防策の遵守率から活動内容を検討する～	聖マリアンナ医科大学 看護部	三田由美子
		2-O-13-6	「血培2セットキャンペーン」実施の評価	岐阜県立多治見病院 ICT	松川 洋子
教育・啓発8 15:40～16:40	間平 珠美 (東京大学医学部附属病院看護部、感染対策センター)	2-O-14-1	血液・腫瘍内科における感染教育の一取り組み～動画撮影したオムツ交換マニュアルを通して～	久留米大学病院 血液・腫瘍内科	陶山 香織
		2-O-14-2	当院における病棟環境改善に向けたラウンドの効果	岩見沢市立総合病院	中島由美子
		2-O-14-3	患者・家族及び地域住民に対する手洗い及び咳エチケットの指導	地方独立行政東京都健康長寿医療センター看護部	昆野ひろみ
		2-O-14-4	ロールプレイによる感染対策教育の効果	東京慈恵会医科大学附属病院	美島 路恵
		2-O-14-5	感染リンクナースの教育・活動支援報告	東京女子医科大学病院 感染対策部	富安 純子
		2-O-14-6	リンクナースラウンド形式の見直しを行って	浜の町病院 看護部	古賀 暁子



第2日目 2月19日(土) 第8会場(413)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
教育・啓発9 8:30~9:30	田村 秀代 (名古屋第二赤十字 病院)	2-O-15-1	ベストプラクティスを使用したコメ ディカルへの感染教育	市立三次中央病院 看護部	三苦真理恵
		2-O-15-2	リンクナースの教育ツールの工夫 ーCD-ROMを活用してー	秋田県成人病医療セン ター 医療安全管理室	佐々木久美子
		2-O-15-3	シミュレーション教育における手指 衛生遵守率への効果	東京医科大学茨城医療 センター	斉藤真季子
		2-O-15-4	集中治療室におけるカテーテル関連 血流感染防止対策への取り組み～ラン チョンDVDを活用して～	JA北海道厚生連 帯広厚 生病院	森 八重子
		2-O-15-5	当院の血液培養検査の現状	国立病院機構名古屋医 療センター 臨床検査科	早川 恭江
		2-O-15-6	地域ネットワークづくり沖縄県イン フュクシヨコンントロール研修会 (OICW)の検討	琉球大学 医学部 保健 学科	大湾 知子
教育・啓発10 9:40~10:40	大澤 忠 (前橋赤十字病院)	2-O-16-1	感染対策リンクナースのレベルアップ を目標にした教育体制の構築 ～チェックリストと勉強会を併用して～	兵庫県立こども病院	鳴滝 由佳
		2-O-16-2	チームで取り組む感染対策～ノロウ イルス アウトブレイクを防ぐ～	北海道がんセンター	奈良恵美子
		2-O-16-3	医療施設における看護職者による感 染予防ネットワーク構築に関する ニーズ調査	熊本大学 医学部 保健 学科	南家貴美代
		2-O-16-4	看護師の適切な個人防護具(PPE)選 択に関する教育の効果～自己チェッ クシートとマニュアルの活用	北海道がんセンター	一戸真由美
		2-O-16-5	病院職員の麻疹、風疹、流行性耳下 腺炎および水痘ウイルス保有状況に ついてー実際の測定結果とアンケート 調査との比較分析ー	津久見中央病院	戸田美穂子
		2-O-16-6	求められるリンクナース教育とは何か ー問題提起型プレゼンテーションの効 果ー	八雲総合病院	岩田 明美
教育・啓発11 10:50~11:40	富田 典子 (秋田大学医学部附 属病院 感染制御部)	2-O-17-1	ネズミ講式伝達教育法の試み	公立能登総合病院 感染 対策チーム	和田 英男
		2-O-17-2	広島市立安佐市民病院における職員 参画型研修の工夫	広島市立安佐市民病院 ICT	大野 公一
		2-O-17-3	看護師の教育を目的としたインフル エンザの予防接種に関するプリント 教材の作成の検討	北里大学病院 看護部	中野由紀子
		2-O-17-4	看護師の感染対策への自律性の向上 に向けて ～自部署の環境ラウンドを行って～	久留米大学 医療センター 3階東入院棟	高野 裕美
		2-O-17-5	当院における血液培養推進の取り組 みとその効果について	総合病院 庄原赤十字病院	山根 啓幸



第2日目 2月19日(土) 第8会場(413)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
教育・啓発 12 13:10～14:20	藤田 芳正 (大阪厚生年金病院 内科) 石角 鈴華 (市立札幌病院)	2-0-18-1	閉鎖式デバイスからの注射マニュアル作成への取り組み	日本鋼管福山病院	松本 和子
		2-0-18-2	e-learningを利用した職業感染防止に対する職員教育	横浜市立大学附属市民 総合医療センター 感染 対策委員会	畔上 栄治
		2-0-18-3	看護学生への感染予防教育－手型培地を用いた手指付着菌の観察	帝京大学 医学部 微生物学講座	宮崎 千鶴
		2-0-18-4	ICTのための院内ラウンドを試みて	名古屋セントラル病院 看護部	石黒ひとみ
		2-0-18-5	感染管理院内認定コースの開講と経過	徳島大学病院 安全管理 対策室 感染対策部門	長尾多美子
		2-0-18-6	人工呼吸器加温加湿による回路内水分の飛沫飛散状況	茨城県厚生連 土浦協同 病院	鈴木 あや
		2-0-18-7	リンクナース教育の必要性について	国立病院機構 西新潟中 央病院 看護部	鈴木 潤子
教育・啓発 13 14:30～15:40	家入 裕子 (済生会熊本病院 TQM部) 村松 有紀 (愛知医科大学病院 感染制御部)	2-0-19-1	中途採用者への感染予防教育の取り組み	市立泉佐野病院	神田麻紀子
		2-0-19-2	看護部対象とした部署別感染対策学習会の実施と評価	JA 北海道厚生連 倶知安 厚生病院	佐藤 純司
		2-0-19-3	気管内吸引時のゴーグル装着の遵守に向けた取り組み	岐阜大学 医学部 附属 病院 耳鼻咽喉科・口腔 外科病棟	吉田 裕美
		2-0-19-4	地域におけるオムツ交換の標準化	NPO 法人 KRICT (北九州 地域感染制御チーム)	元石 和世
		2-0-19-5	NICUにおける血流感染防止に向けた取り組み	愛媛県立中央病院 看護部	岩本 悟志
		2-0-19-6	実践に活かせる研修方法の検討	大田市立病院 看護部	下垣 巻
		2-0-19-7	CVC挿入部の消毒手技向上を目指した取り組み	先端医療センター病院 看護部	笹田 智美
教育・啓発 14 15:50～17:00	工藤 友子 (静岡県立静岡がん センター看護部) 鍋谷 佳子 (大阪大学医学部附 属病院感染制御部)	2-0-20-1	結核病棟勤務者におけるN95マスクの装着指導前後の漏れ率の比較－フィッティングテスターを用いて漏れ率を測定して－	長岡赤十字病院 感染管 理室	川上 朱美
		2-0-20-2	経路別感染予防対策における付き添い者へのパンフレットを用いた指導	福岡市立こども病院・ 感染症センター 感染症 病棟	檜崎 壱子
		2-0-20-3	院内感染制御部認定看護師継続教育に取り組んで～実践的な教育内容から得た効果～	赤穂中央病院 ICT	勝平 真司
		2-0-20-4	手指衛生の改善に向けたリンクナースの取組み	JA 北海道厚生連 倶知安 厚生病院 リンクナース	戸澤 淳
		2-0-20-5	医療職以外の職員における院内感染予防に対する意識について	磐田市立総合病院 感染 対策室	平野あけみ
		2-0-20-6	当院の感染リンクナースの教育と今後の課題	独立行政法人国立病院 機構あわら病院	北川 智子
		2-0-20-7	当院の感染環境委員会活動報告－感染チェックテストを実施して－	金沢医科大学病院 看護部	村上 美紀



第2日目 2月19日(土) 第9会場(414+415)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生 4 8:30~9:30	藤原 広子 (社団法人日本看護協会神戸研修センター教育研修部)	2-O-21-1	手術室看護師の擦式アルコール製剤使用量増加への取り組み	四国がんセンター	二宮 鮎美
		2-O-21-2	ブラシを使用するスクラブ法と使用しないラビング法の比較検討手術時手指消毒法についての一考察	都立小児総合医療センター	冠城 和世
		2-O-21-3	病棟看護師の相互チェックによる手指衛生の遵守率向上への試み	愛知医科大学病院 ICT	久留宮 愛
		2-O-21-4	クロルヘキシジンの持続的殺菌活性に対するジェルタイプのアルコール手指消毒薬の影響	東京医療保健大学大学院	曾川 芳郎
		2-O-21-5	ハンドケア製品導入後の状況報告	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染リンクナース会	堀江さやか
		2-O-21-6	蛍光ローションを使用した手洗い訓練の効果	医療法人社団 幸隆会 多摩丘陵病院 ICT	辻 奈津美
手指衛生 5 9:40~10:40	洪 愛子 (社)日本看護協会認定部)	2-O-22-1	重症心身障害児(者)施設における多職種職員と入所者のMRSA保有と手指衛生行動に関する検討	信濃医療福祉センター	寺島 憲治
		2-O-22-2	擦式アルコール消毒薬消費量開示の手指衛生遵守に対する効果	獨協医科大学病院 看護部	熊倉 理香
		2-O-22-3	薬学生による速乾性手指消毒薬の使用感評価	慶應義塾大学 薬学部	寺島 朝子
		2-O-22-4	ハンドケア用品が手指消毒に与える影響	富山大学 基礎看護学	赤江 尚子
		2-O-22-5	職員の手指衛生の自己評価および他者評価による遵守率向上のための方策の検討	新潟県立新発田病院 院内感染対策委員会	成田 清子
		2-O-22-6	患者の手洗い遵守に必要な条件	半田市立半田病院 感染対策室	橋本真紀代
手指衛生 6 10:50~11:40	柳瀬 安芸 (和歌山県立医科大学附属病院感染制御部)	2-O-23-1	看護学生の手洗い教育後の評価	富山福祉短大看護学科	境 美代子
		2-O-23-2	手洗いに関する意識調査と他者評価からみた手指衛生の現状	網走厚生病院 感染対策委員会	高橋 桃子
		2-O-23-3	救命救急センターにおける手指消毒の現状と今後の課題～擦式アルコール製剤の携帯とアンケート聴取で見てきたこと～	県西部浜松医療センター看護部	石井 慈乃
		2-O-23-4	床上排泄患者の手指衛生に関する調査	平成紫川会 社会保険小倉記念病院 看護部	藤原 梢
		2-O-23-5	医師、看護師の各処置における手指衛生遵守の評価について	仙台厚生病院 ICT	星野ゆかり



第2日目 2月19日(土) 第9会場(414+415)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生 7 13:10~14:20	高崎 晴子 (聖マリアンナ医科大学病院) 遠藤 博久 (東京医療保健大学大学院感染制御学)	2-O-24-1	臨床検査室における手指衛生に関する実態調査と今後の課題	札幌社会保険総合病院 検査部	伴 由佳
		2-O-24-2	手指衛生遵守率の施設間比較の試み	滋賀県立成人病センター	上野ひとみ
		2-O-24-3	リハビリテーション専門病院における手指衛生についての意識調査に関する研究	茨城県立医療大付属病院 3Bユニット	菅谷 陽子
		2-O-24-4	手術時手指消毒に用いるクロルヘキシジングルコン酸塩含有消毒薬の消毒効果に関する濃度依存性	丸石製薬(株) 中央研究所	奥西 淳二
		2-O-24-5	WEBカメラを用いた直接観察法による手指衛生遵守状況の評価	仙台厚生病院 ICT(感染対策チーム)	目黒 美保
		2-O-24-6	臨床現場を反映したアルコールラビングの視覚的評価	東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学	嶽本 智子
		2-O-24-7	ウォーターレス法実施に関する動機づけへの試み	横浜南共済病院	土田 陽子
手指衛生 8 14:30~15:40	沼 直美 (国立国際医療研究センター病院) 兒玉 弥生 (国際医療福祉大学三田病院看護部)	2-O-25-1	職種による MRSA 伝播経路の違いと対策	広島大学病院 看護部	船田 夏子
		2-O-25-2	無意識行動における術前手洗い後の不潔域への接触と対策の模索	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔微生物学分野	佐藤 法仁
		2-O-25-3	手指衛生徹底のための取り組み	埼玉県立小児医療センター 看護部	宮谷 幸枝
		2-O-25-4	手指衛生のアドヒアランス獲得への取り組み	久留米大学病院 高度救命救急センター	首藤 敏夫
		2-O-25-5	病棟担当薬剤師および薬学生の衛生的手洗い手技習得度調査	NHO 金沢医療センター 薬剤科	島田 泉
		2-O-25-6	ウォーターレス法導入までの経過と導入後の評価	松江赤十字病院 7階西病棟	土江 和枝
		2-O-25-7	医学部学生教育における速乾式アルコール手指消毒ジェルとパームチェックとを用いた手指衛生教育の取り組み	大分大学 医学部附属病院 呼吸器内科	時松 一成
手指衛生 9 15:50~16:50	宮田 貴紀 (埼玉社会保険病院)	2-O-26-1	リンクナースが行う手指衛生遵守率向上に向けての働きかけ	長野しみん病院 看護部 HCU病棟	森野 まや
		2-O-26-2	委託清掃職員への手洗い教育	岩手県立中部病院 ICT	小石 明子
		2-O-26-3	手指衛生アドヒアランス向上のための介入プログラムの検討	北海道医療大学 看護福祉学研究科	長谷山雅美
		2-O-26-4	三郷中央総合病院における手洗いに関する検証	三郷中央総合病院 薬剤科	上田 恵子
		2-O-26-5	ウォーターレス法による手術時手洗いの消毒効果—手全体および指先のみの消毒効果の検討—	済生会唐津病院 麻酔科	田中 宏幸
		2-O-26-6	手洗い徹底への取り組み～抜き打ち調査による遵守率の評価	坂出市立病院 ICT	中田 有香



第2日目 2月19日(土) 第10会場 (416+417)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
手指衛生 10 8:30~9:30	中根 香織 (昭和大学病院感染 管理室)	2-0-27-1	歯科大学病院における手袋適正使用 への取り組み～職種別認識度の差～	大阪歯科大学附属病院 ICT	谷本 啓彰
		2-0-27-2	手術用手袋内汚染に及ぼす手術法式 および医師と看護師の違いの影響	周南市立新南陽市民病 院 薬剤部	頼岡 克弘
		2-0-27-3	二トリル手袋導入による医療者の認 識、態度、行動の変化	広島国際大学 看護学部 看護学科	榎原 理恵
		2-0-27-4	多職種共同による手指衛生遵守の定 着に向けた取り組み ～動画による実践的な教育と継続的 な直接指導法による効果の検証～	岩手医科大学附属病院 循環器医療センター 看 護部	小泉 妙子
		2-0-27-5	ICUにおける手指衛生の実態 ～速乾性消毒剤配置と使用量変化～	福岡徳洲会病院 ICU	伊藤 恭子
		2-0-27-6	泡状石鹸と液状石鹸の医療現場での 比較検討	名古屋セントラル病院 薬剤科	坂野 昌志
手指衛生 11 9:40~10:40	坂木 晴世 (独立行政法人国立 病院機構西埼玉中 央病院医療安全管 理室)	2-0-28-1	手術時手洗い法変更の報告 ～スクラブ法からラビング法へ～	奈良県立医科大学附属 病院 看護部 中央手術部	船田佳予子
		2-0-28-2	手指衛生の実際と意識向上への取り 組み	久留米大学病院 心臓血 管内科	鳥越美貴子
		2-0-28-3	一般病棟における看護師の手指衛生 への意識～石けんかアルコール手指 衛生剤か～	園田学園女子大学	山本 恭子
		2-0-28-4	NICUスタッフに対する手指衛生の 学習会の効果	岐阜県総合医療センター 新生児センター	小島 由紀
		2-0-28-5	外来診療における手指衛生行動の実 態調査 ～手指衛生行動の向上を目指す～	北海道中央労災病院 看 護部	武田 知子
		2-0-28-6	手術室での一処置一手指消毒の徹底 へむけて～ケアバンドル作成から運 用の活動報告～	広島市立 広島市民病院 中央手術室	伊藤 奈美
手指衛生 12 10:50~11:40	佐藤 淳子 (医薬品医療機器総 合機構)	2-0-29-1	医療現場での皮膜形成皮膚保護剤に よる手指保護効果とその評価	諏訪赤十字病院 ICT	小口 正義
		2-0-29-2	手指衛生と鍵の衛生管理に対する意 識の向上を目指して ～精神科病棟に 勤務する看護職員へのアプローチ～	財団法人 浅香山病院 医療安全管理室	高濱 正和
		2-0-29-3	ICT事務の活動報告 ～手指消毒薬使用量調査について～	豊橋市民病院 感染症管 理センター	伊藤 恵子
		2-0-29-4	オムツ交換場面での手指衛生のタイ ミング	国立療養所長島愛生園 リンクナース会	濱村 裕子
		2-0-29-5	衛生的手洗いの意識向上に向けた 取り組みと今後の課題 ～「2010手 洗いキャンペーン」を実施して～	北九州市立八幡病院 ICT	中川 祐子



第2日目 2月19日(土) 第10会場 (416+417)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
アウトブレイク 2 13:10~14:20	松本 哲朗 (産業医科大学 泌尿器科)	2-O-30-1	流行ピーク時に発生した血液疾患患者での新型インフルエンザアウトブレイク	京都市立病院 ICT	清水 恒広
		2-O-30-2	当院で経験したバンコマイシン耐性腸球菌のアウトブレイク	苫小牧市立病院 感染対策実践部会	浅沼 秀臣
		2-O-30-3	VREアウトブレイクの経験：何が有効であったか？	健和会大手町病院	山口 征啓
		2-O-30-4	A病院におけるMRSAのアウトブレイクを経験して	神奈川県立 循環器呼吸器病センター	横谷チエミ
		2-O-30-5	バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)アウトブレイクにおけるICNによる標準予防策と環境清掃に対する改善活動	苫小牧市立病院 医療安全感染対策室	吉崎 清美
		2-O-30-6	病棟におけるMRSA集積事例に影響する因子の検討	長崎大学病院 感染制御教育センター	栗原慎太郎
		2-O-30-7	自治医科大学附属病院における多剤耐性アシネトバクターの2回目のアウトブレイクに対する調査と対策	自治医科大学附属病院 臨床感染症センター	吉村 章
アウトブレイク 3 14:30~15:40	平松 玉江 (国立がん研究センター中央病院)	2-O-31-1	ステロイド剤使用に関連した疥癬アウトブレイクの一例	さっぽろ慈恵会病院 ICT	三浦 伸子
		2-O-31-2	他院における肺炎球菌性肺炎のアウトブレイクへの介入経験	財団法人慈愛会 今村病院分院 医療安全管理室	吉森みゆき
		2-O-31-3	急性期病院における疥癬アウトブレイク対応について	都立墨東病院 ICT 感染症科	中村(内山) ふうみ
		2-O-31-4	A病棟におけるノロウイルス感染症を疑わせる急性感染性胃腸炎アウトブレイクについて	名古屋第二赤十字病院 医療安全推進室	田村 秀代
		2-O-31-5	当院における疥癬アウトブレイク事例の検討	済生会新潟第二病院 感染制御実行委員会	佐藤 清美
		2-O-31-6	VREアウトブレイクに対するICT活動報告	九州労災病院 看護部	田中 美和
		2-O-31-7	ESBL産生菌のアウトブレイクへの対応とその評価	愛知医科大学病院 ICT	加藤由紀子
アウトブレイク 4 15:50~16:50	加来 浩器 (防衛医学研究センター情報システム研究部門)	2-O-32-1	流行性角結膜炎の院内アウトブレイク対応	宮崎大学 医学部 附属病院 感染制御チーム	福田 真弓
		2-O-32-2	閉鎖式吸引回路を介して発生したと考えられるMRSAアウトブレイク	岸和田徳洲会病院 ICT	櫛引千恵子
		2-O-32-3	抗真菌剤の使用状況調査による真菌感染症アウトブレイクの早期予測に関する研究	鹿児島医療センター薬剤部	谷口 潤
		2-O-32-4	A群溶血性連鎖球菌による集団感染におけるICTの活動	京都桂病院 ICT	谷口 文代
		2-O-32-5	Acinetobacter baumannii敗血症のアウトブレイクと感染防止対策	上尾中央総合病院	荒井千恵子
		2-O-32-6	職員間における感染性胃腸炎の集団発生事例への対応	京都桂病院ICT	中村 考志



第2日目 2月19日(土) 第11会場(418)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用 5 8:30~9:30	山藤 満 (富士重工業健康保険組合総合太田病院薬剤部)	2-0-33-1	当院のカルバペネム系・セフェム系抗菌薬使用量とESBLs産生菌の推移	名古屋第一赤十字病院 院内感染防止対策委員会	西山 秀樹
		2-0-33-2	抗菌薬適正使用への取り組み ～培養未提出及び長期投与報告制度を導入して～	佐世保共済病院 薬剤科	川崎 浩一
		2-0-33-3	カルバペネム系抗菌薬投与開始時における血液培養施行への介入	天理よろづ相談所病院 ICT	金松 誠
		2-0-33-4	使用届出制改定後における抗菌薬使用と耐性菌のサーベイランス	健和会 大手町病院 薬剤部	橋口 亮
		2-0-33-5	開院後5年間ににおける抗菌薬使用量及び感性率の推移—適正使用へ向けたICTの取り組み	順天堂大学 医学部 附属 練馬病院 ICT	岡崎 千絵
		2-0-33-6	抗MRSA薬使用量増加に対する適正使用推進の取り組み	名古屋第二赤十字病院 薬剤部	佐々弥栄子
抗菌薬適正使用 6 9:40~10:40	平松 和史 (大分大学医学部附属病院感染制御部)	2-0-34-1	当院ICUにおけるMRSA肺炎に対する治療効果および薬剤選択の基準	東京慈恵会医科大学 感染制御部	河野 真二
		2-0-34-2	当院における抗菌薬適正使用への取り組みとその成果 一届出制から介入へ	松波総合病院 ICT	小林 建司
		2-0-34-3	ICT介入による vancomycin のTDM実施率の改善とその検討	近畿大学 医学部附属病院 ICT	久斗 章広
		2-0-34-4	当院での抗菌薬使用申請制度導入後の感受性率と薬剤使用率の変化について	近江八幡市立総合医療センター ICT	近澤 秀己
		2-0-34-5	抗MRSA薬の使用状況からみた術後感染症の起因菌調査	榊原記念病院	手賀みちる
		2-0-34-6	当院におけるカルバペネム系抗菌薬の使用状況について	社会医療法人 里仁会 興生総合病院	土井久美子
抗菌薬適正使用 7 10:50~11:40	北村 正樹 (東京慈恵会医科大学附属病院薬剤部)	2-0-35-1	中小病院におけるICTラウンド「抗菌薬の適正使用推進に向けた取り組み」	医療法人財団 神戸海星病院 ICT	河井 順計
		2-0-35-2	抗菌薬の投与間隔に関する事態調査と均等間隔投与推進に向けての取り組み	日本赤十字社医療センター 院内感染対策室	佐伯 康弘
		2-0-35-3	継続性のある適正な抗菌剤の使用を目指したICTの取り組みと効果の検討	岐阜県立多治見病院 ICT	大森 隆夫
		2-0-35-4	当院における緑膿菌に対する抗菌薬の使用状況と耐性化の検討	社会医療法人 孝仁会 鉦路孝仁会記念病院 薬剤科	田中 順子
		2-0-35-5	抗菌薬の使用方法についての看護スタッフ教育	名古屋セントラル病院 薬剤科	青田真理子



第2日目 2月19日(土) 第11会場(418)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用 8 13:10~14:20	唯野 貢司 (北海道医療大学薬学部実務薬学教育研究講座)	2-0-36-1	リネゾリド投与における腎機能と血小板減少の関連性の検討	医療法人協和会 協和会病院	前田 翠
		2-0-36-2	抗菌薬適正使用に向けたICTの取り組みと課題	岐阜県立多治見病院 ICT	佐藤 哲男
		2-0-36-3	カルバペネム系抗菌薬適正使用への介入ー評価ー	NTT東日本関東病院 薬剤部	田中 昌代
		2-0-36-4	当院呼吸器科における市中肺炎症例の現状	諏訪赤十字病院 感染制御室	藤森 愛子
		2-0-36-5	草津総合病院におけるICT導入の現状報告ー広域抗菌薬の適正使用への取り組みー	社会医療法人 草津総合病院薬剤科	西出 和司
		2-0-36-6	注射管理システムを用いたバンコマイシンのTDM解析に対するICT介入の有効性	市立函館病院 感染対策チーム	濱 豊秋
		2-0-36-7	整形外科病棟における術後抗菌薬使用量の推移	独立行政法人 国立病院機構 西埼玉中央病院 薬剤科	井戸彩恵子
抗菌薬適正使用 9 14:30~15:30	林 淑朗 (University of Queensland Centre for Clinical Research)	2-0-37-1	Antibiogram作成が抗菌薬適正使用に有用であったか?	高知高須病院	湯浅 健司
		2-0-37-2	広島市立安佐市民病院における緑膿菌感染症に対する抗菌化学療法の実現	広島市立安佐市民病院 薬剤部	小笠原康雄
		2-0-37-3	テイコプラニン後発品のトラフ濃度予測精度に関するレトロスペクティブな比較検討	福岡赤十字病院	西村 紀子
		2-0-37-4	電子カルテのICT医師アカウントを用いた抗菌薬適正使用の取り組み	国立病院機構京都医療センター ICT	小田垣孝雄
		2-0-37-5	抗MRSA薬解析患者リスト作成および患者ファイル一元化によるTDM推進と適正使用	久留米大学病院 薬剤部	中垣 春美
		2-0-37-6	MRSA・緑膿菌検出率の推移と抗菌薬使用量の変遷	JA広島総合病院 薬剤部、ICT	正島 和美
		2-0-38-1	A病院における医療ケア関連肺炎の現状	美濃市立美濃病院 看護局	山中多美子
疫学・統計2 15:40~17:00	向野 賢治 (社会医療法人 大成会 福岡記念病院) 土田 敏恵 (兵庫医療大学看護学部)	2-0-38-2	当院職員の麻疹・風疹・ムンプス・水痘ウイルス抗体価の現状	NTT東日本伊豆病院 臨床検査室	小澤 好未
		2-0-38-3	多剤耐性緑膿菌新規検出患者のリスク因子の検討	岡山済生会総合病院 感染制御室	赤木 節子
		2-0-38-4	職員HBV抗原抗体検査の改善「定性法から定量法への変更と職員定期健診への組み入れの成果」	横浜市立市民病院 感染管理室	伊藤 正子
		2-0-38-5	当院における重症身障者病棟患者の喀痰由来菌検出状況	国立精神・神経医療研究センター病院 ICT	望月 規央
		2-0-38-6	当施設における腸管病原細菌の検出状況	三菱化学メディエンス 感染症検査部 臨床微生物グループ	加賀谷公美
		2-0-38-7	滋賀県地域における8年間の検出菌および薬剤感受性動向ー滋賀耐性菌研究会データからー	大津赤十字病院	木田 兼以
		2-0-38-8	Acinetobacter baumanniiによるアウトブレイク事例の系統的文献分析	心臓血管センター 北海道大野病院	塩谷 光彦



第2日目 2月19日(土) 第12会場(419)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
針刺し損傷4 8:30~9:30	高坂 久美子 (名古屋第一赤十字 病院医療安全推進 室)	2-O-39-1	感染性廃棄容器規格変更による針刺し事故防止対策の効果	福岡大学病院 感染制御部	大久保真由美
		2-O-39-2	訪問看護における感染に関する有害事象の全国調査	青森県立保健大学	福井 幸子
		2-O-39-3	病院との協働による針刺し事故防止の取り組み	シーアンドエス株式会社	濱田 雪義
		2-O-39-4	当院における手術室での針刺し事故の傾向と対策	中国電力株式会社 中電病院	木村 将和
		2-O-39-5	ペン型インスリン器材による針刺し対策とその分析	日本医科大学多摩永山病院 感染対策委員会	関根 愛
		2-O-39-6	EPINet-ORによる針刺し・切創事故の現状と事故防止対策について	東北大学病院 手術部	近藤 綾子
針刺し損傷5 9:40~10:40	内山 正子 (新潟大学医歯学総合 病院感染管理部)	2-O-40-1	採血・留置物品セット化による看護師の針刺し事故防止に対する意識の変化	大阪赤十字病院	小谷 奈穂
		2-O-40-2	職員の針刺しの経験とHIV抗体検査に関する意識調査	霧島市立医師会医療センター 感染対策チーム	砂田 和幸
		2-O-40-3	当院における安全器材による針刺し事例の解析	東京大学 医学部 附属病院 感染対策チーム	貫井 陽子
		2-O-40-4	当院におけるHIV曝露後予防についての臨床的検討	がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科	今村 顕史
		2-O-40-5	針刺し対策としてHBs抗体獲得率向上に向けての取り組み	福岡徳洲会病院 ICT委員会	中村たまき
		2-O-40-6	安全装置付器材を導入しても針刺し損傷が減少しなかった理由	熊本大学医学部附属病院 感染対策室	石井 美奈
針刺し損傷6 10:50~11:40	毛利 靖彦 (三重大学大学院医学 系研究科消化管・小 児外科学講座)	2-O-41-1	13年間のエピネット日本版Aサーベイと職業感染制御研究会活動	名古屋市南保健所	木戸内 清
		2-O-41-2	当院における針刺し・切創労働災害対策と改善について	北里大学病院 感染管理室	藤木くに子
		2-O-41-3	針刺し防止に向けた職業感染防止チームの活動報告	雪の聖母会 聖マリア病院	石崎万里子
		2-O-41-4	A病院における看護体制変更前後の針刺し・切創報告内容の比較ー新人看護師に着目してー	虎の門病院 看護部	有福 保恵
		2-O-41-5	感染対策研修会より提起されたインスリン注射の実態と感染対策への意識付け	北杜市立甲陽病院 薬剤科	北原 克晃



第2日目 2月19日(土) 第12会場(419)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
結核1 13:10~14:30	安藤 常浩 (日本赤十字社医療センター呼吸器内科)	2-O-42-1	当院の結核対策におけるQFTの結果と課題	徳島大学病院	高開登茂子
		2-O-42-2	広島県内施設の院内結核感染対策の現状把握への取り組み ～広島ICT活動研修会におけるアンケート調査から～	JA広島総合病院 ICT	今本 紀生
		2-O-42-3	院内結核感染対策に対するチェックリストの有用性の検討	東京慈恵会医科大学附属 柏病院 感染制御チーム	林 泉
		2-O-42-4	入院後に活動性結核が判明した患者の背景分析	大阪市立総合医療センター ICT	河野 尚美
		2-O-42-5	全職員に実施したクオンティフェロンTB-2G検査結果とリスク因子の関連	独立行政法人 国立病院 機構 滋賀病院	植村 明美
		2-O-42-6	食道癌手術後に結核を発症した患者の接触者検診の結果と検討	静岡県立総合病院	鈴木 清美
		2-O-42-7	当院における結核症例の発生状況	諏訪赤十字病院 感染制御室	小口はるみ
		2-O-42-8	クオンティフェロン検査による肺結核接触者健診の考察	JA長野厚生連 北信総合病院	池田しづ子
結核2 14:40~16:00	青木 信樹 (信楽園病院) 山本 俊信 (医療法人開生会かいせい病院内科)	2-O-43-1	中規模施設での結核感染対策 ～ICUでの空気感染対策の実際を振り返って～	箕面市立病院 ICT	安藤 市代
		2-O-43-2	職員健診へのQFT検査導入による結核管理～定期外健診・新採用時健診・ハイリスク部署定期健診～	鳥取大学医学部附属病院 感染制御部	上灘 紳子
		2-O-43-3	緩和ケア病棟入院患者結核発症の一考察	社会保険神戸中央病院 感染対策室	高橋 尚子
		2-O-43-4	中規模の急性期一般病院における結核患者の動向と感染対策	神奈川県立汐見台病院	福井 里美
		2-O-43-5	当院における結核標準予防策の構築	JA広島厚生連 尾道総合病院ICT	住吉 静香
		2-O-43-6	職員の肺結核による院内感染防止のための取り組み	琉球大学医学部附属病院 感染対策室	富島 美幸
		2-O-43-7	久留米大学病院における職員の結核曝露対策 ～QFTを導入して～	久留米大学病院 感染制御部	三浦 美穂
		2-O-43-8	当病院の結核届出患者の特徴	伊勢崎市民病院 医療安全管理室	後藤 恵



第2日目 2月19日(土) 第15会場 (311+312)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
環境整備、 医療材料、 医療機器 8:30~9:30	松田 和久 (済生会福岡総合病院 麻酔科) 高草木 伸子 (東京臨海病院)	2-O-44-1	銅および銅合金による病院内細菌汚染の低減化 ー医療関連感染対策への展開ー	北里大学 医学部 微生物学	笹原 武志
		2-O-44-2	医療環境における亜鉛の殺菌特性活用に関する検討	北里大学 医学部 微生物学	笹原 武志
		2-O-44-3	高透過性フィルム材が末梢静脈カテーテル由来静脈炎に及ぼす影響	名寄市立総合病院 看護部	大谷 圭一
		2-O-44-4	清拭車の <i>Bacillus cereus</i> を含む汚染菌対策の評価	公立能登総合病院	黒崎まち子
		2-O-44-5	シャワーヘッド分離アシネトバクターのバイオフィルム形成性	財団法人 北里環境科学センター	菊野理津子
		2-O-44-6	ジェット式ネブライザーの24時間連続使用における細菌汚染の実態と消毒方法の検証	NHO 佐賀病院	執行えりこ
抗菌薬適正使用 10 9:40~10:40	宇佐美 郁治 (労働者健康福祉機構 旭労災病院内科)	2-O-45-1	『特定抗菌薬使用届出制』導入前後の状況と今後の課題	泉大津市立病院 ICT 薬剤部	松岡 慶子
		2-O-45-2	当院における緑膿菌の薬剤感受性推移について	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 ICT	藏前 仁
		2-O-45-3	抗MRSA 薬届出制導入に関する検討	さいたま赤十字病院 薬剤部	伊賀 正典
		2-O-45-4	市立病院5施設における注射用抗菌薬の使用状況調査と適正使用への取り組みの評価	市立豊中病院 薬剤部	小野 祐志
		2-O-45-5	当院における抗菌薬適正使用への取り組み	兵庫県立加古川医療センター 薬剤部	高橋 知孝
		2-O-45-6	多職種で取り組むTDM	福島県立医大付属病院 感染制御部	吉田 明子
抗菌薬適正使用 11 10:50~11:40	宮野 直之 (山口労災病院 薬剤部)	2-O-46-1	発熱性好中球減少症時におけるセフェピムの適正使用の検討	群馬県立がんセンター 薬剤部・ICT	大橋 崇志
		2-O-46-2	長野県下5施設における抗菌薬使用量と耐性菌に関するサーベイランス	長野市民病院 薬剤部	丸山 晴生
		2-O-46-3	中規模病院における抗菌薬届出制導入による臨床的ならびに経済的効果	国際医療福祉大学三田病院 ICT	兒玉 弥生
		2-O-46-4	北摂5市立病院における抗菌薬使用量と緑膿菌薬剤耐性率の動向 第三報	市立川西病院 検査科	沖元 京子
		2-O-46-5	院内肺炎に対するタゾバクタム/ピペラシリンナトリウムTAZ/PIPC投与治療の現況 ー至適投与量に関する考察ー	日本医科大学千葉北総病院 病院感染対策委員会	日野 光紀



第2日目 2月19日(土) 第15会場 (311+312)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
消毒, 洗浄, 滅菌1 13:10~14:30	藤井 昭 (玉造厚生年金病院) 松島 由実 (鈴鹿中央総合病院)	2-0-47-1	壁掛け式吸引器に接続した吸引チューブの微生物汚染とその消毒法の評価	周南市立新南陽市民病院 薬剤部	頼岡 克弘
		2-0-47-2	微酸性電解水によるコンタクトレンズケースの消毒効果	文京学院大学大学院 保健医療科学研究科	守重比路美
		2-0-47-3	当院における胃瘻チューブの管理について	大阪府 済生会 茨木病院 ICT	中家 聖子
		2-0-47-4	歯科領域におけるパー・ポイント類(回転切削器具)の洗浄方法についての検討~マニュアル作成にむけて~	岩手医科大学附属病院 歯科医療センター 歯科衛生部	白旗実奈子
		2-0-47-5	手術器具のより安全な滅菌法の検討	山形大学 医学部 附属病院 手術部	大山 希代
		2-0-47-6	滅菌消毒業務の院外滅菌消毒化によるコスト削減と安全性の確保	春日井市民病院	石井久美子
		2-0-47-7	点眼薬に含有する塩化ベンザルコニウムの細胞に対する影響	昭和大学藤が丘病院 臨床病理科	岩沢 篤郎
		2-0-47-8	マンシュートの効果的な消毒方法の検討	山口大学医学部附属病院 看護部	藤井 智恵
消毒, 洗浄, 滅菌2 14:40~16:00	上寺 祐之 (東京大学医学部附属病院医療環境管理学/手術部) 竹内 千恵 (医療法人さとう記念病院看護部)	2-0-48-1	汚染モデル器材を用いた用手洗浄における微生物減少効果	東京医療保健大学大学院	竹内 千恵
		2-0-48-2	質問紙法による水枕と感染の関連の検討	石心会狭山病院	佐久間昭美
		2-0-48-3	天然由来の無添加石けんの抗ウイルス効果	シャボン玉石けん(株)	川原 貴佳
		2-0-48-4	ブタの皮膚を用いたヒト皮膚代替ウイルス不活化評価系の構築	丸石製薬(株)中央研究所	松瀬 仁
		2-0-48-5	当院におけるホルマリンガスを用いた保育器消毒の安全性について	愛染橋病院 医療安全管理室	津田育久子
		2-0-48-6	保湿性清浄クリームを用いた消毒前皮膚清浄手法の有効性(第1報)	アルケア株式会社	野中 栄治
		2-0-48-7	歯科外来における材料部器材管理の中央化	東北大学病院 材料部	棚橋 正子
		2-0-48-8	新規アルコール系配合手指消毒薬 GZ-08の各種細菌およびウイルスに対する殺菌効果	東邦大学医学部 感染制御学	小林 寅喆
症例, 事例2 16:10~17:00	濁川 博子 (東京都保健医療公社 豊島病院感染症科)	2-0-49-1	<i>Stenotorophomonas maltophilia</i> 分離事例における ICT の介入	群馬県済生会前橋病院 ICT	高瀬麻由美
		2-0-49-2	膀胱過拡張予防のための清潔間欠自己導尿の実践と指導内容の検討	名古屋市立城北病院	古林 千恵
		2-0-49-3	転移性肝がん手術後の β -D-グルカン値と臨床症状が相関しなかった1例	鹿児島厚生連病院 薬剤科	池増 鮎美
		2-0-49-4	米国からの輸入例と考えられたバンコマイシン耐性腸球菌感染症の発生と対策	国立国際医療研究センター病院 感染対策チーム	加藤 康幸
		2-0-49-5	多職種で協働したMDRP対策~手術予定部位よりMDRPが検出された患者への関り~	日本赤十字社 長崎原爆病院	金澤美弥子



第2日目 2月19日(土) 第16会場 (313+314)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
消毒. 洗浄. 滅菌3 8:30~9:30	尾家 重治 (山口大学医学部附 属病院薬剤部)	2-O-50-1	環境清掃における微酸性電解水の応用	文京学院大学大学院 保 健医療科学研究科	笹岡 秀之
		2-O-50-2	当院における清拭タオル管理のベス トプラクティス	JA愛知厚生連 安城更生 病院 ICT	磯部 貴子
		2-O-50-3	病院機能評価Ver.6受審に向けた取り 組み～使用済み器材の洗浄・消毒の 中央化と暴露対策～	東京都保健医療公社 豊 島病院 看護部専任感染 管理	進藤 亜子
		2-O-50-4	長期療養型病院における消毒薬の適 正使用と使用手順マニュアル作成の 取り組み	札幌エルム病院	横内 淳子
		2-O-50-5	久留米大学病院におけるICT活動の 成果ー消毒薬使用量の減少効果ー	久留米大学病院 薬剤部	酒井 義朗
		2-O-50-6	院内採用の次亜塩素酸製剤の一本化 による適正使用への貢献	京都市立病院 ICT	本多あずさ
消毒. 洗浄. 滅菌4 9:40~10:40	齋藤 祐平 (東京大学 医学部 附属病院 手術部)	2-O-51-1	二酸化塩素水の短時間殺菌効果の検討	東邦大学医療センター 佐倉病院 ICT	内野卯津樹
		2-O-51-2	新型インフルエンザ感染防止のため の二酸化塩素ガス濃度に室内環境要 因が与える影響	早稲田大学 理工学術院 総合研究所	堤 仁美
		2-O-51-3	感染対策における内視鏡の洗浄消毒 システムの構築	京都大学医学部附属病 院 看護部	山中 寛恵
		2-O-51-4	業者貸出手術器械Loan Instruments の汚染量に関する検討ーATP測定器 による定量的評価の試みー	東京医療保健大学大学院	岡崎 悦子
		2-O-51-5	次亜塩素酸ナトリウムの殺芽胞作用 に関する顕微科学的検索	川崎医大 微生物	山田 作夫
		2-O-51-6	マイクロナノバブル水のグラム陰性 菌に対する効果	茨城県立医療大 医科学 センター	桜井 直美
消毒. 洗浄. 滅菌5 10:50~11:50	島崎 豊 (愛知県厚生連海南 病院医療安全管理 部感染対策室)	2-O-52-1	喀痰吸引チューブの管理法に関する 評価	愛信会小倉到津病院 感 染対策委員会	伊藤賀世子
		2-O-52-2	“洗浄・消毒マニュアル作成”の取り 組み	社会医療法人 雪の聖母 会 聖マリア病院	只隈 留美
		2-O-52-3	ICNによる中央滅菌材料室の業務改善	岩手県立中央病院 感染 管理部	外館 善裕
		2-O-52-4	経腸栄養器材の管理方法の現状と改 善への取り組み	金沢医科大学病院 医療 安全部感染制御部門	不動 政代
		2-O-52-5	RFID (Radio frequency identification) を用いた手術器械の情報化	京都第二赤十字病院 消 化器科	田中 聖人
		2-O-52-6	酸化チタンに銀ナノ粒子を添加した 時の殺菌力に与える影響	徳島大学 大学院ヘルス バイオサイエンス研究 部 予防環境栄養学分野	レティテュエ ニユン



第2日目 2月19日(土) 第16会場 (313+314)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
病院建築設備 13:10～14:10	吉田 理香 (近畿大学医学部附 属病院 安全管理部 感染対策室)	2-0-53-1	医療・福祉施設の感染制御手法の研究(第1報)プッシュプル気流の効果	順天堂大学大学院 感染 制御科学	堀 賢
		2-0-53-2	陰圧室に対する光触媒除菌装置の応用	日本医科大学 千葉北総病 院 病院感染対策委員会	日野 光紀
		2-0-53-3	外国の病院に学ぶ院内感染予防対策 感染症新病棟における感染予防対策 の実践	日赤長崎原爆病院	金澤美弥子
		2-0-53-4	水痘接触患者への空気隔離装置(ミン ティ)活用事例ー経過報告ー	愛知県心身障害者コロニー 中央病院	脇 眞澄
		2-0-53-5	医療・福祉施設の感染制御手法の研究 (第3報) 問診と検査に特化した診 察室の開発	新菱冷熱工業 中央研究所	森本 正一
		2-0-53-6	当院での無菌室改修工事におけるア スペルギルス感染対策	広島赤十字・原爆病院 ICT	山水有紀子
標準予防策・ 経路別予防策 14:20～15:50	深尾 亜由美 (岐阜大学医学部附 属病院) 熊木 まゆ子 (財)神戸市地域医 療振興財団西神戸 医療センター)	2-0-54-1	ATP測定法を用いたブラッシング時 の眼部への飛散汚染度調査	岡山大学大学院 医歯薬 学総合研究科 口腔微生 物学分野	佐藤 法仁
		2-0-54-2	標準予防策に則った看護手順作成へ の取り組み	新潟大学医歯学総合病 院 看護部	青木美栄子
		2-0-54-3	病院内改修工事施工時に実施した感 染対策の評価	愛知医科大学病院 ICT	加藤由紀子
		2-0-54-4	外来受付職員の医療関連感染予防の ための行動と課題	名古屋市立大学看護学部	長崎由紀子
		2-0-54-5	薬学部生の医療系教育が咳エチケット 認識度および日常生活に及ぼす影響	慶應義塾大学 薬学部 実務薬学講座	藤崎 枝里
		2-0-54-6	薬学部および看護専門学校新入生に おける咳エチケットの認識度	慶應義塾大学 薬学部 実務薬学講座	早川香菜絵
		2-0-54-7	ICU・HCUでのMRSA敗血症の動向 調査と対策の検討ーMRSA撲滅作戦ー	健和会大手町病院 看護 部 集中治療室	棕尾 恒一
		2-0-54-8	死後の処置の感染予防対策に対する 意識調査	東海大学	齋藤 貴子
		2-0-54-9	オムツ交換時のベッド周辺への汚染 状況の把握 ー疑似排便を用いた実験を行ってー	医療法人 さとう記念病院	福原みゆき
個人用防護具 16:00～17:00	中村 貴枝子 (杏林大学医学部付 属病院 医療安全管 理室)	2-0-55-1	器械出し看護師の術中ゴーグル装着 遵守に向けての取り組み	日本大学医学部付属練馬 光が丘病院 感染管理室	星崎 眺美
		2-0-55-2	注射針取扱い時の手袋着用率向上へ の活動	社会保険 群馬中央総合病 院 看護局 リンクナース 委員会 環境感染チーム	池田 博貴
		2-0-55-3	委託業者に対する感染予防対策指導 の効果ー個人防護具の正しい選択と 装着脱法ー	獨協医科大学病院看護 部	亀田 幸恵
		2-0-55-4	個人防護具の使用を意識づけるため の排液時環境汚染の可視化の試み	山口大学 医学部 附属 病院 集中治療部	藤井 理恵
		2-0-55-5	フィッティングテスターを用いた N95マスクのフィット性および使用 感に関する検討	国立病院機構長良医療 センター ICT	石原 敬子
		2-0-55-6	採血で使用したニトリル手袋のピンホ ール調査ーラテックス手袋との比較ー	琉球大学 医学部 保健 学科	太田 光紀



第2日目 2月19日(土) 第17会場(315)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
SSI 1 8:30~9:30	大毛 宏喜 (広島大学病院感染症科)	2-0-56-1	小規模施設におけるSSI防止対策 — SSIサーベイランスを実施して —	守山市民病院 手術室	筒井 俊博
		2-0-56-2	術中抗菌薬追加投与がSSI発生に及ぼす影響についての検証	朝日大学歯学部附属 村上記念病院 ICT	尾崎 明人
		2-0-56-3	腰椎後方固定術(4椎間)後のSSI発症例における医療費	仙北組合総合病院 感染対策室	五十嵐 孝
		2-0-56-4	脊椎手術におけるSSI低減への取り組み	東京都保健医療公社 東部地域病院	柴田 栄
		2-0-56-5	中規模病院における食道手術後の手術部位感染のリスク因子の検討	公立学校共済組合近畿中央病院 看護部	西 真由美
		2-0-56-6	整形外科分野におけるSSIサーベイランスの実施と予防策改善の取り組み	東京都立墨東病院 看護部	松下美佳子
SSI 2 9:40~10:30	平田 哲 (旭川医科大学病院手術部)	2-0-57-1	心臓外科手術患者における手術部位感染の危険因子の検討	康生会武田病院 感染対策室	上野 一枝
		2-0-57-2	大腸手術でのSSI発生状況に関する調査と検討～SSIサーベイランスを開始するにあたって～	刈谷豊田総合病院 ICT	佐藤 浩二
		2-0-57-3	人工関節手術におけるSSIサーベイランスの意義	熊本機能病院 麻酔科	今泉 隆志
		2-0-57-4	整形外科手術におけるSSIサーベイランス導入効果とSSIリスク因子の検証	JA愛知厚生連 江南厚生病院 看護部	仲田 勝樹
		2-0-57-5	当院における心臓血管外科SSIサーベイランスデータの検討	三菱京都病院	嶋 雅範
SSI 3 10:50~11:40	清水 潤三 (市立豊中病院 ICT)	2-0-58-1	皮膚常在菌が原因と考えられた脊椎手術SSIの2例	武蔵野赤十字病院 整形外科	金沢 明秀
		2-0-58-2	泌尿器科における手術部位感染サーベイランスの試み	東京都立多摩総合医療センター	岐部 薫
		2-0-58-3	泌尿器科における手術部位感染対策：創閉鎖変更の有用性	JA愛知厚生連 安城更生病院 ICT	岡村 武彦
		2-0-58-4	直腸手術のストーマ造設症例における切開創感染防止の取り組み	四国がんセンター 医療安全管理室	金子 幸代
		2-0-58-5	心血管外科手術(開胸術)後の特徴的手術部位感染の比較検討	神戸大学医学部附属病院 感染制御部	李 宗子
SSI 4 13:10~14:00	山崎 隆志 (武蔵野赤十字病院整形外科)	2-0-59-1	椎弓切除術における手術部位感染とそのリスク要因の検討	医療法人 永広会 島田病院	山本 典孝
		2-0-59-2	心臓血管外科周術期における予防的抗MRSA薬投与	康生会 武田病院 ICT	國富 修
		2-0-59-3	手術室の一足制導入に向けての取り組み 第1報	湘南鎌倉病院 看護部 手術室	渡部 伸予
		2-0-59-4	胃・結腸・直腸におけるSSIサーベイランスの検討	徳島市民病院	橋本 幸子
		2-0-59-5	大腸癌周術期におけるsurgical site infection (SSI) と術前栄養状態の関係について	朝日大学歯学部附属村上記念病院 外科	久米 真



第2日目 2月19日(土) 第17会場(315)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
細菌感染1 14:40～15:50	熊坂 一成 (医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院臨床検査科)	2-O-60-1	当院における尿中肺炎球菌抗原測定 の有用性と問題点	寺岡記念病院 ICT	中村 和幸
		2-O-60-2	<i>Mycobacterium abscessus</i> と近縁菌 <i>Mycobacterium massiliense</i> 、 <i>Mycobacterium bolletti</i> との鑑別と <i>M. massiliense</i> 感染症の検討	NHO 近畿中央胸部疾患 センター	吉田志緒美
		2-O-60-3	<i>Klebsiella oxytoca</i> による胆道系術後 感染症の分子疫学的解析	梶山女学園大学 看護学部	石原 由華
		2-O-60-4	当院NICU患児4名より検出されたメ タロβラクタマーゼ産生アシネトバ クターの解析と環境調査	公立昭和病院	横沢 隆行
		2-O-60-5	当院におけるAcinetobacter属の検 出動向	昭和大学横浜市北部病 院 感染対策室	日高 絵美
		2-O-60-6	当院におけるESBLs産生菌検出状況 の検討	箕面市立病院 臨床検査部	藤井 啓嗣
		2-O-60-7	カンジダ血症における当院での治療 の実態調査と課題	市立堺病院 ICT	安井友佳子
細菌感染2 16:00～17:00	佐藤 成大 (岩手医科大学細菌 学講座)	2-O-61-1	Bacillus 菌血流感染予防の取り組み	王子総合病院 感染対策 委員会	坂東 良子
		2-O-61-2	経管栄養開始後の下痢精査でロタウイ ルス感染症が確認されたインスリン産 生腫瘍による低血糖性昏睡の一例	江東病院 循環器内科	高部 智哲
		2-O-61-3	東京労災病院におけるG群溶血性連 鎖球菌敗血症の現状	東京労災病院 ICT	山本 武史
		2-O-61-4	O-157LPS抗体により感染が確認さ れた事例	JA北海道厚生連 網走厚 生病院 医療技術部 臨 床検査技術科	志賀 誠
		2-O-61-5	免疫能低下患者における <i>Coagulase- negative Staphylococcus</i> (CNS) 菌血 症ー最近5年間に於ける当院血液内 科病棟での検討	北福島医療センター 血 液内科、ICT	木村 秀夫
		2-O-61-6	ICTによる <i>Acinetobacter</i> 分離症例の チャートレビューから見えてくるもの	上尾中央総合病院 検査 技術科	長谷川卓也